横浜市生涯学習

令和3年度事業概要

横浜市教育委員会

目 次

ı		横浜市の生涯学習	習施策の推進					
	1	教育委員会					• • • 1	
	2	区役所					• • • 1	
	3	推進体制					2	
		第 32 期横浜市	社会教育委員	会議提言	(概要)		• • • 3	
11		事業概要						
••	1		\$局生涯学習 <u>]</u>	文化財課				
	_	1) 生涯学習情報		~ 1-3/1 p/			7	
		2) 生涯学習指導		₽ 経職員0)研修		7	
		3)横浜市民の語					8	
		4) その他					• • • 9	
	2	, ,			_			
	(1)教育委員会事						
		ア 市民活動・			_		• • • 1 1	
		イ横浜市社会		_			• • • 1 1	
		ウ横浜市歴史					• • • 1 1	
		工横浜開港資					• • • 12	
			後展記念館・村	黄浜ユーラ	ラシア文化館		• • • 12	
		力横浜市三属					• • • 1 2	
	,	キー横浜市八雪	皇殿郷土貧料館	E			• • • 13	
	(2)図書館施設	₹ ₹ ₹	⊽ = &⇔			1.0	
		横浜市中央図書	計略、合地域 (2)	当書貼			• • • 13	
	3	地域の生涯学習	♀ ~区におり	ナる生涯≦	学習推准 ■ 支援			
	_	1)地域振興課に		/ O				
	`		- 生涯学習支持 - 生涯学習支持	爰センタ-	_		15	
		(ア)相談件数					• • • 16	
		(イ)相談内容		~ 1 7 1 7 1 7 1 7 1	1 22		• • • 17	
		イ 社会教育の	D推進				• • • 18	
		ウ 青少年の優					• • • 18	
		エ 地域スポー	−ツの振興				• • • 18	
		オ 地域の文化	占振興				• • • 18	
		カ その他関連	連課等				• • • 18	
		/ - > - 	m=== - ^					
		(2)各区地域振		-	、和 。 左 库 書 樂 柳 :		1.0	
		中氏活動:3	上准子首文版1	2 ンダ 一 i	3和3年度事業概	安	• • • 1 9	
		●鶴見区		2 0	●神奈川区		2 4	
		●西区		2 8	●中区		3 2	
		●南区		3 6	●港南区		4 0	
		●保土ケ谷区		4 4	●旭区		4 8	
		●磯子区		5 2	●金沢区		5 6	
		●港北区		6 0	●緑区		6 4	
		●青葉区		6 8	●都筑区		7 2	
		●戸塚区		7 6	●栄区		8 0	
		●息区		8.4	●瀬公区		8.8	

I 横浜市の生涯学習施策の推進

1 教育委員会

国際化、高度情報化、少子高齢化の進展や地域課題の多様化といった社会情勢の変化を踏まえ、生涯学習の視点からの市民の自発性に基づく学習の支援と社会のさまざまな課題に対応した生涯学習施策を推進するとともに、地域における課題解決に向けた取組が進むための仕組みづくりなど、さまざまな支援を行っています。

生涯学習施策の方向性にあたっては、令和2年11月に第32期横浜市社会教育委員会議から、今後の本市の生涯学習推進の基本的な考え方と方向性となる提言「本市における社会参加のすそ野の拡大について」が出されました。提言の方針である「社会参加のすそ野の見える化」と「人材育成と活用」を中心にすえ、生涯学習施策を推進しています。(参照: p. 3-6 第32期横浜市社会教育委員会議提言【概要】)

※本提言では、「社会参加」の定義を『市民が地域・社会の様々な活動に加わり、地域・ 社会の一員であるという気持ちを持つこと』としています。

本提言における社会参加の前提

- (1) 生活圏域で、楽しく行う社会参加
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響下における社会参加

方針1 社会参加のすそ野の見える化

施策1 情報の集約と提供

社会参加につながる情報の集約 / 社会参加につながる情報の提供

方針2 人材育成と活用

施策1 コーディネーターの育成

地域の情報を収集する人材 / 市民の学びを組織できる人材

施策2 市民の学びを継続的に支援する仕組みづくり

活動の機会の情報提供 / 学校教育と社会教育の連携 / 社会教育士 等の活用 / 人材の交流の場 / 施策を推進する主体の組織づくり

本提言の全体版は、横浜市ホームページ『社会教育委員会議』をご覧ください。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/hokokusho/shakaikyoiku/shakaikyoiku.html

2 区役所

区役所は、市民に最も身近な行政機関として地域行政を総合的に推進する中で、地域振興課を中心 として、地域における生涯学習の推進・支援を各区の実態や実情にあわせて進めています。

平成6年11月から市民の自主的な学習活動を支援し、区における生涯学習の一層の推進を図るため、学習相談員を配置し、生涯学習支援センター事業を開始しました。

その後、市民局が平成 15 年 11 月に策定した「市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン」により、区版市民活動支援センターの展開にあたっては、生涯学習支援センターなどの類似事業との複合化につとめるという方針が示されました。このガイドラインに従って、各区では順次、生涯学習支援センターと市民活動支援センターとの複合化が進められ、平成 20 年度をもって全区で、生涯学習と市民活動を一体的に支援する複合型の支援センターが開設されました。

なお、具体的な生涯学習に関する事業の進め方や内容等については、各区の判断で進められています。

3 推進体制

「実

□ 横浜市社会教育委員会議

「設置」昭和26年3月設置

「設置根拠」 横浜市社会教育委員条例など

[職 務] 社会教育に関し、教育委員会に助言します。

[構 成] 社会教育関係者、家庭教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等10名

[任期] 2年

績〕

[内 容] 社会教育に関する事項について審議します。

第33期(2021(令和3)年9月15日 ~ 2023(令和5)年9月14日)では、 『「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」 に基づく本市取組の方向性について』をテーマに、議論を進めています。

2021 (令和3) 年度:2回開催

[連絡先] 671-3282

□ 横浜市社会教育コーナー(市内にーか所) →詳しくは、p.11をご覧ください。

□ 市民活動・生涯学習支援センター(各区) →詳しくは、p.15 をご覧ください。

□ 社会教育主事(補)、社会教育指導員(各区配置) →詳しくは、p.18 をご覧ください。



社会教育士とは

私たちのまちや暮らしにある様々な課題。

その課題の解決に向けて、地域に暮らす皆さんを支えるのが「社会教育士」です



社会教育士は、文部科学大臣の 委嘱を受けた大学等の教育機関 が実施する講習や、大学での養 成課程を修了した人たちの称号 です。講習や養成課程で習得し た社会教育の制度や基礎的な知 識に加え、コーディネート能力、 ファシリテーション能力、プレ ゼンテーション能力等を活 し、行政や企業、NPO、学校等の きれています。

(引用) 文部科学省ホームページ

社会教育士について詳しくは、文部科学省のホームページをご覧ください。

社会教育士 Q

第32期横浜市社会教育委員会議提言【概要】 -本市における社会参加のすそ野の拡大について-

令和2年11月

第32期横浜市社会教育委員会議

1 背景と課題

これまで本市では各区単位で、市民が社会や地域の課題解決に取り組む市民の学習グループ (*1) をつくり、その運営を支援してきました。このような活動は、市民が自ら楽しみながら継続的に行うことで活発化し、市民活動へ発展するなど、様々な行政課題の解決に貢献しています。

「横浜市中期4か年計画2018-2021」では、「地域課題が複雑化・多様化し、地域の関係が希薄化する中」で、「地域コミュニティの力が不可欠」であることを掲げています(*2)。

しかし、各区での人材育成事業の実施は減少傾向にあり、地域の課題に向き合うグループ数が減少しています。市民 意識調査 (*3) の結果からは、住民の孤立化や、自助や共助の意識付けが課題となっていることが分かります。

また、「成年年齢引き下げの民法改正」も行われ、若者の積極的な社会参加が望まれています (*4)。

- (*1) 一例として、青葉区で生まれた市民の学習グループは、令和元年度に多世代交流や地域の魅力発見等を目的とした、5つの講座を企画・実施しました。これらのグループは、区によって「区民企画運営委員」「生涯学級」等の名称があります。
- (*2) 横浜市政策局政策課「横浜市中期4か年計画2018-2021」2018年(平成30年)10月、P6
- (*3) 横浜市政策局政策課「令和元年度市民意識調査報告書」2020年(令和2年)4月、P111
- (*4) 法務省「民法(成年年齢関係)改正 Q&A」から。法律は2022年(令和4年)4月1日施行

2 議論するテーマ

「本市における社会参加のすそ野の拡大について」

本市としては、課題に対応する市民を増やしていきたいと考えていますが、はじめから市民が課題解決に向かうことは難しく、まずは社会と関わる機会を持ってもらう必要があります。

そこで、新たな担い手として期待される若者や企業等をどのように巻き込んでいくべきか、市民の社会参加のハードルをどのように下げていくべきか、そのために行政として何をすべきかなどを議論するため、このテーマとしました。

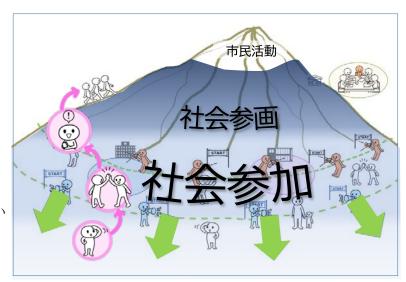
「社会参加」は様々なとらえ方が可能な言葉ですが、今期会議は社会と関わる最初の一歩としてのすそ野の拡大を 議論することを踏まえ、社会参加を 「市民が地域・社会の様々な活動に加わり、地域・社会の一員であるという気持ち を持つこと」と定義します。

また、今期会議のテーマを受け、次の点について検討することを議論の軸としました。

- ① 本市における社会参加を促すための施策方針
- ② 上記方針を受けた市社会教育行政の役割

施策方針に基づいて市社会教育行政が推進される様 子は、右図のように表現できます。

この図は「本市の社会参加のすそ野の拡大」を表す ため、市内の様々な活動を山のイメージになぞらえて 描いたものです。現在はハードルの高い「社会参加」 も、参加するきっかけが増え、「すそ野」が拡がってい くことを目指します。また、個人の関心から始まる学 びが、徐々に社会参加へ向かい、地域・社会への愛着 を深めながら、同じ志を持つ人同士で社会参画・市民 活動(山の上)へと登っていく様子も表しています。



【図】方針のイメージ

3 議論の内容

平成30年11月から令和2年10月にかけて全7回の議論を行い、市民の社会参加を促すためにはきっかけが必要であり、子どもたちの成長を促すような活動であれば、大人も参加しやすいのではないか、などの仮説が立てられ、子どもと大人が関わり合う事例を検証し、社会参加を促す方針・施策等について話し合いを進めました。

4 提言

(1) 提言における社会参加の前提

【前提1】生活圏域で、楽しく行う社会参加

今期会議で事例を取り上げた、「十日市場中学校地域交流事業」や「ミニョコハマシティ」のように、「生活圏域で、楽しく行う社会参加」が重要となります。

十日市場中学校地域交流事業(緑区):十日市場中学校の生徒が地域に出て、ボランティア体験をする活動 ミニョコハマシティ (都筑区):子どもの市長を中心に、子どもたちがまちのしくみをつくっていくイベント

【前提2】新型コロナウイルス感染症の影響下における社会参加

今期中に「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大が起こり、これまでのように実際に会って活動することが難しくなっていますが、これまで以上に人々がつながり合い、お互いに助け合い、励まし合える関係が大切になります。また、感染症対策の一環として、WEB会議等の手法が広く用いられるようになりました。多様な手法を柔軟に活用しながら、従来の手法では社会参加できなかった、あるいはしなかった人たちが、参加できるようにしていくことも重要です。

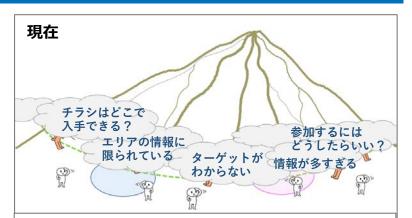
(2) 方針・施策

【方針1】社会参加のすそ野の 見える化

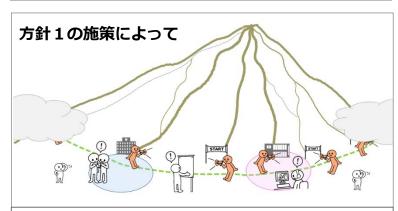
本市では、各区役所の人材育成事業による学習グループ数は減少しているものの、地域や企業・団体が中心となって地域課題解決に向かう活動は盛んに行われています。また、活動を促すコーディネーターも多様な場所で活躍しています。しかし、現在は社会参加していない人や社会参加を考えている人にとっては、情報が一部に限られている、情報の入手方法が分からないといった理由から、最初の一歩を踏み出しにくい状態となっています。

市民の社会参加を促すためには、まず既存の取組を「見える化」することが求められます。特に、子どもも大人も互いを認め合う関係の中で、子どもが活動の主役になり自己肯定感の向上につながる取組や、大人が地域とつながるきっかけになる取組、企業・団体の従業員が誇りをもてる取組等の情報を中心に見える化することが有効です。

したがって、参加者の主体性に任せたこれまでのやり 方では参加できなかった、あるいはしなかった人たちも 含め、効果的な情報の収集・発信を行い、参加のきっか けづくりが促される体制を整えることが必要です。



身近なところには様々な入口(社会参加するきっかけ)があり、 案内人(コーディネーター)もいて、活動が行われているが、 すそ野は雲で覆われ、ハッキリとは見えない状態(情報発信が 効果的でない状態)。



効果的な情報の収集・発信により、雲が晴れて(情報が見える化され)、すそ野がハッキリと見える状態。

[施策1]情報の集約と提供

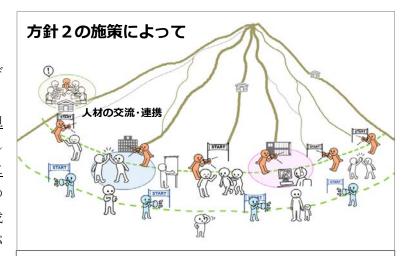
- 社会参加につながる情報の集約
 - ・行政、公共施設、地域の団体、企業、NPO等が行う社会参加につながる講座やイベント等のうち、子ども・大人・企業・団体等が関わり合う取組の情報を中心に、集約する必要がある。
 - ・社会参加につながる情報は多岐に渡るので、生活圏域に根差した多方面の情報を集約するためには、行政や公共施設だけではなく、市民からも情報を提供してもらえるような方策を検討すべきである。

○ 社会参加につながる情報の提供

- ・集約した情報を提供するために、インターネットを活用したデータベースの公開や事業(フォーラム、シンポジウム等) を実施すべきである。
- ・今後社会参加が期待される若者や企業・団体をはじめ、これまで社会参加の機会が得られなかった人に対して、情報を受け取る側の様々な状況を踏まえた方法を活用・開発することが必要であり、更には社会参加の楽しさを含めて、大切さを伝えることも必要である。
- ・他部局や企業・団体にも積極的に情報発信し連携を図りながら、官民一体となって効果的な提供方法を模索すべきである。

【方針2】人材育成と活用

地域や企業・団体が中心となって地域課題解決に向かう活動の事例を分析すると、活動が始まるきっかけにコーディネーターの存在があることが分かりました。つまり、市民の社会参加を促すためには、その<u>きっかけづくりを担う人材が必要です。</u>さらに、育成した人材の活躍を後押しすることや、交流する機会を設けるなど、<u>人材が継続的に活動できるように支援することも重要です。</u>特に学校等の生活圏域で子どもと大人が関わり合える場において、育成した人材の活躍の機会を積極的に増やしていくことが効果的です。



新たな入口(社会参加するきっかけ)が出来たり、新たな案内人 (コーディネーター)が増えている状態。

[施策1] コーディネーターの育成

- 地域の情報を収集する人材
 - ・地域に根差した多方面の情報を集めるための人材を育成すべきである。
- 市民の学びを組織できる人材
 - ・社会参加のきっかけとなる様々な学習活動を生み出すために、市民の学びを組織できる人材を育成すべきである。
 - ・その一例として、社会教育士(*5)の育成等も検討すべきである。
 - (*5) 国が定める社会教育主事養成課程または社会教育主事講習を修めた者に、新たに与えられることとなった称号(2020年4月施行)。 環境、福祉、まちづくり等、多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されている。

[施策2] 市民の学びを継続的に支援する仕組みづくり

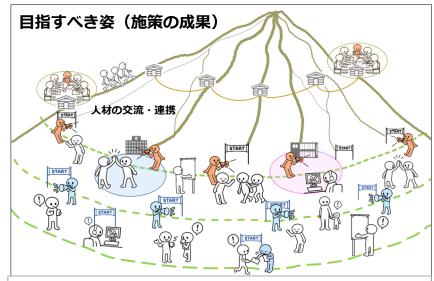
- 活動の機会の情報提供
 - ・育成した人材や、既に活躍している人の活動の場を広げるための情報提供をしていく必要がある。
- 学校教育と社会教育の連携
 - ・学校と連携して子どもたちが地域に出ていく機会を増やし、地域の人材が子どもたちを受け入れることにより、子どもも 大人も成長できる機会を広げることが重要である。
- 社会教育士等の活用
 - ・補助事業等を通じて、育成した社会教育士等の活動を、継続的に後押しすべきである。
- 人材の交流の場
 - ・市民利用施設で活動するコーディネーター等のほか、施策1で育成した「地域の情報を収集する人材」や社会教育士等の 交流の場をつくるべきである。
- 施策を推進する主体の組織づくり
 - ・方針1、2の施策を推進するためには、主体となる組織をつくる必要がある。
 - ・継続的に施策を進めるためには、主体となる組織の自立化が必要である。

(3) 目指すべき姿(施策の成果)

社会参加のすそ野の見える化(方針1)や、 人材育成と活用(方針2)が進むことで、社会 参加のすそ野の拡大につながります。

社会参加のすそ野が拡大し、社会参加する市民が増えると、その中から地域の課題に気づき、解決に向かう市民が生まれていきます。これにより、地域の課題解決を担うグループ数の増加、住民の孤立化の防止、自助共助の意識を持った個人の増加等、本市が抱える課題の改善につながることが期待されます。

これに加え、今期会議で議論した、子どもも 大人も育ち合う活動への社会参加が増えること で、それに関わる人々の自己肯定感や地域への



効果的な情報の収集・発信により、雲がなくなり(情報の見える化が進み)、 人材が増え、より一層すそ野が拡大する状態。

愛着が育まれ、地域のために何かをやろうという意識が芽生えてきます。こうした経験をした子どもたちが、次世代の担い手となって、持続可能な社会をつくっていくことも期待します。

5 おわりに(議長寄稿)

私たちは社会の大きな転換点に立っています。それは風景を大きく変えるものではありません。しかし、人々が不安を感じているように、この社会の構造は密やかに、しかし確実に変化しています。その一つが、少子高齢化・人口減少そして長寿命化という人口構造の劇的な変化です。もう一つが、人工知能の急速な発達です。

この二つが結びつくことで、私たちは人生 100 年を自らの意志で、価値を判断しながら、生き抜くことが求められ始めています。そしてそこへ、新型コロナウイルス感染症の蔓延です。私たちは否応なく、自立しつつ、他者と協働して、この新しい社会状況に対応しなければなりません。

このとき、政策・行政的にも、そして研究や実践的にも重視されているのが、コミュニティと人々の交流そして学び直しです。自分の生活の場であるコミュニティで、他者とともに、社会の主役として、この社会を次の世代にきちんとつなげていくこと、そのプロセスこそが学びであり、そのためにこそ学びが大切になる、こういう社会に私たちは生き始めています。学びとは教育行政だけのものではなく、人々の生活全般にかかわる、その基礎をつくる営みなのです。

この新しい生活のためには、誰ひとりとして取り残されることなく、社会に対する信頼をもつことが大切です。そのキーワードが社会参加であり、それを後押しするのが行政の役割です。社会参加を通して、自分が社会に位置づいていると思えること、そのことが「新しい日常生活」時代の生活スタイルをつくりだす基盤となるのではないでしょうか。

この提言書は、社会参加の初歩的な取り組みに向けた、私たちからの投げかけです。これを、市民の皆さんと行政の双方で、一層豊かなものへと育んでくださることをお願いしたいと思います。

令和2年11月

第32期横浜市社会教育委員会議 議長 牧野 篤

令和2年11月 第32期横浜市社会教育委員会議

編集・発行:横浜市教育委員会事務局総務部生涯学習文化財課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 TEL:045-671-3282 FAX:045-224-5863

ホームページ

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/hokokusho/shakaikyoiku/shakaikyoiku.html

Ⅱ 事業概要

1 教育委員会事務局生涯学習文化財課

(1) 生涯学習情報の提供

〇生涯学習ページ(横浜市ホームページ内)

- [趣 旨] 学習しやすい環境づくりを目指して、学びのきっかけとなるような役立つ情報を、生涯 学習ページ「はまなび」で提供しています。 (平成9年7月開始)
- [内 容] 生涯学習トップページ(https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/) の主な内容
 - ○はまなび
 - ○施設情報
 - ○教育委員会生涯学習関連事業
 - ○報告書・パンフレット・審議会答申等
- 「連絡先] 671-3282

(2) 生涯学習指導者の育成、関係職員の研修

〇社会教育主事(補)・社会教育指導員 新任者研修

- [趣 旨] 新任の社会教育主事(補)、社会教育指導員を対象に、それぞれの役割や生涯学習及び社会教育の概念、横浜市の生涯学習施策について理解するために実施しています。
- 「対 象〕新任の社会教育主事(補)、新任の社会教育指導員等
- [実 績] 令和3年度 参加者数:12人
- 「開催日]令和3年5月26日
- 「会 場〕横浜市社会教育コーナー
- [内 容] 社会教育主事(補)・社会教育指導員の役割、生涯学習や社会教育の意義、横浜市の社会教育の特徴などを学びました。
- [連絡先] 671-3282

〇各区支援センター関係職員新任者研修(市民局と合同で実施)

- [趣 旨] 生涯学習や市民活動支援に必要な基礎的知識や役割等について研修を実施しています。
- 「対 象〕各区市民活動・生涯学習支援センター関係職員
- [実 績] 令和3年度 参加者数:32人
- 「開催日]令和3年4月22日、4月27日(同内容を2回に分けて実施)
- [会場]横浜市役所市民協働推進センタースペースAB
- [内 容] 支援センターの役割と機能、区役所の業務、生涯学習と市民活動について、中間支援組織について、市民協働について学びました。
- [連絡先] 671-3282

〇各区支援センター関係職員新任者フォローアップ研修(市民局と合同で実施)

- [趣 旨] 各区における生涯学習や市民活動支援について、初年度を振り返り、課題を見つけ、次年度に向けた目標設定等のために実施しています。
- 「対 象〕新任の市民活動・生涯学習支援センター担当職員とセンター職員
- 「実績」令和3年度参加者数:13人
- 「開催日]令和4年3月
- [会場]新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため集合研修を実施せず、学習資料配付による 個人研修とレポート提出
- [内 容] 各支援センターで令和3年度に実施した支援センター事業を振り返りながら、改めて支援センターの役割と機能を確認し、令和4年度に向けた目標を設定しました。
- [連絡先] 671-3282

〇生涯学習研修(全3回)

- [趣 旨] 市民の学びや活動の支援に携わる職員を対象に、生涯学習や社会教育に関する理解を深め、地域の課題解決に必要な知識を学ぶための研修を実施しています。
- [対 象] 社会教育に関わる職員や支援センター関係職員、地域力推進担当、区民利用施設に従事 する職員等
- 「実 績〕令和3年度参加者数:158人(延べ人数)

- 「開催日]①令和3年8月16日~9月6日(67人)②令和3年12月17日(24人)
 - ③令和4年2月25日(46人)
- [会場] ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合研修を実施せず、動画配信による 個人研修とレポート提出
 - ②横浜市社会教育コーナー研修室AB
 - ③横浜市教育委員会事務局花咲研修室201, 202, 203研修室
- [内 容] ①ボランティアとの関わり方 ②人材バンク事業活性化のための関係職員研修 ③ボランティアの活躍に向けた施設連携の実践 ~図書館編~
- [連絡先] 671-3282

〇出前研修(1区実施)

- [趣 旨] 生涯学習に関わる職員の能力向上と研修内容を職員で共有することを目的に、研修を希望する区に対して講師等が出向き、各区で研修を実施しています。
- [対 象] 社会教育主事(補)、社会教育指導員、市民活動・生涯学習支援センター職員、支援センター担当職員等
- 「実 績〕令和3年度 参加者数:6人(延べ人数)
- 「開催日]【栄区】令和3年11月19日
- [会 場] さかえ区民活動センター
- 「内 容〕市民活動・生涯学習支援センター事業の概要説明、生涯学習・社会教育について等
- 「連絡先」671-3282

〇社会教育研究会

- [趣 旨]社会教育関係職員が各区の生涯学習・社会教育に関する調査・研究を行います。
- [対 象] 社会教育主事(補)、社会教育指導員
- [実 績] 令和3年度 参加者数:118人(延べ人数)
- [開催日] 全体会:①令和3年6月30日 ② (全体報告会) 令和4年1月26日 グループワーク:令和3年10~令和4年1月の間にグループごとに複数回実施
- [会場] 全体会:①横浜市教育委員会事務局花咲研修室 ②オンライン開催 グループワーク:オンライン開催、横浜市役所、各区会議室など
- [テーマ] 区における社会参加につながる情報の集約
- [内 容] ①(全体会)第32期横浜市社会教育委員会議議長 牧野篤先生(東京大学大学院教育学研究科教授)によるご講演『〈社会〉をつなげる基盤 ―ポスト・コロナとAIそして人生100年時代 これからの社会教育に求められるもの 第32期横浜市社会教育委員会議から『
 - ②グループごとに進めた研究について、令和4年1月全体報告会にて発表
- [連絡先] 671-3282

〇国や県が実施する研修への派遣

- 「趣旨」国や県が実施する研修に職員を派遣します。
- [対 象] 社会教育主事(補)、社会教育指導員、区生涯学習関係職員、教育委員会職員、図書館職員等
- [実 績] 令和3年度 参加者数:37人(延べ人数)
 - (1) 国(文部科学省) 主催
 - · 社会教育主事講習A: 5人
 - ・社会教育主事講習B:2人
 - (2) 神奈川県主催
 - ・生涯学習指導者研修「社会教育担当者コース」: 6人
 - ・生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」: 21人
 - · 社会教育主事講習 A 事後研修会: 3 人
- [連絡先] 671-3282

(3) 横浜市民の読書活動推進

〇乳幼児期から高齢期まですべての市民を対象とした読書活動の推進

極 旨]「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」及び「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、乳幼児期から高齢期まで、すべての市民を対象とした読書活動の推進に関する施策を進めるため、令和元年12月に「第二次横浜市民読書活動推進計画」を策定しました。同計画は、平成26年3月策定の「横浜市民読書活動推進計画(平成26年~平成30年)」の取組の成果と課題や、読書環境を取り巻く諸情勢の変化、また令和元年6月に公布、施

行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、施策の 方向性と取組を示しています。

[内 容] 第二次横浜市民読書活動推進計画

【重点項目】

- 1 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進
- 2 成人の読書活動の推進と担い手の拡大
- 3 読書活動の拠点の強化と連携
- 4 区の地域性に応じた読書活動の推進

教育委員会は、全市的な広報活動、読書活動の普及啓発イベント等への民間事業者等の協力を働き掛けるなど全市的な読書活動を推進します。

区役所・図書館・学校は第一次読書計画で築かれた連携基盤を生かし、引き続き地域全体で読書活動を推進します。

「連絡先] 671-3282

〇横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム

- [趣 旨] 第31期横浜市社会教育委員会議がまとめた提言内容の「本を介して人と人がつながる きっかけとなる事業の推進」に基づき、「横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム」 を開催しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部プロ グラム内容を変更し、ライブ配信を実施しました。
- [対 象] 横浜市民、読書活動をしている市民や団体、読書施設関係職員、学校図書館関係者、図 書館関係者 等
- 「期 日〕令和4年3月19日
- [会場] オンライン開催
- 「内 容] 動画配信
 - ○矢部太郎氏(漫画家、芸人)によるトークショー
 - ○ビブリオバトル、「本の楽しみかたカード」ワークショップ(有隣堂)
- [実 績] ライブ配信視聴回数 計350回
- [連絡先] 671-3282

(4) その他

〇「成人の日」を祝うつどい

- [趣 旨]成人の日を迎えた市民を祝い、励ますことを目的として実施します。(昭和38年度開始)
- [対 象] 横浜市内在住の新成人
- [期 日]成人の日(1月第2月曜日・祝日)
- 「会場」横浜アリーナ
- 「内容]記念式典等
- [実施主体] 横浜市、横浜市教育委員会、横浜市選挙管理委員会、横浜市「成人の日」記念行事実行 委員会
- [実 績] 令和3年度(令和4年1月10日実施) 対象者:36,373人 (うち参加者:21,913人)
- [連絡先] 671-3282

〇子どもアドベンチャー

- [趣 旨] 横浜市内在住・在学の小中学生を対象に、キャリア教育の視点から「働く」ことの体験 や、様々な社会体験を通じた「人との交流」の場や機会の提供、子どもの夢を親子で語 り合うなど、親子のふれあいのきっかけづくりのため、民間企業やNPO法人、大学、横浜 市役所をはじめとした公的機関の協力を得て、多様なプログラムを実施します。当初(開始年度:平成16年度)は秋休みでの実施でしたが、平成18年度から夏休み期間中に実施しています。
- [対 象] 横浜市内在住・在学の小・中学生等(未就学児も一部可) ※プログラムによって年齢制限あり
- 「実施主体〕横浜市、横浜市教育委員会
- 「実 績〕新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。
- [連絡先] 671-3282

〇成人教育講座

[趣 旨] 市民の人権意識を育むため、地域で自主的学習の機会となる成人教育講座を団体に委託 し、開催します。(昭和53年度開始)

- [対 象] 横浜市内在住・在勤の成人
- 「期間]令和3年11月~令和4年3月
- [会 場] 神奈川県地域労働文化会館
- [内 容] 自主グループ、団体が人権問題全般に関する講演会を実施します。
- 「実 績〕令和3年度 2講座2回 参加者数:45人(延べ人数)

[連絡先] 671-3282

〇女性団体活動支援

[趣 旨] 女性団体の振興と活性化を図るため、横浜市女性団体連絡協議会理事会の活動に対し支援を行います。

[連絡先] 671-3282

〇横浜市歌の普及

[趣 旨] 1909年(明治42年)に横浜開港50周年を記念して制定された横浜市歌を、広く市民に親しんでいただけるように努めています。

作詞:森 林太郎(鷗外) 作曲:南 能衛

[内 容]・横浜市歌のCD (「横浜市歌 楽譜 (CD付)」) の貸出:生涯学習文化財課(市庁舎14階)、 市民情報センター資料カウンター(市庁舎3階)、横浜市立図書館(全18館) *市ホームページからも、試聴と楽譜のダウンロードができます。 https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shika/sika.html

- ・市歌利用に関する著作権関連等のご相談へのご案内
- ・ホームページ掲載資料を利用できない方に対する楽譜の配布

[連絡先] 671-3282

視聴と楽譜のダウンロードは、こちらからもホームページにつながります。→



〇生涯学習事業への共催・後援

- [趣 旨] 生涯学習の振興を図るために、各団体が自主的に実施する事業に対し、共催および後援 を行います。
- [対 象] 生涯学習関係団体が主に横浜市内を会場にして行う事業
- 「実 績〕令和3年度 後援件数:115件
- [連絡先] 671-3282

2 生涯学習を推進するための施設

(1)教育委員会事務局生涯学習文化財課関連施設

ア 市民活動・生涯学習支援センター

※詳しくは、p.15 「3 地域の生涯学習~区における生涯学習推進・支援」をご覧ください。

[内 容] 相談・コーディネート・ネットワークづくり/情報発信/情報収集/ 人材の発掘・育成・活用/施設間のネットワーク構築/講座・イベント/ 場の提供・機材の貸出

[実 績] 令和3年度 相談件数:14,323 件 設備・機材利用件数:32,901 件※p.16 「令和3年度市民活動・生涯学習支援センター 相談件数及び設備・機材利用件数」参照

「連絡先] 671-3282

イ 横浜市社会教育コーナー

[設置趣旨] 社会教育指導者の研修や市民の教養向上のための講座を実施します。また、市民の生涯 学習・社会教育活動の場として施設を提供します。

[設 置] 昭和57年5月1日

[所 在 地] 〒235-0016 横浜市磯子区磯子三丁目6-1-1

[開館時間] 9時~21時(日曜日・祝日は17時まで)

[休 館 日] 年末年始、施設点検日

[施設概要] 延床面積:789.182㎡、スポーツ広場:800㎡

研修室A・B・C、アートルーム、トレーニングルーム、交流スペース等

[実施事業] 自主事業:おはなし会ボランティア養成講座、横浜学校・地域コーディネーター連絡会、 家庭教育学級ぱんぷきん等25事業

[運営主体] 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

(令和4年度から、特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワークに変更)

[実 績] 令和3年度 施設利用回数:3,029回 施設利用者数:28,140人

[連絡先] 761-4321

ウ 横浜市歴史博物館

[設置趣旨] 古代から開港期までを中心とした横浜の歴史に関わる資料を収集、保管するとともに、調査研究を進め、その成果を展示などにより公開することで、市民の学習活動及び学術、文化の発展に寄与します。

[設置] 平成7年1月開館

「所 在 地] 〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1

「開館時間」 9時~17時 (ただし、入館は16時30分まで)

※野外施設について:その他の公園施設、歳勝土遺跡部分については24時間オープン (休館日) 月曜日(祝日を除く)、年末年始(12/28~1/4)

[施設概要] 敷地面積 7,278㎡

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階

延床面積 9,269 m²

1階 駐車場、エントランスホール、ミュージアムショップ

2階 常設展示室、歴史劇場、スタディサロン、映像コーナー、 企画展示室、体験学習室、図書閲覧室、講堂、研修室

正四成小主、件次十日主、四百周見主、

野外施設「大塚・歳勝土遺跡公園」

(所 在 地) 〒224-0028 横浜市都筑区大棚西1番(代表地番)

(面 積)約6.6ha

(主な利用施設)

(ア)遺跡復元・再現施設

○大塚遺跡 復元竪穴住居7棟、復元高床倉庫 型どり復元遺構1ヶ所、環濠約250m

○歳勝土遺跡 復元方形周溝墓5ヶ所、再現墓道約100m

(イ) その他の博物館施設 工房(約300㎡)

(ウ) その他の公園施設 解説板、地形模型(1ヶ所)、体験広場(約1,200㎡)

[運営主体](公財)横浜市ふるさと歴史財団(指定管理者)

[実 績] 横浜市歴史博物館 令和3年度 常設・企画展示室入館者数:63,156人

「連絡先」912-7777

工 横浜開港資料館

[設置趣旨] 開港期を中心とする横浜の歴史に関する資料を収集・保存・調査・研究し、その成果を広く市民に公開することにより、市民の横浜の歴史に対する理解を深め、文化の向上に寄与します。

[設置]昭和56年6月開館

[所 在 地] 〒231-0021 横浜市中区日本大通3 (旧英国総領事館)

[開館時間] 9時30分~17時(ただし、入館は16時30分まで)

※閲覧室開室時間は10時~12時、13時30分~15時30分

※ (休館日) 月曜日 (祝日を除く)、年末年始 (12/28~1/3)

※閲覧室は上記の休館日のほか、火曜日(祝日を除く)、月末整理日、資料整理週間等

[施設概要] 敷地面積 3,026 m²

構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上3階地下1階

延床面積 2,900㎡ (旧館・附属棟1,200㎡ 新館1,700㎡)、旧館は旧英国総領事館

[運営主体](公財)横浜市ふるさと歴史財団(指定管理者)

[実 績] 令和3年度 常設・企画展示室入館者数:21,136人

「連絡先] 201-2100

オ 横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館

[設置趣旨] 横浜都市発展記念館は、開港期以降の横浜の都市形成の歴史、市民生活の変遷及び横浜がはぐくんだ文化に関する資料を収集し、保管し、展示し、及び展示資料として市民の利用に供するとともに、その学習、調査等のため必要な事業を行うことにより、ふるさと意識の醸成、国際平和等に資するとともに、市民の学習、学術及び文化の発展に寄与します。

横浜ユーラシア文化館は、ユーラシアの文化に関する資料を展示し、及び保管し、並びにこれらの資料を中心としてユーラシア諸地域の文化交流に関する調査研究等を行い、 その成果を広く市民に公開することにより、国際文化都市横浜の発展に寄与します。

[設 置] 両館とも 平成15年3月15日開館

[所 在 地] 両館とも 〒231-0021 横浜市中区日本大通12(旧横浜市外電話局)

[開館時間] 両館とも 9時30分~17時(ただし、入館は16時30分まで)

(休館日) 月曜日 (祝日を除く)、年末年始 (12/28~1/3)

[施設概要] 建物 鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階

延床面積 2,906.09㎡ (内 地下収蔵庫約200㎡ 1 階受付及び事務室約200㎡ 2 階ユーラシア常設展示室約300㎡ 3 階企画展示室約200㎡

4階都市発展常設展示室約300㎡)

「運営主体」(公財) 横浜市ふるさと歴史財団(指定管理者)

[実 績] 横浜都市発展記念館 令和3年度 常設・企画展示室入館者数:18,300人 横浜ユーラシア文化館 令和3年度 常設・企画展示室入館者数:27,186人

[連絡先] 663-2424

力 横浜市三殿台考古館

「設置趣旨」三殿台遺跡の出土品を中心に公開展示します。

「設置」昭和42年1月31日開館

[所 在 地] 〒235-0021 横浜市磯子区岡村4-11-22 国指定史跡三殿台遺跡内

[開館時間] 4~9月:9時~17時、10~3月:9時~16時 (休館日)毎週月曜日、年末年始(12/28~1/4)

[施設概要] 考古館本館 122.0㎡(収蔵庫 66.0㎡ 展示室56.0㎡)

○住居跡保護棟 431.0m²

○復元住居模型 3棟(19.6㎡、27.5㎡、22.1㎡)

○縄文式模型(中期・加曽利式E式期)、弥生式模型(中期・宮ノ台式期)

○古墳時代模型(後期・鬼高式期)

○遺構の標示施設(住居跡、その他遺構の位置、模型、形を石柱で標示)

[運営主体](公財)横浜市ふるさと歴史財団(指定管理者)

[実 績] 令和3年度 入館者数:15,780人

キ 横浜市八聖殿郷土資料館

[設置趣旨] 庶民の生活用具であった民俗資料を中心に収集を行い、公開展示しています。 併せて安達謙蔵氏より寄贈された八聖像を保有しています。

[設 置] 昭和48年3月29日開館

[所 在 地] 〒231-0822 横浜市中区本牧元町76-1本牧臨海公園内

[開館時間] 9時30分~16時 (休館日) 第3水曜日、年末年始(12/28~1/4)

[施設概要] 延床面積 876.2m²

構 造 R C 塔屋 · 地下室付銅板付葺 2 階建

屋外展示棟 16.55㎡ 資料展示室、図書閲覧室

「運営主体」(公財) 横浜市ふるさと歴史財団

[実 績] 令和3年度 入館者数:11,124人

[連絡先] 622-2624

(2) 図書館施設

〇横浜市中央図書館(1館)、各地域図書館(17館)

[設置趣旨] 市民の生涯学習を支援・促進する場として、図書館資料の提供を行います。

[設 置] 大正10年から事業開始(中央図書館は平成6年2月から業務開始)

[所 在 地] 中央図書館:〒220-0032 横浜市西区老松町1 TEL 262-0050

地域図書館:17館【P.15 [横浜市立図書館一覧]参照】

「開館時間と休館日」

J H-							
		中央図書館	地域図書館(山内 図書館を除く)	山内図書館			
	火~金曜日	9時30分~20時30分	9時30分~19時	9時30分~20時30分			
土・日・月、祝(休)日 9時30分~17時							
	年末年始	12月28日: 9時30分~17時 1月	4日:12時~17時				
休 館 日 施設点検日 (月1回)、年末年始 (12月29日~1月3日)、図書特別				1)、図書特別整理日			

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、開館時間等の一部変更を行いました。

[中央図書館施設概要] 建物延面積: 21,834.36㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上5階地下3階 [事業概要] ①館内事業

- ○図書館資料の収集、閲覧
- ○図書館資料の利用相談、レファレンス(調査相談)
- ○講習会、展示会、おはなし会などの事業や読書普及活動
- ②貸 出
- ○個人貸出 全館あわせて1人6冊まで2週間貸出を実施 【令和4年4月1日から1人10冊まで14開館日に変更】
- ○団体貸出 読書活動の振興を目的として横浜市内で活動する地域団体、社会教育団体等で、会員が30人以上の団体に、会員数により最高1,000冊まで長期貸出を実施(中央、保土ケ谷、金沢、港北、山内、戸塚図書館で実施)
- ○グループ貸出 横浜市内で読書に関する活動をしている、会員 5 人以上のグループに 30冊まで30日間貸出を実施
- ○移動図書館 中央図書館から移動図書館車で、2週間の間隔で市内21か所を巡回、個人貸出を実施【令和4年4月1日から市内29か所に変更】
- ③視覚障害者支援事業 対面朗読、録音図書・点字図書の貸出等
- ④配送貸出 来館困難な心身障害者を対象に実施(中央図書館)

[連絡先] 262-0050

[横浜市立図書館一覧]

(令和4年3月31日現在)

館名	設立年月日	戸	在 在	地	電話番号
中央図書館	Н6. 2. 22	₹220-0032	西区老松町1		262-0050
鶴見図書館	S55. 1. 10	₹230-0051	鶴見区鶴見中央2-	10-7	502-4416
神奈川図書館	S62. 10. 21	₹221-0063	神奈川区立町20-1		434-4339
中図書館	H1. 5. 21	₹231-0821	中区本牧原16-1		621-6621
南図書館	H4. 12. 2	〒232-0067	南区弘明寺町265-	1	715-7200
港南図書館	S62. 1. 21	₹234-0056	港南区野庭町125		841-5577
保土ケ谷図書館	S57. 5. 7	₹240-0006	保土ケ谷区星川1-	2-1	333-1336
旭図書館	S61. 5. 14	₹241-0005	旭区白根4-6-2		953-1166
磯子図書館	S49. 10. 6	₹235-0016	磯子区磯子3-5-1		753-2864
金沢図書館	S55. 5. 15	₹236-0021	金沢区泥亀2-14-5		784-5861
港北図書館	S55. 8. 27	〒222-0011	港北区菊名6-18-1	0	421-1211
緑図書館	Н7. 5. 9	〒226-0025	緑区十日市場町82	5-1	985-6331
山内図書館	S52. 4. 12	₹225-0011	青葉区あざみ野2-	3-2	901-1225
都筑図書館	Н7. 4. 25	₹224-0032	都筑区茅ケ崎中央	32-1	948-2424
戸塚図書館	S53. 11. 1	₹244-0003	戸塚区戸塚町127		862-9411
栄図書館	H1. 3. 14	₹247-0014	栄区公田町634-9		891-2801
泉図書館	H1. 2. 22	〒245-0016	泉区和泉町6207-5		801-2251
瀬谷図書館	S60. 1. 17	〒246-0015	瀬谷区本郷3-22-1		301-7911

3 地域の生涯学習 ~区における生涯学習推進・支援

区役所(18区)では地域振興課を中心に、市民に最も身近な行政機関として地域における生涯学習の推進・支援を各区の実情にあわせて進めています。また、地区センター、コミュニティハウスなどの区民利用施設でもさまざまな事業を実施しています。

(1)地域振興課について

昭和44年、婦人・青少年などの社会教育関係団体の育成、学級・講座などの社会教育事業の実施、社会体育の振興等を図るため各区に「社会教育係」(当時)が設置されました。

平成6年、市民の学習ニーズの多様化に伴い、また生涯学習支援の観点から、地域の生涯学習施策を総合的に推進するため、機構改革により「社会教育係」と「地域文化振興担当」とを統合して「生涯学習支援係」に名称を変更し、充実・強化を図ってきました。

平成16年から、地域の実情にあわせ、「生涯学習支援係」の名称をとっていない区もあります。

ア 市民活動・生涯学習支援センター

市民の自主的な学習活動や地域活動が活発化し、これらの活動に対する支援体制の充実とサービス拠点の整備が求められるようになったことを背景に、平成6年11月から順次「生涯学習支援センター」を設置しました。(平成12年度、18区に設置完了)さらに、平成16年度から平成20年度にかけて、順次区版市民活動支援センターとの複合化が進み、名称を「市民活動・生涯学習支援センター」とし、学びと活動を支援するセンターとして、更なる機能の充実が図られています。

市民活動・生涯学習支援センターでは、次の事業を実施しています。

市民活動支援センター事業展開ガイドライン(令和4年3月改訂)に準ずる

- ・相談、コーディネート、ネットワークづくり:地域での活動に関心のある人、すでに 地域で活動をしている個人・団体等からの活動等に関する相談への対応、地域の様々 な主体をつなぐコーディネート・ネットワークづくりなど
- ・情報発信:ニュースレターや冊子の発行、ホームページ、SNS の活用、メールマガジンの発行など
- ・情報収集:団体登録、知識や技術を活かすボランティアの登録、活動団体や現場訪問、 地域施設間の情報共有など
- ・人材の発掘・育成・活用:区民企画講座の実施、活動機会の提供、地域施設間の情報 共有など
- ・施設間のネットワーク構築:地域施設間の情報共有会議等の実施・参加、地域施設・ 組織への訪問等による情報の共有など
- ・講座・イベント: きっかけ作り講座、団体スキルアップ講座、体験講座、利用者懇談会・交流会、センター祭り、地域施設・団体との協働イベントなど
- ・場の提供・機材の貸出:会議室・ミーティングコーナーの提供、利用者の活動に必要な機材の貸出、コピー機・印刷コーナーの設置など

(ア) 相談件数及び設備・機材利用件数

	↓ロ=火/升 ¾	k h (/ 4−)		設	備・機	材利用件	持数(件)	
区	相談件数(件)		1)	2	3	4	5	総利月	月件数
	令和3年度	前年度	会議室等	ミーティング コーナー等	印刷機 (輪転機)	パソコンコーナー	機材貸出	令和3年度	前年度
鶴見	319	420	184	1,397	169	16	327	2,093	2,072
神奈川	160	196	238	314	200	14	202	968	777
西	489	432	0	2,731	222	0	7	2,960	2,378
中	391	335	1,068	1,420	109	0	1,140	3,737	2,510
南	1,548	1,514	1,508	307	177	0	137	2,129	1,534
港南	621	207	248	4,832	211	21	115	5,427	1,124
保土ケ谷	396	355	913	1,089	648	116	544	3,310	2,424
旭	95	103	599	544	406	0	291	1,840	1,266
磯子	1,691	1,279	456	218	276	0	67	1,017	824
金沢	3,408	2,545	276	0	205	0	178	659	689
港北	1,013	396	115	32	80	0	102	329	186
緑	305	347	882	478	205	60	500	2,125	1,920
青葉	402	456	0	134	101	0	39	274	268
都筑	506	637	0	529	381	16	77	1,003	1,804
戸塚	941	716	949	958	111	15	329	2,362	1,437
栄	1,412	821	337	550	314	0	295	1,496	1,430
泉	501	363	251	0	0	0	87	338	307
瀬谷	125	112	0	179	254	12	389	834	695
合計	14,323	11,234	8,024	15,712	4,069	270	4,826	32,901	23,645

 $[\]Diamond$ 「0」は「設置なし」又は「カウントせず」を意味します。

[◇] 会議室数やミーティングコーナーのテーブル数などは、各区により異なります。

[◇] 本ページで取り扱っている件数は、「相談件数」と「設備・機材利用件数」についてまとめたものであり、市民活動・生涯学習支援センターの利用者総数や訪問者数をを示すものではありません。また、区によって保有する機材や会議室の数、開館時間、支援センター職員の人数等の設置状況が異なるため、一概に比較できるものではありません。

(イ) 相談内容の傾向など

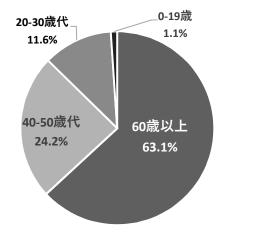
【相談内容別】

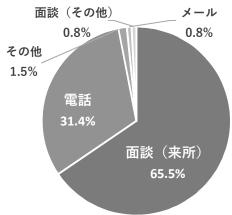
		令和 3	前年度
1	何かをはじめたい	541	362
2	地域課題	56	50
3	講座・イベント・教室等を探している	1,010	600
4	学習や活動の場所・施設・機関・モノを探している	1,053	637
5	学習や活動の人材、グループ・団体等を探している 情報を知りたい	1,721	1,078
6	人材、グループ・団体等として登録したい。活動したい	1,258	615
7	グループ・団体を立ち上げたい	42	27
8	グループや団体の人材	69	51
9	事業の企画、広報、PR	831	671
10	学習や活動の資金・財源	42	45
11	活動のための制度や法律、財務・会計・労務など	28	65
12	センターの施設利用・事業など	4,316	3,733
13	行政について	88	91
14	企業や商店街などについて	22	11
15	学校や大学など教育機関について	17	11
16	他の機関について	52	95
17	その他	3,696	3,557

◇ 1件の相談に対し、複数のコードを選択している場合があります。 そのため、前ページの相談件数の合計とは一致しません。

【個人相談の年齢別内訳】

【相談の受付方法】





イ 社会教育の推進

環境、人権、福祉、教育、地域社会の問題などの現代的な課題をテーマに学習する学級・講座、つどいを開催するなどの事業を行っています。事業の実施にあたり、次の専門職員を配置しています。

○社会教育主事(補)

1970 (昭和45) 年から区における社会教育の振興を目指し、各区地域振興課の職員1名を兼任の形で社会教育主事又は社会教育主事補として教育委員会が任命しています。

[設置根拠] 社会教育法 第9条の2

[職務内容] ○区における社会教育行政の企画・実践・計画に関すること

- ○社会教育における調査研究に関すること
- ○各種学級・講座、集会等の開設・運営・実施に関すること
- ○社会教育関係団体の指導者の研修に関すること
- ○社会教育関係団体との連絡調整に関すること 等

「実績」令和3年度配置数:18人

○社会教育指導員(会計年度任用職員)

1973 (昭和48) 年から、各区の地域振興課に1名ずつ配置しています。

[設置根拠] 横浜市社会教育指導員設置要綱

[職務内容] 市民の社会教育活動に対する指導及び助言を中心に、生涯学習の支援に関する業務を行う。

ウ 青少年の健全育成

地域における青少年の健全育成活動を進めるため、次の事業等を行っています。

○青少年育成事業 ○青少年団体への支援 等

エ 地域スポーツの振興

地域におけるスポーツの振興や区民の健康づくりを進めるため、次の事業等を行っています。 〇スポーツ推進委員事業 〇スポーツ大会・教室の実施 等

オ 地域の文化振興

地域における文化振興を図るため、次の事業等を行っています。

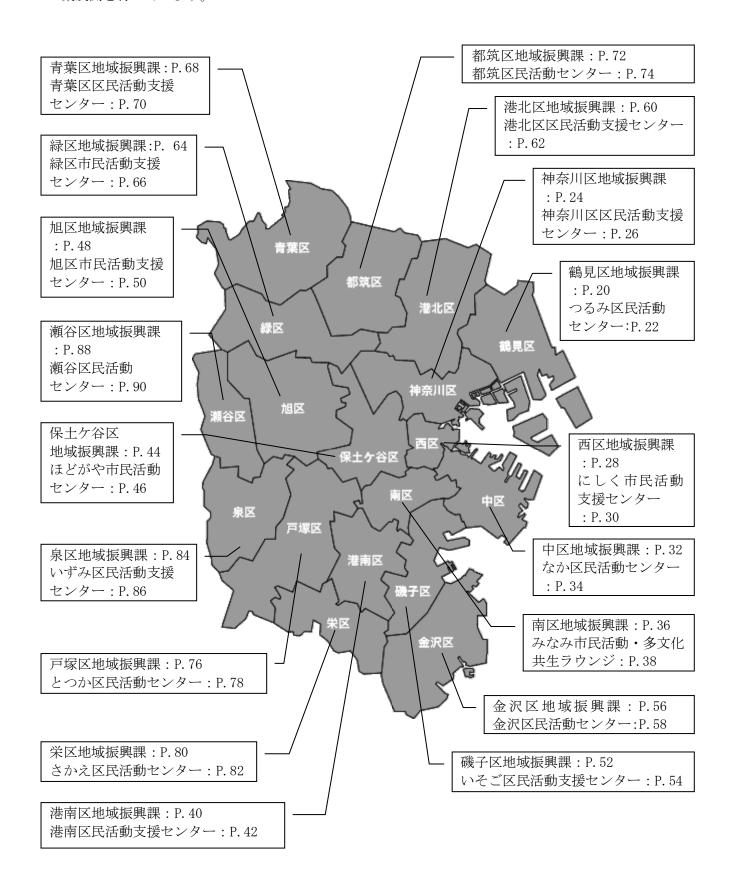
○文化祭・コンサートの開催 ○文化団体の支援 ○文化活動の支援 等

カーその他関連課等

地域振興課の他、総務課(人権、選挙啓発等)、区政推進課(まちづくり等)、福祉保健センター(高齢者、障害者、地域福祉、健康づくり、母子保健等)の部署で様々な生涯学習事業を実施しています。

(2) 各区地域振興課及び市民活動・生涯学習支援センター令和3年度事業概要

各区地域振興課や市民活動・生涯学習支援センターでは、区ごとに地域のニーズや特色を捉えた事業展開を行っています。



● **鶴見区** 〒230-0051 鶴見区鶴見中央 3 - 20 - 1 1 1 (510) 1691 ~ 1693 • 1695 (地域振興課 区民活動支援係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民による生涯学習、スポーツ、文化活動、青少年育成、国際交流などの自主的な活動を支援する とともに、自主的・自発的な地域活動のきっかけとなるような多様な学習機会を提供しました。

【区民活動支援係の主な事業】

<u> </u>	氏心動又振保の主な事業】 事業名	事業説明
ア	地域文化・区民活動等推進事業	・つるみ区民活動センターにおいて、学びや活動のきっかけづくり、活動及
	地域文化。区区位到守在连事来	び発表の場の提供等、活動の段階に応じた多様な支援を行い、区民の自主的
		な活動や学びを推進しました。
		・区民に文化・芸術活動を発表する機会や、身近な場所で気軽に文化・芸術
		に触れられる機会を提供することによって、区内の文化交流や文化振興を推
		進しました。
	○ つるみ区民活動センター事業	・活動団体や活動を始めようとしている個人・団体の支援、学習相談、情報
	○ プラック区以行動にマク 事未	収集、情報提供、登録団体パネル展、市民活動や生涯学習の情報紙「あぶり
		お」の発行(6回/年)ホームページ、Twitterも利用し、情報提供を充実し
		ました。
		・「つるみMACHI塾」では、市民活動の発表のスキルを磨くための講座を全6
		回開催し、うち2回は対面とオンラインを併用したハイブリッド開催としま
		した。
		・ワークショップ「スマートフォン講座」では、デジタルディバイドの解消
		に向けて登録団体とともに取り組みました。
		・鶴見区の人材バンク紹介イベント「鶴見人ネットフェスタ」を5年ぶりに
		開催しました。演技や作品の展示場所を提供することで、「鶴見人ネット」
		登録者のモチベーションアップと区民への周知につながりました。
		・区民利用施設職員を対象とした研修・交流会を2回開催し、施設間の顔の
		見える関係づくりを進め、つながりを強化しました。
	○ 地域文化推進事業	鶴見区文化協会が主催する区民文化祭の開催を支援しました。これにより
		様々な分野で文化活動をしている区民に発表の場を提供するとともに、芸術
		文化鑑賞の機会を提供し、文化活動への参加を促しました。
	○ 読書推進事業	「第二次鶴見区読書活動推進目標」の取組として鶴見図書館と連携し、読書
		講演会の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の
		ため、会場開催は中止とし、読書に関する講演を動画撮影して市 YouTube に
	La La La Da La Ma	掲載しました。
イ	青少年育成事業	地域社会における青少年の自主的活動と、その育成組織活動を推進すること
	〇 末小星松送日本紫	により、青少年の健全育成を図りました。
	○ 青少年指導員事業	青少年の健全な育成に向けて、より良い地域環境をつくるため、青少年指導
	○ 青少年交流活動推進事業	員が行う活動に対し、支援を行いました。 ・青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と
	〇 月少午父侃佰助推进争未	・育少年育成りイエンへ交流事業 横供りイエンヘブロンノイノ同等子校と 連携し、地域の青少年が理系分野に興味を持つ機会を作ることにより、科学・
		理科の側面から青少年の健全育成を推進しました。
	○ \(\times \) \(
	○ 学校・家庭・地域連携事業	区内の中学校区における学校・家庭・地域が連携した青少年の問題行動防止
	○ ○フュフ玄イ 四玄とつ 、 ニ)	や健全育成活動事業に補助金を交付し支援しました。
	○ つるみ子育て・個育ちフォーラム	子育て支援関係者や青少年健全育成にかかわる団体等のネットワーク化を
	支援事業	一層推進し、関係者の活動発表の場を設ける一方、子どもたちが心豊かに育 つ地域づくりについて考える場を提供しました。
ゥ	区民スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及・振興を目的とする諸団体の活動支援を通じ、団体の
	区氏 スポープ派 與事業	育成を行いながら区民の健康増進、地域コミュニティの形成を図りました。
	○ スポーツ協会への補助事業	スポーツ協会に補助金を交付し、様々な区民スポーツ大会を支援しました。
	○ 八小 / 励云 3/11四事来	これにより区民がスポーツを身近に楽しむ機会を提供しました。
エ	スポーツ推進委員事業	地域におけるスポーツ振興を図るため、スポーツ推進委員が行う活動に対
	八八 万压座女员事来	し、支援を行いました。
オ	多文化のまち・つるみ推進事業	多文化共生推進の拠点となる鶴見国際交流ラウンジの運営を委託し、外国に
	ックロッよう フロッグは歴事末	つながる子どもたちの学習支援や、ボランティアの育成等を行いました。
力	鶴見区民まつり支援事業	区民のふるさと意識を醸成し、相互の交流や親睦を深めるため、各フェステ
~	movum My イノ人以ず不	イバル実行委員会の企画・運営を支援しました。
キ	区民利用施設の管理・運営	区民利用施設での事故を防止し、利用者の安全を確保するために、施設の点
1		検や修繕を行いました。
Ь		IN VINITE 114 & C/C0

生涯学習・社会教育事業 ●歴史と文化のある「鶴見」を学ぶ・語る・広める 「つるみ MACHI 塾」 ●

令和3年度は「伝えよう!鶴見の魅力」と題して、広報等で区民企画講座の参加者を募集し、年度後半の本講座で実際に発表することを目標に、プラン作りから見せ方、話し方などについてサポートする講座を実施しました。また、コロナ禍で需要が高まったスマートフォンの講座も実施しました。



区民チャレンジ応援ワークショップ

「学びや暮らしに生かそう!スマートフォン 講座」を鶴見パソコンボランティア協会の協力 を得て開催しました。電話以外の機能をほとん ど使っていないスマートフォン初心者の方向け にさまざまな機能を体験していただきました。 コロナのワクチン接種予約が電話では混雑して 取りづらく、話題になっていた時期でもあり、参 加者は熱心に質問を投げかけていました。 「伝えよう!鶴見の魅力」

第1回 プランづくりをしよう!

第2回 わかりやすく工夫をしよう!

第3回 魅せ方のテクニックを学ぼう!

第4回 企画発表を楽しもう!

講座終了後は参加者が観客の前で発表しました。 一般区民も参加できる公開講座「これからどうする?どうなる?学びや活動」「話し方・コミュニケーション術」はハイブリッドで開催しました。



●鶴見区の人材バンク紹介イベント「鶴見人ネットフェスタ」 登録者の PR の場の提供と取組の周知を図る ●

令和2年、3年にかけての期間、コロナ禍でさまざまなイベントの自粛や縮小を余儀なくされ、人材 バンク「鶴見人ネット」の登録者の活躍できる場も少なくなっていました。そこで5年ぶりに登録者 の演技や作品の発表の場を提供する「鶴見人ネットフェスタ」を開催しました。



会場の区役所ロビーは業務中の職員の協力もあってミニコンサートさながらの盛り上がりとなり、出演者の満足度が高い催しとなりました。音出しの配慮や土曜日の集客方法など課題が明らかになった面も含め、今後に生かせる取組になったと思います。何度も打合せをし、感染症拡大防止対策が徹底できたことも成果の1つだと思います。

開催は3日間(木・金・土)で、 平日の午後は立ち見も出るほどの 盛況ぶりでした。土曜日は集客を 図るため鶴見区のマスコット "ワッくん"の着ぐるみも登場し、 入口で観覧を呼びかけました。 子どもたちにも大人気でした。



読書推進事業「第二次鶴見区読書活動推進目標」の取組として鶴見図書館と連携しました。

令和3年度 つるみ読書講演会「ニホン語に住む私たち」

・講師:温 又柔 氏(作家)

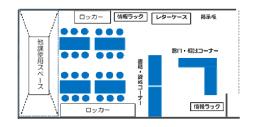
・ 開催日:令和4年2月 19 日(土)※会場開催は中止になりましたが、Youtube で動画配信を行っています。

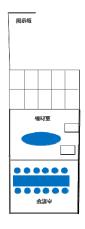
■つるみ区民活動センター

住 所	鶴見区鶴見中央3-20-1
	(鶴見区役所 2階)
交 通	JR 鶴見駅 徒歩7分
電話	510-1694
FAX	510-1716
利用時間	平日・土・祝日 8:45~17:00 第3水曜日21:00まで ※第3水曜日が祝日の場合は 17:00まで
休館日	・日曜日・年末年始 ・施設点検日

	80. 9UJII
	親兄部後是 社会福祉保護会 親見区合同庁舎
	22 年 155
	SURFERENCE
← 1100	ST WANT
	彩見園西部







■地域の状況と特色

縄文時代の遺跡も多く見られ、旧東海道の合の宿として賑わった時代や、別荘地としての顔をもっていた鶴見は、 戦後、京 浜工業地帯の中枢として発展し、外国人の方が多く住む国際色豊かなまちとなりました。歴史や文化を重んじる一方、新しいものも積極的に受け入れてきた地域の特性をいかす自主事業の企画・実施と、相談者自身の学びや活動につながる助言やコーディネートが行えるよう努めています。

■学習情報の提供

学習を進めるための情報や活動のきっかけとなるような情報を利用者のニーズに合わせて提供しています。

- ・生涯学習情報紙「あぶりお」の発行
- ・「鶴見区団体・サークル名簿」の発行(閲覧用)
- ・「利用登録団体一覧表」の発行(閲覧用)
- ・団体活動紹介ファイルのコーナーを書庫に開設
- ・小中学生の調べ学習用図書一覧の提供
- ・ネット検索用パソコンコーナー開設(閲覧用)

■学びや活動の相談・コーディネート

生涯学習を行ううえでの相談や、活動を進めるうえでの悩みなどについて、相談員が一緒に考えアドバイスします。 また、生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」に登録された方と団体・施設とのコーディネートを行っています。

■ミーティングコーナー・会議室・作業コーナー(印刷機・紙折機・帳合機・断裁機)の提供

打合せや作業をするためのコーナーや会議室があります。

ご利用いただくには、事前に「団体利用登録」や「貸出機材利用登録」が必要となります。

また、登録団体は貸しロッカー・レターケースもご利用いただけます。

■学習機材の貸出(貸出機材利用登録後、予約優先)

学びや活動に必要な機材の貸出しを行っています。

貸出機材一覧:パソコン・プリンター・プロジェクター・CD ラジカセ・マイク・電動ステープラー・パウチ・拡声器・スクリーン

令和3年度 つるみ区民活動センター事業報告

生涯学習・社会教育推進事業「つるみMACHI塾」

多彩な魅力あふれる「鶴見」の魅力をもっと楽しもう!

今年度は、公開講座を含む区民企画講座を開催。区民の皆さんによる研究や活動を企画し、講師として本講座にてお話いただきました。Zoomでも参加可能なハイブリッド開催を行いました。

■ 区民企画講座 6月~9月 計6回

第1回 得意なテーマを生かしたプランづくり

公開講座《これからどうする?どうなる?学びと活動》

第2回 資料や写真を使ったわかりやすい工夫 第3回 想いを伝える魅せ方のテクニックを学ぶ 第4回 お互いの企画を知る 企画発表を楽しむ

公開講座《話し方・コミュニケーション術》



■ 本講座 10月~12月 全4回

第1回 京浜臨海部の森づくりを知る! ①生きもののすみかづくりの実験 ②トンボが飛び交うまちが好き!

第2回 鶴見の歴史と見どころを知る!

第3回 市民の森の楽しみ方を知る!

第4回 潮田の歴史を知る!

生涯学習・社会教育推進事業 区民の ICT 活用講座

【スマホ体験講座:11/27】基礎編・応用編 【Zoom 体験講座】参加者編、応用編 区民の皆様の ICT 活用を応援すべく、鶴見パソコンボランティア協会にご協力をいただき、初心者 向けの講座を実施しました。大変重要なセキュリティ対策やラインの使い方等、熱心に学ばれました。※Zoom 講座は令和4年度に延期となりました。



区民利用施設間連携事業《スタッフ研修》

【実施日:6/30】横浜市の防災・危機管理について

横浜市の地域防災を学び、 災害対応カードゲーム(クロ スロード)を使って、危機管 理と災害時の運営について考 えました。



【実施日:12/22】 高齢社会における市民の関心事とは



高齢化社会における地域包括ケアシステムの概要を学び、また、比較的容易に誰もが楽しめるニュースポーツを実際に体験しながら学びました。

ボランティア人材バンク支援事業 《鶴見人ネット》《鶴見人ネットフェスタ》

《鶴見人ネット:登録数 119》

仕事や趣味などで培った技術・知識・経験を活かしてボランティアをしたいという方々を、地域団体・サークル・学校・施設等に紹介する人材バンクシステム「鶴見人ネット」の運営をしています。

《鶴見人ネットフェスタ開催》

鶴見人ネットに登録している方々の実際の活動内容を演技やパネルで紹介する「鶴見人ネットフェスタ」を開催しました。

【実施日】11/18・19・20

【会場】 鶴見▷

鶴見区役所 1 階

区民ホール

【参加数】演技部門 18 団体

展示部門 7団体



つるみ区民活動センター情報誌《あぶりお》

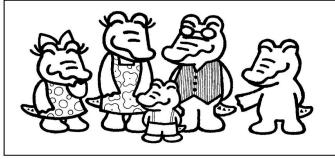
区民の学びと活動を応援する 情報誌『あぶりお』発行

つるみ区民活動センターでは、 区民の生涯教育や区内で活動する団体・サークルを応援するための情報誌『あぶりお』を奇数 月(隔月)に発行しています。



市民活動紹介パネル展「鶴魅力」

開催期間 2/28~3/26 参加団体 42 今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 1 階区民ホールが臨時待合スペースになり、パネル 展の会場をつるみ区民活動センターに変更しました。



つるみ区民活動センターは、

「何かを始めたい!」と気づいたときに、 「活動をうまく進めたい!」と思ったときに、 一人ひとりの思いに寄り添い、.皆さまの 学びや活動を応援していく施設です。 区民活動センター職員一同お待ちしています。

● 神 奈 川 区 〒221-0824 神奈川区広台太田町 3 - 8 ℡(411) 7092 · 7093

(地域振興課)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

現代的課題や地域における課題を区民と協働で解決することを目指し、健康で楽しく暮らせるま ちづくりを進めます。また、区民自らが解決する場と情報を提供します。

【主な事業】

	事業名	事業説明
ア	生涯学習推進事業	
	○ 市民活動・生涯学習支援事業	区民がよりよい地域づくり、住みやすいまちづくりを目指す、 自主的で自立した市民活動・生涯学習活動を支援するとともに、 事業を通じて区民との協働を推進しました。 また、区民活動支援センターの事業として、各種活動支援講座 の開催や区民活動支援センターだより「ぐろーばる・あい」を発 行しました。
	○ かながわ湊フェスタ	区内で活動する多種多様な市民活動団体・生涯学習団体等が自らの活動をPRする場とするとともに、かながわ湊フェスタへの参加をきっかけに、市民活動団体・生涯学習団体や活動者同士が交流を深めることで活動の活性化を図りました。また、来場者が生涯学習・市民活動を始める手がかりとなることで、いきいきと活動する区民を増やし、地域の活性化を図りました。
	〇 神奈川区生涯学級	区民が運営委員会を組織し、企画・運営をしている生涯学習講座を開催しました。運営委員同士のつながりや、講座の運営方法のスキル等が深まる中で、運営委員会から区民活動の核となる人材が羽ばたいていくことを目指しています。
イ	青少年育成事業	
	〇 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を支援し、親子ふれあい型事業など、青少年の健全育成を目的とした事業を実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和3年度も引き続き小学校音楽フェスティバル等、一部の事業が中止。
ウ	区民スポーツ振興事業	
	○ 区スポーツ協会支援事業	区スポーツ協会の活動を支援し、年間を通じて各種スポーツ大会・教室等を開催することにより、生涯スポーツの促進を図りました。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和3年度も一部の事業が中止。
	○ スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を支援し、スポーツ・レクリエーション活動を推進することにより、区民の健康増進、地域コミュニティの実現を図りました。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和3年度もミニバスケットボール大会等、一部の事業が中止。
エ	地域文化振興事業	
	〇 文化活動支援事業	区文化協会の活動を支援し、区民音楽祭、文化展等、地域文化の振興を図る事業を開催しました。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和3年度も一部の事業が中止。
オ	子育て・青少年元気づくり支援事業	
	○ 青少年パワー発揮事業	青少年が自主的に取り組んでいるバンド活動等を披露する場をつくり、地域の活力の向上や青少年の健全育成につなげることを目的として、青少年パワー発揮事業「B-SKY FES」の実施を支援しました。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和3年度は一部オンライン開催(参加団体動画の公開)のみ実施。

神奈川区 生涯学習推進事業の紹介

1 神奈川区生涯学級

神奈川区では、区民による自主活動グループ(運営委員会)を立ち上げ、地域活動の担い手となるような人材の育成を目指しています。それぞれの運営委員会が企画・運営まで携わった「神奈川区生涯学級」を開催し、区民と共に地域課題の解決を目指しています。



区民企画型講座「いっしょに!地元に!日本語教室を つくりませんか」の様子



「かながわ湊フェスタ 2021」の様子

2 かながわ湊フェスタ~神奈川区区民活動支援センター活動PR展~

神奈川区で活動する市民活動団体・生涯学習団体等が自らの活動をPRし、活動者同士が交流を深める場として、令和3年11月28日(日)神奈川スポーツセンターで開催、23団体が参加、約500人が来場しました。 湊フェスタは、市民活動団体・生涯学習団体等で構成される実行委員会の企画運営及び参加団体等の協力により実施しています。

3 読書活動推進講演会

神奈川区読書活動推進活動目標に基づき、区民の読書活動を推進するため、講演会を開催しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和2年度に中止となった講演会と同内容を動画配信形式に変更し、開催しました。



講演会の動画配信画面

■神奈川区区民活動支援センター

住 所	神奈川区広台太田町3-8 神奈川区総合庁舎5階
交 通	JR東神奈川駅、京浜急行京急東神奈川駅、東急東横線反町駅下車 各徒歩7分
電話	411-7089
FAX	323-2502
利用時間	8:45~17:00
休館日	土・日・祝日・年末年始





③ 貸しロッカー ② フリースペース 507窓口 ① 相談窓口 8 ⑦ チラシラック 団体用掲示板 ⑥ 交流室

神奈川区区民活動支援センターフロアMAP



神奈川区マスコットキャラクター

神奈川区区民活動支援センターは平成16年9月、 横浜市では最初にできた市民活動・生涯学習支援センターです

■神奈川区の特徴

神奈川区は、海に面していることから、鎌倉時代から神奈川湊(みなと)として賑わい、江戸時代には 東海道沿いで神奈川宿として栄えるなどして発展してきました。

現在は、「海」と「緑」と「丘」のある表情豊かな街として多くの区民に愛されています。

交流室

■学習相談・情報提供

これから市民活動やボランティア活動、生涯学習をしたい人や活動を広げたい人、様々な分野の学習機 会を求めている人に講座・イベント・施設・人材等の情報提供や学習相談を行います。

■学習機材の利用・貸出(要利用登録)

- ①持ち出し可能機材(プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスマイク・アンプほか)
- ②設置機材(印刷機、丁合機、紙折機、電動パンチほか)

■団体情報「団体サークルガイド」・人材情報「かながわ区民助っ人BANK」の提供

生涯学習やまちづくり、教育、福祉などの幅広い分野でボランティア活動をしたい人と、ボランティア を頼みたい人との橋渡しをします。

■打合せ・活動スペースの提供、情報閲覧

- ①交流室(登録制):市民活動団体、生涯学習グループが打合せや会議ができるよう、交流室を 設けています。(定員24名)
- ②ミーティングスペース:資料整理、情報収集、情報閲覧、打合せがいつでもできます。

2021 (令和3) 年度 神奈川区区民活動支援センター事業

どの事業も感染症対策を行い開催しました

◆ 情報誌の発行

区民活動支援センターだより「ぐろーばる・あい」を 年間6回発行しました。この情報紙の編集は、紙面の 一部について区民の方々が編集ボランティアとして参 加しており、企画から取材、編集校正までを自らの学 びとして活動し発行に携わっています。



◆ 活動者支援

「みんなの文化祭~想いのバトンをつなげよう~」

新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができない・仲間と会えないという 登録者向けに「みんなの文化祭~想いのバトンをつなげよう~」を全3回開催しました。活動発表の場所を提供し、再び仲間と活動する機会をつくることで、今後の活動継続に向けて励みになる催しとなりました。また、区役所内で感染症対策を取り入れたイベントだったので、外出を控えていた方々にも安心して申込みや観覧ができた等の声をいただきました。



◆ 助っ人BANK講座

「Zoomの使い方講座」

自治会町内会も含めた登録者向けに少しでも活動が継続できるよう、活動者のサポートの一つとしてZoomの講座を開催しました。講師に助っ人BANK登録者を活用することで、活動の場を提供することもできました。

Zoom初心者向けと上級者向けに内容を分けて開催。対面での講座でしたが、 最終回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインに切り替 えました。その後、Zoomでの団体交流会につなげました。



◆ 施設間連携事業

「神奈川区地域施設間連携会議」

区内34施設を対象に、顔の見える関係づくりや情報共有、互いの連携を深めるため、令和3年度も2回開催し、第2回ではモジョコンサルティング合同会社 代表 長浜 洋二氏を講師として招き「顔が見える関係から心の通い合う関係へ」をテーマに学びました。



「歩いて見て自分とまちを元気にwalking」

施設間連携会議をきっかけにうまれた「宿場まつりグループ(8施設)」が連携し、市民向けウォーキング講座を開催しました。





(地域振興課)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりが、学びや活動によって自らの課題を自らの手で解決する力を高め、主体的に社会参加していくことを目標としています。

そのために、区民の自発性に基づく学習・文化・スポーツ活動等の振興と、社会のさまざまな課題に対応した各種生涯学習事業を推進するとともに、地域における連帯意識の醸成を図るための環境整備や支援を進めています。

【主な事業(生涯学習支援関係)】

	事業名	事業説明
ア	区民活動支援関係	
	〇 にしく市民活動支援センター事業	市民活動がより活発化し、誰もがいきいきと生活できる元気な地域が 創られるように、区民の皆さんの活動や生涯学習を支援しました。 令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、集合形式での講座実施などの従来通りの運営が困難な状況 でしたが、Zoomなどを利用したリモートでのつながりづくりに積極的 に取り組みました。
		区内各施設間で情報共有し、効果的に事業が進められるよう、区内施 設実務担当者会議等を開催し連携を図りました。
	○ 市民活動・生涯学習支援事業	生涯学習講座として「にしくスマホサポーター」養成講座を実施した ほか、西区役所前の特設ブースにて地域団体に活動の紹介や物販など を行っていただく企画「にしくスタイル」内で、地域で活動する団体 の出展を行いました。
	○ 読書活動推進事業	区民の方々が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校等が連携し、POP展示リレーや読書講演会の実施など、読書活動の推進に取り組みました。
イ	地域文化振興関係	
	○ 西区文化祭ほか (西区文化協会活動支援)	西区文化祭では、絵画、書道、写真等の作品を展示する創作展の開催 や、「にしくシティガイドグループ」による「わがまち西区ガイドウォ ーク」(西区文化協会と連携)の開催の他、西区の歴史や著名人を紹介 する情報誌「にしぶんか」の発行に係る事業を支援しました。
ウ	青少年関係	•
	○ 青少年育成団体支援事業	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員事業等地域活動支援を行いました。
	○ 西区子ども会支援事業	西区子ども会の運営・事業についての助言・支援を行いました。
エ	スポーツ関係	
	○ スポーツ活動団体支援事業	スポーツ推進委員の活動や、スポーツ協会の事業を支援しました。
	○ 西区ハマのウォーキングフェスティバル事業	区内の各種団体で構成される西区スポーツ振興事業推進委員会により、区民の健康づくりや西区の魅力発見等につながるコースを設定し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながらウォーキングイベントを開催しました。

■□■西区事業紹介ページ■□■

「にしくスマホサポーター」養成講座

【開催概要】

回数	日時	講師	開催方法	内容	参加者
第1回	令和4年	秋本 創 氏	ハイブリット	講義(ICT 知識を地域に役立てる方法	17 人
	1月23日(日)	(特定非営利活動		/話し方・伝え方のコツ/ボランテ	
	9:30~12:00	法人埼玉情報セン		ィアとしての心得など)	
		ター次長)			
第2回	令和4年	特定非営利活動法	オンライン	・講義(MIKs の活動経験について/	
	2月20日(日)	人 MIKs	(Zoom)	活動実例紹介)	
	9:30~12:00			・グループレク、グループワーク	
第3回	令和4年			・個人ワーク	
	3月13日(日)			・グループワーク	
	9:30~12:00			・ロールプレイ	

ICT に詳しい人材を掘り起こし、受講者が地域の担い手として市民活動の機会や場を増やす支援を目的として、地域でスマートフォンの使い方についてアドバイスできるサポーターの養成を目指す「にしくスマホサポーター」養成講座を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、オンラインを中心とした開催方法となりましたが、17名の方にご参加いただき、伝え方のコツについて学ぶ機会となりました。





読書活動推進講演会

【開催概要】

講師 : 廣瀬俊明氏(元ラグビー日本代表キャプ

テン)

開催日:令和4年2月22日(火)

会場 : 神奈川大学みなとみらいキャンパス 視聴回数:計690回(令和4年3月末時点)

読書活動推進事業の一環として、元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊明氏を講師に迎え、読書活動推進講演会を実施しました。神奈川大学みなとみらいキャンパスと連携して実施したほか、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、開催形式は YouTube でのライブ配信としました

西区ハマのウォーキングフェスティバル事業

【開催概要】

お問合せ先: 西区役所地域指揮課 045-220-0393 横浜市中央図書館サービス課 045

名称:第15回ハマのウォーキングフェスティバル 「ソーシャルディスタンスでぶらり西区今昔物語」

開催日:令和3年12月5日(日) 会場 :《スタート会場(集合場所)》

戸部公園運動広場 《ゴール会場》

臨港パーク潮入の池

参加人数:695人



幅広い世代の市民ウォーキングへの興味を呼び起こし、ウォーキングを通じた心と体の健康づくりの普及・啓発を図ることや、イベントを通じた西区の魅力再発見など地域の活性化に寄与することを目的に開催しています。第15回となる令和3年度は、695名が参加しました。屋外での開催ではありますが、参加者が多数集まるイベントであるため、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながらの開催となりました。



にしく市民活動支援センター にしとも広場

住	所	横浜市西区中央1-5-10
		西区役所1階
交	通	京浜急行戸部駅徒歩8分
		相鉄平沼橋駅徒歩10分
電	話	045-620-6624
F A	А Х	045-620-6624
利用時間		9:00 ~ 17:00
休 館 日		水曜(祝日含む)・年末年始



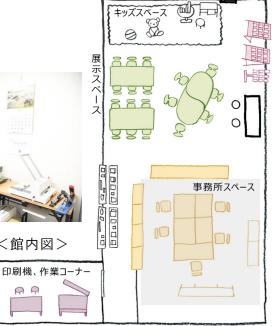
<館内の様子>





<館内図>

0 0



市民活動、生涯学習および地域活動を通じて、地 域の課題を地域で解決する「市民力」の向上によ る、豊かな地域づくりを応援しています。

ネットワーク 情報·相談 ・情報紙の発行 市民活動団体、自治会町内会、 区内施設など、西区内で活動する ホームページでイベント情報などの提供 市民活動、地域活動に関する運営相談 さまざまな人や活動のつながりづくり 情報提供 生涯学習ポランティア、団体・サークル のコーディネート 講座・イベント 活動拠点 何か始めたい、 参加者・団体同士のつながり ステップアップしたいを ・ミーティングスペース を大切にしたイベントや、地 情報コーナー、展示スペース機材貸出、グルーブボックス 域づくりに役立つ講座の開催 応援します! 印刷機、紙折り機

令和3年度運営報告

今年度は、継続する新型コロナウイルス感 染症の影響がある中、オンラインの活用を含 め「今だからこそ"つながりづくり"」をテーマに、 活動が活性化するよう、積極的に働きかけを 行いました。

活動者・団体の交流会は、昨年度のアンケ 一ト結果を反映し、年3回に増やして学びつつ 交流ができるようにしました。また、登録者の他 に地域づくり大学校修了生にも参加を呼びか け、新たなつながりづくりのきっかけとしました。

区内自治会や施設と連携し、サテライト会 場を設置した講座を行い、来館が難しい方た ちも参加しやすいよう工夫しました。

2021(令和 3)年度事業

■新しいつながりの形「好きなもん広場」

西区で暮らす人や働く人の「好きなこと」「やりたいこと」 「活動していること」をきっかけに、新しい出会いが広がることを目的として、参加者同士の対話を中心に、月 1 回、テーマを設け、計 6 回実施しました。

■登録人材ボランティアの活動支援「来て·見て·聞いての日」

感染拡大防止運営基準を適用しながら、季節に合わせた企画も含め、年 16 回開催しました。希望者が多い企画には複数回の開催や別会場を準備するなど、参加の機会を増やしました。常磐津節三味線の新春演奏会など、伝統芸能の紹介にもつながりました。

■情報の発信・提供

情報紙『にしとも広場』を年 2 回、にしとも広場のイベント案内を主とした「にしとも広場 mini」を年 4 回発行しました。情報紙では、連動企画として「(座談会)あの人の話をきいてみたい」や「きてみてやって!にしとも 5 人のアート展」を開催し、情報の発信だけにとどまらず読者とのつながりを意識した構成としました。

■展示スペースの活用

登録者のプロカメラマンに依頼し、活動者の「プロフィール写真撮影会」を実施、活動紹介と共に写真展を開催しました。写真データは各人の活動に活用できるようにしました。また、登録者のアート展(11/1~11/26)を開催、季節に合わせた飾りを作りました。来館者や西区の施設利用者の方などが飾りづくりに参加するなど、みんなで作り上げる展示となりました。

■西区地域づくり大学校

第10期となる今年度は「仲間と出会って地域のつながりづくり」をテーマとし、少人数の 4 回連続講座としました。講座終了後も続く仲間づくりを意識した講座内容で、20代から70代と幅広い年代の14名が参加しました。区政推進課と連携し、丁寧なフォローアップ・コーディネートを心掛け、にしとも広場を利用した自主企画化や、既存活動団体への参加、地域の学校、施設でのボランティア活動等につながりました。感染予防のため、修了式はオンラインを主としたハイブリット方式での開催となりました。





















出去って つながりづくり





(地域振興課 市民活動支援担当、文化・スポーツ・青少年等担当)

【区民活動支援事業推進の考え方・目標】

区民が市民力を発揮して新しい公共を創造し、地域の様々な課題解決の担い手となっていけるよう、 区民の活動を段階に応じて育成・支援するとともに、活動に有効な情報提供を行います。

また、区役所内各課、区内各施設との連携を一層深め、青少年指導員やスポーツ推進委員、区内で活動しているNPO団体などのボランティアと協力して、区民が楽しみながら活動し、学び、地域に親しむ機会を提供することを目的とする事業を企画し、実施します。

【市民活動支援担当、文化・スポーツ・青少年等担当の主な事業】

事業名	事業説明		
ア 区民活動支援事業			
○市民活動支援事業	「なか区民活動センター」を拠点に、市民活動団体の活動支援やボランティア人材の活躍の場の創出やコーディネート、区民利用施設との連携事業等を行いました。		
○生涯学習支援事業	地域で活躍する人材の育成や生涯学習、人材活用のための事業・講座等を実施しました。		
○文化活動支援事業	中区で活動する文化活動団体の自立を図るとともに催 事の魅力を高めるため、地域の文化事業の支援を行いま した。		
○読書活動推進事業	区内の施設や団体と連携し、区民の読書推進及び施設・ 団体間の連携強化を目的としたイベント等を実施しま した。		
イ 多文化交流事業			
○なか国際交流ラウンジ運営事	「なか国際交流ラウンジ」を運営し、外国人市民に情報提供すると共に、日本語教室の開催や外国につながる若者の居場所作り、多文化共生理解事業等を行いました。		
ウ 青少年育成事業			
○ 青少年指導員事業	青少年指導員による、地域社会における青少年育成活動の 支援等を行いました。		
○ 青少年活動への補助事業	区内青少年団体の活動を支援するため、補助金の交付を行いました。		
エ 地域スポーツ振興事業			
○ スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の支援を行いました。		
○ 体育協会への補助事業	区民の生涯にわたる健康増進と地域社会の連帯を図る ため各種区民スポーツ大会の開催支援等を行いました。		

■市民活動支援担当、文化・スポーツ・青少年等担当の事務事業紹介のページ

<横浜市開港記念会館の休館前のイベント>

中区の公会堂である横浜市開港記念会館が、改修工事のため令和3年12月より休館となることから、休館前に市民に親しんでもらうイベントを実施しました。

●ジャックで過ごす楽しい1日

【開催日】令和3年6月5日(土) 【参加者】約1,200名

【場 所】横浜市開港記念会館・なか区民活動センター

【内 容】横浜三塔フォトラリー、作品展、記念講演、 記念コンサート、街の先生ワークショップ、 ガーデンネックレスPRブース、塔登り等

●休館前の市民開放 FINAL WEEK!

【開催日】令和3年11月23日(火・祝)~11月30日(火)

【内 容】ジャックサポーターズによる館内案内ガイド 写真スポットの公開、ラウンジ映画上映、影絵上映等



記念コンサート

<外国につながる若者達による映画制作>

なか国際交流ラウンジの「Rainbow(レインボー)スペース」で活動する外国につながる若者たちが、多文化共生の推進等を目的に映画やアニメを自主制作し、開港記念会館で上映しました。作品では、外国につながる若者達の葛藤や成長、「自分らしく生きたい」という思いを描いており、今後は広く地域等で上映していく予定です。

【開催日】令和3年11月23日(火・祝)

【場 所】横浜市開港記念会館

【参加者】約80名

※令和4年3月21日(月·祝)映画館ジャック&ベティで 上映予定でしたが新型コロナウイルス感染症の拡大防止 のため中止となりました。





映画のフライヤー

<インクルーシブスポーツ体験会>

障害の有無や年齢等に関わらず、誰でも気軽に楽しむことができるインクルーシブスポーツの魅力を広く知っていただけるよう、体験会を開催しました。今後もインクルーシブスポーツの普及を推進していきます。

【開催日】令和3年月6月12日(土)

【場 所】大さん橋ホール

【参加者】約680名

【体験できる主なスポーツ】

- ・車いすバスケットボール(車いすの操作やミニゲーム)
- ・ブラインドサッカー(目隠しで行うサッカー)
- ・ボッチャ(カーリングに似た競技)等



ボッチャ



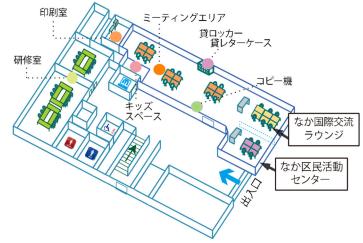
車いすバスケットボール

■なか区民活動センター

住 所	中区日本大通35 中区役所別館				
交 通	JR関内駅(南口)より徒歩7分 市営地下鉄関内駅(1番出口)より徒歩7分 みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)より徒歩4分				
電話	224 - 8138	FAX	224-8343		
Eメール	na-katsudou@city.yokohama.jp				
休館日	第3日曜日·年末年始				
開館時間	月~土 9:00~21:00、日・休日 9:00~17:00				
НР	https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/k urashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kumin katsudo/ncac.html				







「なか区民活動センター」は、市民の 自主的な活動(市民活動・生涯学習・ 地域活動など)をサポートしています。

登録団体数※ 2 135 団体 (前年度 159 団体) 相談件数 ※ 1 391 件 (前年度 335 件)	利用者数 ※1	15,508人	(前年度	11,088人)
相談件数 ※1 391件 (前年度 335件)	登録団体数※2	135 団体	(前年度	159 団体)
	相談件数 ※1	391件	(前年度	335件)

■学習・市民活動情報の提供・相談

(※1:令和3年度 ※2:令和4年3月末)

ボランティア・子育て・教育・国際・スポーツ・文化など様々な分野のチラシを配架しています。 また、新しく学習・市民活動を始める方の相談を受け付けています。

■人材バンクの運営

中区のボランティア人材バンクである「なかく街の先生」を登録・運営し、各種 施設や地域・学校等に対して、事業やイベントで活躍できる講師を紹介しています。

■情報紙・情報冊子の発行

なか区民活動センターの情報紙「なかぽぽら」を隔月で発行し、団体の活動に 役立つ情報をPRしています。

また、なかく街の先生を紹介する「なかく街の先生ガイド」、区民利用施設で活動 するサークル・団体を紹介する「なかく活動ガイド」を発行・配布しています。

■印刷室・貸出機材

ミーティングエリアにはコピー機(有料)、印刷室には印刷機(有料)・紙折機・丁合機などがあります。また、センターに登録している市民活動団体は、貸出用のパソコン・プロジェク ウッカー・レターケースなどを無料で利用できます。



令和3年度 なか区民活動センターの事業

【団体支援事業】

●よろずアップ企画

なか区民活動センターが登録団体の支援として 団体と共催で行う事業

・今こそZoomを使ってみ よう〜Web会議初心者 講座~(4/12、4/26) Zoom体験を通じて使い 方を学習(参加者22名)



- ・みんなで祝おうブラジル日本移民113周年 **(7/22)** アサイー会社社長の記念講演やブラ ジルとリモートシンポジウム(参加者30名)
- ・パソコン初心者講座(全18回・1/12~)と使 い方相談コーナー(毎月第1・3木曜日開催)
- ・地域と学校をつなぐ市民のチカラ 中学校の事例紹介と交流会(参加者20名)
- ・胃がんの悩みや対処法のリモート懇談会 患者会の公開懇談会(Zoom参加者2名)
- ●団体支援講座
- ・動画を作ってYouTubeで公開~団体の活動を 紹介しよう!~(全3回×2コース・2/11~) 自分の団体の紹介動画の作成方法を学び、完 成動画をなか区民活動センターホームページ で公開(参加者20名)
- ・いいね!って思えるチラシを作って参加者 アップの講座を目指そう! (3/4) チラシ作成のカリスマ講師による、講座企画 の立て方やチラシ作りの講座(参加者28名)

【区民利用施設連携事業】

●中区民利用施設ネットワーク会議

区民利用施設の連携や情報共有を目的に実 施。連携事業の実施報告や施設間の連携事例 の発表、施設間の情報共有等を行う。

(10/26 参加者24名、3/22 参加者24名)

●区民利用施設スタンプラリー

区民利用施設のPRを目 的に25施設を巡るスタン プラリーを実施

(1,227名参加)

●区民利用施設の紹介冊子 スタンプラリーに合わせ て25施設の利用案内や、 アクセス方法等を紹介し た冊子を作成して配布



なか区民活動センターマスコット「もなか」

【人材育成講座】

●なか区風おこせ! プロジェクト影絵劇団員 養成講座「2期生募集」 (7/14, 7/28, 8/4) 区内で活動するボランテ ィア影絵劇団のメンバー



追加のための養成講座を実施(参加者6名)

●子育てサークル体験・見学会(2/28中止)

【人材活用事業】

●なかく街の先生ガイド発行 (3月発行)

ボランティア人材バンクの なかく街の先生を紹介する ガイドを更新。延べ115名 の街の先生を掲載。ホーム ページで各先生を紹介する 動画を作成して随時追加



●ジャックで過ごす楽しい1日(6/5) 【ガーデンネックレス横浜連携事業】

開港記念会館となか区民活動センターで開催。 街の先生6名のワークショップや人材育成講座 修了生によるエコバッグぬり絵コーナー運営、 影絵上映等を実施(参加者約1,200名)

【生涯学習事業】

- ○中区タウンピクニック(5/25)人材育成講座 の修了生が企画運営する中区の街歩き講座 ガーデンネックレス横浜会場のバラ園散策を ガイド付で実施(参加者21名・他2回は中止)
- ●街の先生オープン講座
- なかく街の先生の活用を目的に、区民利用施設 で実施するなか区民活動センター主催の講座
- ・夏休み宿題応援「蚊取り線香を作ろう!」 (8/1 本牧地区センター参加者12名)
- ・ぬり絵で彩るクリスマスデコパージュ石けん 作り(12/18 竹之丸地区センター参加者8名)
- ・初めてのトールペイント (1/22 野毛地区センター参加者10名)
- ・シニアのためのスマホ入門

(1/26 本牧地区センター参加者12名)

【情報誌「なかぽぽら」発行(隔月)】

南区 〒232-0024 南区浦舟町2-33 № (341)1238

(地域振興課 区民活動推進係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

地域活動に参加するきっかけづくりや、区民ニーズにあった市民活動の情報提供に努めています。また、区 民が企画運営する講座を実施する中で、地域のつながりをひろげ、担い手づくりをすすめます。

さらに、地域の特性や現代社会の課題(少子・高齢化社会、国際化など)を視野に入れながら、人材育成や 地域文化・スポーツの振興などをめざして事業を展開しています。

【区民活動推進係の主な事業】

	事業名	事業説明
ア	生涯学習の推進	
	〇 地域人材発掘講座	地域課題の解決に向け、運営委員が企画運営する講座を行い、地域活動の担い手を育成する学習機会の場を設けました。
	○ みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ (市民活動支援センター及び国際交流ラウンジ)	さまざまな分野の学習や市民活動に関する相談、情報の提供を通 じて、地域の生涯学習や市民活動を支援しました。
イ	青少年育成事業	
	〇 青少年健全育成活動支援事業	「ボイス・オブ・ユース」 (作文募集) を実施し、入選作品をま とめた冊子を作成、自治会・町内会に配布しました。
	○ 青少年指導員事業	青少年指導員の地域活動を通して青少年の健全育成を図りました。
ウ	地域スポーツ振興事業	
	○ スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を通して社会体育の振興を図りました。
	○ スポーツ協会への支援事業	加盟している種目別競技団体を支援して、スポーツ振興を図りました。
工	区民文化活動支援事業	
	〇 南区文化祭支援事業	区民参加の創作作品展、合唱祭、ステージ等発表をパネル展示に より、実施しました。
	○ みなみ区民文化活動支援事業	区民の文化活動を活性化させるため、活動団体が自主的・主体的に 企画・実施する事業について、補助金交付による支援を行いました。
	○ 読書活動推進事業	読書活動講演会や読書講座を開催したほか、区内の各学校が作成した読書の取り組み展示紹介等により、幅広い世代の方が本に触れる機会づくりを行いました。
オ	一時託児事業	市民参加型事業が増えることに伴い、子育て中の親たちの社会参加を促進するため、保育協力者(ボランティア)派遣などを行いました。

■南区区民活動推進係 事業紹介

1 南区地域人材発掘講座(区民(運営委員)が企画運営する講座)

区民の皆さんが地域課題の解決を目指し、南区内の区民利用施設(地区センター等)を活用し、実 施する講座です。(令和3年度2講座実施)

【もっと輝く!ママクリエイター講座】



実施期間: 令和3年10月12日、26日、11月9日、16日、30日の全5回 受講生 31 人/運営委員5人

自分の得意を活かして、クリエイターとして活躍しているママ達が企画運営した講座です。 令和3年度は魅力的な SNS 発信の仕方を中心に、 昨年よりもっとパワーアップした内容を 盛り込みました。受講生同士の仲も5回の講座で深まったようで、コラボで今後活動もして いかれる方もいるということでした。南区の地域づくり、仲間づくりを意識してマルシェ南区の 開催を目標に頑張っています。

【パステルシャインアート】



実施期間:令和3年11月6日、12月4日、令和4年1月8日の全3回 受講生 26 人/運営委員5人

毎日忙しく働いている方、引きこもりがちなシニアの方、介護や子育てに疲れている方等、 心身の疲弊を感じている方達の癒しのアートメソッドとして企画しました。

全3回の講座だけでは短い、このテーマの作品を描きたいとのご希望に加え、とても癒され た、楽しかった等感想をいただき、コロナ禍の中、閉塞感のある生活の中で、皆様が夢中で 描くことで、心のデトックスができたようです。

2 南区文化祭(パネル展・ミニステージ実演)

毎年、区内で活動する文化団体が、日ごろの活動の成果を発表する場でしたが、新型コロナウイルス感染症の 拡大防止のため、令和2年度に引続き開催中止となりました。令和3年度は、日頃の活動の発表やこれまでの文 化祭の様子を写真パネルとして展示したほか、参加団体によるミニステージ実演を行いました。

実施期間:令和3年12月4日、5日 会場:南区役所1階多目的ホール









3 読書活動推進事業

「南区民読書活動推進目標」を策定し、南図書館と連携し読書講座等を実施しました。

【小中学校読書活動取り組み展示】

区内各校で作成した、学校での取り組みを区役所1階市民ギャラリー及び南図書館で展示、紹介しました。

【読書活動推進講演会】



「雑貨コレクターのうちの中」 講師: 森井ユカさん 実施日: 令和3年9月 25 日 参加人数: 33 人

立体造形家の講師に、ご自身のデザイン・著作の話はもとより、雑貨コレクターとしての身近で マニアックなお話を伺いました。

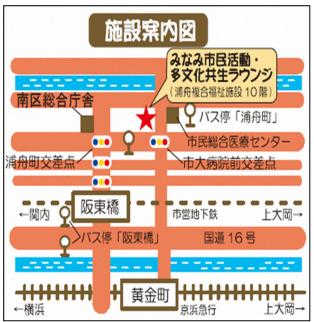
「物語を描く一佐竹美保講演会ー」 講師: 佐竹 美保さん

実施日: 令和3年 11 月 25 日 参加人数: 50 人

『魔女の宅急便』『虚空の旅人』など多くの本の挿絵や表紙を手掛ける講師に、児童書画家の お仕事について、実際の原画を見ながら、お話を伺いました。

■みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

住	住 所	南区浦舟町3-46
1 1 1 1	ומ	(浦舟複合福祉施設 10 階)
交	↑ /ਤ	市営地下鉄阪東橋駅徒歩5分
X	通	京急黄金町駅徒歩 10 分
電	話	232-9544/ 【外国語】242-0888
F	X	242-0897
		月~金 9:00~21:00
利用	時間	(相談業務は17時まで)
, , , , , , , ,		土日·祝日 9∶00~17∶00
休食	官日	施設点検日(第3月曜日) 年末年始







■南区の特徴

区内中央を流れる大岡川を七つの丘が囲み、さまざまな時代背景を映し出す歴史的文化財が数多く残されているため、区の内外からたくさんの方々が歴史探索に訪れています。下町情緒豊かな商店街も見所です。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジの利用には中高年齢の方が多くみられ、さまざまな学習や活動に対する意欲が伺われます。また、南区は近隣の中区と並んで、外国人住民が多く生活しているため、特にニューカマーと言われている外国人の日本語学習をサポートする市民活動が盛んです。

■主な施設

《事前に利用登録が必要な場所》

研修室 $1\sim3$ (研修室1と研修室2は、真ん中のパーテーションを取り外し、ひと部屋としての利用も可能)・多目的室・作業室(印刷機や紙折機、裁断機などを備えています)・貸しロッカー・貸しレターケース・キッズスペース・展示コーナー

《事前の利用登録が不要な場所》

ミーティングコーナー(ちょっとした打ち合わせや急な会議などにご利用ください)

■機材の貸し出し

プロジェクター・ワイヤレスアンプ&マイク・パラバルーン・おもちゃ・紙芝居等

■みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ刊行物

情報紙「アクセスみなみ」を年4回発行。登録団体の紹介やイベント情報の提供をしています。

英語・中国語・やさしい日本語による多言語情報紙「みなみの風」を年4回発行。地域に住む外国の方々に役立つ情報の提供をしています。

南区「街の先生ガイド」は毎年、「グループ・サークルガイド」は隔年で発行しています。

生涯学習・市民活動支援と多文化共生

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、さまざまな分野の学習や市民活動に関する相談・情報の提供を通じて、地域の皆様の生涯学習や市民活動を支援しています。また、市内で唯一、国際交流ラウンジ機能を併設した市民活動センターとして、外国の人々が、南区で円滑な日常生活を送れるよう、情報提供や生活相談などを実施するとともに、日本人も外国人も垣根のない環境づくりに努めています。

<市民活動・地域活動の支援>

① まるごとみなみ施設間連携事業(35施設)

南区内の区民利用施設間の情報共有、連携を目的に全体事業を行いました。令和3年度は21施設が参加し、施設紹介動画づくりに取り組みました。2回の研修では外部講師により、自分で動画を作る技術を学びました。動画はみなみラウンジのホームページで配信する他、区役所でも放映しました。

② みんなの「わっ!」フェスタ

令和 3 年度は街の先生による「ミニワークショップ」、活動団体による「パネル展」、多文化共生ボランティアによる「多文化ステージ(動画配信)」、日本語学習支援団体による「日本語スピーチ(動画配信)」を行い、ホームページ特設サイト、ラウンジ内モニター、区役所ギャラリーで公開・配信しました。

③ 市民活動支援講座

市民活動を行っている方 18 名を対象に、イベントプロデューサーの講師による「手に取ってみたくなるチラシ作り講座」を開催しました。お互い自作のチラシを持ち寄り、もっとよくするコツを学ぶことができました。

④ 地域課題講座

9 名が参加し、南区まち歩き、マジック講座を体験し、地域の団体による活動紹介では市民活動についての理解を深めることができました。

⑤ 利用者のつどい

登録市民活動団体の横のつながり作りや交流を目的にオンラインと対面を交えたハイブリッド開催にチャレンジしました。27 団体の参加がありました。

<生涯学習の支援>

①「街の先生」の登録・派遣

地域施設・学校等へ 11 件の派遣依頼を受けました。新規登録者は 6 名、令和 3 年度の登録者数は 131 名でした。

「わっ!」フェスタのミニワークショップで4名の街の先生が体験講座を実施しました。

② 街の先生地域関連事業

- 1. 動画紹介: 街の先生の紹介動画をみなみラウンジのホームページに掲載しました。
- 2. パネル展の開催: 令和 4 年 1 月、区役所ギャラリーで「わっ!」 フェスタミニワークショップのパネル展、令和 4 年 3 月、中村地域ケアプラザとの共催で「街の先生パネル展」を開催しました。



<施設の特徴>

広々とした館内は、明るく開放感にあふれています。自 慢は、冬の晴れた日に西側の各部屋から見える富士山の パノラマです。

また、掲示スペースがたくさんあり、様々な情報を入手することができます。地下鉄・京急・バスなど交通の便もよく、 隣りには市民総合医療センター(市大センター病院)、近く に横浜橋通商店街があります。



〜外国人も日本人も垣根のない 地域づくりを目指します〜

当ラウンジは、市民活動支援センターの機能に加え、国際交流ラウンジ機能も備えています。

窓口では、曜日ごとに外国語スタッフを配置し、多言語での相談に対応しています。区役所や学校への通訳ボランティアの派遣や学校への母語支援ボランティアの紹介もしています。

このほか、令和3年度は、多文化共生推進を目的に次の事業を実施しました。

- ①日本語ボランティア養成講座の開催
- ②外国人無料専門相談の定期開催
 - (法律・在留・教育)
- ③学校を核にした多文化共生事業
- ④外国籍等青少年の交流・支援事業
- ⑤多文化共生コミュニティづくり事業

また、日本語教室や外国につながる子どものための学習支援教室などを運営している市民活動団体とも連携し、活動に協力しています。









(地域振興課)

【区民活動支援・生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりの描くライフデザインが、より豊かなものとなるように、スポーツ、文化、青少年、子 育て、区民活動など、様々な分野での区民の主体的な活動を支援しています。

港南区民活動支援センターでは、そうした各種団体・グループの活動や、これから活動をはじめたい人 をコーディネートします。

【主な事業】

事業名	事業説明	
ア 区民活動・生涯学習支援事業		
○ 区民企画運営講座	地域の課題解決をテーマとして、区民の企画運営による「区民企 画運営講座」で広く区民を募集し、1グループに対して活動支援 を行いました。	
○ 地域デビュー講座	参加者同士の出会いや交流が、地域に一歩踏み出すきっかけとなるよう2件の講座を実施しました。	
○ 港南区施設交流会	区民利用施設スタッフ向けの交流会を開催しました。	
○ 区民活動支援センター展	移転に伴う区民活動支援センターの案内、そして登録団体・グループ及び街のアドバイザーの活動を広く区民に紹介するために、「区民活動支援センター展」を開催しました。	
○ 市民活動・生涯学習情報提供事業	区民活動支援センター通信及び街のアドバイザーリストや街のアドバイザーガイドを発行するとともに、区内の活動団体を紹介したグループガイドを活用して情報提供を行いました。また、地域ポータルサイト「ひまわりタネット」で区内施設の講座・イベントや登録団体情報の発信を行いました。	
○ 区民活動支援センター運営事業	学習相談・市民活動に必要な情報提供・機材貸出しなどを実施することにより、区民の自主的な活動・学習を側面で支援しました。	
○ 読書活動推進事業	「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」の実現を目指し、港南図書館と協働し、読書に親しむ事業を実施しました。	
イ 青少年みらい応援事業		
○ 子どものゆめ応援講演会	子どもたちが夢を持ち、将来について考えるきっかけとなるよう講 演会をオンラインで実施しました。	
○ 地域で育て子どもたち事業補助金	地域が実施する「子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長するための事業」に補助金を交付しました。	
○ 学校・家庭・地域連携事業	学校・家庭・地域の連携づくりとなる中学校区ごとの取組に対し、 支援を行いました。	
○ こうなん子どもゆめワールド	子どもたちの自主性や創造性を育むきっかけを提供するとともに、 イベントを通じて幅広い世代の交流の場を提供しました。	
○ 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を通じて青少年の健全育成に取り組みました。	
ウ 地域スポーツ振興事業		
○ スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を通じてスポーツの振興を図りました。	
○ スポーツ協会への事業補助	区内のスポーツ団体が集まるスポーツ協会の活動を支援し、区民の 体育振興を図りました。	
工 地域文化推進事業		
○ 港南区文化活動推進事業	こうなん文化交流協会への事業補助や、文化活動団体への後援等を 通じて、区民の文化振興や文化交流を図りました。	

港南区区民企画運営講座

区民企画運営講座は、地域の課題解決につながる区民の主体的な学習活動を支援するものです。講座の運営を通じて、区民に地域課題解決のための知識と方法等を学習する機会を提供すると同時に、グループの皆さんにも講座の運営方法等を学習していただくことを目的としています。

講座実施のほかに運営委員同士の学びや ネットワークづくりに役立てるために、運 営委員交流会を2回実施しました。



【交流会の様子】

地域デビュー講座

~親子で知るふるさと港南の歴史~

「知ることはすきになること」を目指し、講演会をスタートとし、その後6回の街歩きの講座を実施しました。「歴史の道から ふるさと新発見」をテーマに、港南区の主要な道を歩きながら、港南区の特徴を知ることにつながりました。

小学生の参加もあり、講座 後に家族で港南区の道を歩く 姿も見られ、今後の広がりを 感じることができました。

~ボランティアにチャレンジ~

「きいてみよう!やってみよう!行ってみよう!踏み出そう!」の4つのステップの連続講座を実施しました。受講の経験が子育て拠点でのボランティアにつながるという成果を見ることができました。

第52回 港南区少年野球大会

コロナ禍の中でも感染対策を行い、開催することができました。港南区在住の小学生で編成された 17 チーム・350 名程度が参加し、トーナメント戦を行いました。

日時:令和3年7月18日~8月1日



【優勝 港南ユナイテッド】



【準優勝 港南 INFINITY】

こうなん子どもゆめワールド2021

オンラインで子どもたちのステージ発表の様子等をライブ配信しました。

コロナ禍で行われた「こうなん子どもゆめワールド 2021」では、 子どもたちによるダンスや演奏などのステージ発表が港南公会堂 にて無観客で行われ、発表の様子をオンラインでライブ配信しました。

また、港南ふれあい公園では、青少年指導員による子ども向けの ゲームイベント「港南ひまわりンピック」が行われ、多くの子ども たちが参加してくれました。ふれあい公園の様子を中継してライブ 配信し、両会場とも大いに盛り上がりました。

日時: 令和3年11月6日 10時~16時



【子どもたちによるダンスステージ

■ 港南区民活動支援センター

住	所	港南区港南中央通10-1
土	וליז	港南公会堂棟1階
交	通	市営地下鉄「港南中央駅」、
	坦	バス停「港南区総合庁舎前」下車すぐ
電	話	841 – 9361
F,	A X	841 – 9362
利用	時間	火~日 午前9:00~午後5:00
休負	馆 日	毎週月曜日・年末年始
Н Р		http://kounanshien.com



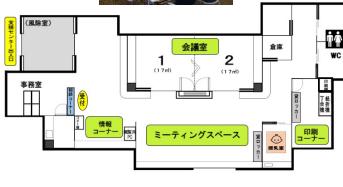
アクセス抜群! 是非お立ち寄り ください。

(風險室)



こうなんタネットちゃん







■ 港南区民活動支援センターの紹介

港南区民活動支援センターは令和3年3月末に移転し、1年が経ちました。 施設同士の連携を深めるため施設長・職員を対象とした「港南区区民利用施設等ネットワーク会

議」、自治会・町内会の人材育成や地域課題の解決を目的とした「地域活動スタートアップ講座」 を新たに実施しました。今後もネットワークづくりや地域人材の発掘・育成に力を注いでいきます。

🌑 活動の相談やコーディネート

相談内容に応じて、活動や学習に必要な情報・機材の提供、講師・施設などの紹介やコーディネートをしています。また、さまざまな知識や技術を地域活動に役立てたい人の「街のアドバイザー」への登録、依頼も随時受付しています。

🌑 交流の場やつながりづくり

イベントなどを通して、グループ・団体同士の情報交換や交流の場を提供しています。 さらにネットワーク機能を活かし区民利用施設と課題や情報を共有・連携しています。

🦫 情報の拠点

館内の情報コーナーには、地域の情報、講座・イベントのちらしを配架しています。 また、活動団体・街のアドバイザーを紹介する冊子(こうなんグループガイド・街のアドバイザー ガイド)や情報誌(支援センター通信・街のアドバイザーリスト)を発行しています。

● 場所や機材の提供 ※会議室、機材の使用は事前のセンター利用登録が必要です。 情報の閲覧や作業に使えるミーティングスペース、打ち合わせや体験講座などに利用できる2つ の会議室があります。資料やちらしを作るための印刷機(有料)・丁合機・紙折り機、その他プロ ジェクターやパラバルーンなどの貸出機材もあります。

令和3年度

● 港南区民活動支援センター実施事業

■ 情報の発信・提供

こうなんグループガイド発行(8月)

2年度毎の更新で再編集し、新たな「こうなんグループガイド」を発行しました。 港南区内で活動するさまざまな分野のグループ・団体(164 団体)を紹介しています。

センター通信発行(年4回)

講座やイベント案内、センターからのお知らせを掲載しています。新たに区内の区民利用施設を紹介するシリーズを始めました。

■ 支援事業

🌭 街のアドバイザー1DAY 体験(6回)

- ①「たのしいお菓子のおはなし」(7/14) 参加者 10 名
- ②「おりがみでつくろう!あそぼう!」(8/4) 参加者10名
- ③「おとなのためのおはなし会| in 桜道コミュニティハウス (1/19) 参加者 15 名 (会場 9 名/Zoom 6 名)
- ④「今日から始める生前整理超入門」(3/3)参加者11名
- ⑤「かんたん椅子ヨガ」in 日野南コミュニティハウス (3/25) 参加者 15 名
- ⑥「手作り石けん教室」(3/26) 参加者 10 名

新規の「街のアドバイザー」に講師を依頼し、今後の活動につなげる場を提供しています。 また、地域の人々が気軽に新しい活動を始めるきっかけにもなっています。

🌘 Let's プロデュース企画

「とびだすクリスマスカードをつくろう!」(12/12)参加者 14名 街のアドバイザーが提案した企画を、実現までセンターがサポートしています。

▲ 活動サポート講座

「はじめてみよう! Zoom 体験会」(11/17・14 全 2 回)参加者 10 名 コロナ禍における新しいコミュニケーションツールを学ぶ機会になりました。

🌘 地域活動スタートアップ講座

「地域住民が気軽に集える居場所づくり」in 丸山台自治会館(3/8)参加者 35 名 自治会・町内会の課題や希望に沿った出前講座を展開しています。 今回は「居場所づくり」をテーマに自治会館の新たな利用について考えました。



■ 交流事業

- ▶ 港南区区民利用施設等ネットワーク会議(12/15)参加者 44 名/29 施設区内利用施設の施設長や職員を集め、施設同士の連携を深めるために開催。
- 応設交流会「今日から始める SDGs 講座」(2/25)参加者 42 名(会場 25 名/Zoom17 名)/27 施設区内利用施設の職員やスタッフを対象に情報共有・研修の場として実施。今年は SDGs の 17のゴールを達成するために、各施設や個人としてできることを考えました。



(地域振興課 生涯学習支援係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自発的な学習活動や仲間づくりを支援し、区民が積極的に地域活動に参加できる環境づくりを 推進します。そして、区民が地域活動を通じて感じた課題を行政と協力しながら解決していける地域コ ミュニティの形成を目指します。

【生涯学習支援係の主な事業】

事業名	事業説明
ア ほどがや☆元気村事業	青少年を地域で育むとともに地域の担い手に活躍していただくきっかけとして、保土 ケ谷区内の貴重な水田を活用した小学生向け稲作体験を実行委員(ボランティア)が 主体となって行いました。
イ はぐくみプロジェクト事業	区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、 協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施 設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキ ルアップと情報共有を図る研修を開催しました。
ウ 市民活動支援事業	市民活動・生涯学習活動の拠点である「ほどがや市民活動センター」から、活動の支援となる事業を発信しました。
○ ほどがや市民活動センター 自主企画事業	市民活動センターとして、区民の地域デビューや地域の市民活動・生涯学習支援に つながる事業(研修会・講座・イベント等)をオンライン等を活用しながら実施 し、新たな地域の担い手の育成を図りました。
○ 街の学習応援隊事業	様々な分野の知識や経験、技能・技術をボランティア活動に活かしたいと希望している個人・団体(街の学習応援隊登録者)を、区内の団体や施設に紹介し、地域の活動の支援につなげ、応援隊登録者自身が自らの活動を地域に発信し、活発に活動していくための支援を規模を縮小しながら行いました。
○ ほどがや生涯学習フォーラム	生涯学習グループやまちづくり活動実施団体が実行委員会を立ち上げ、活動団体についての展示会を計画していましたが、中止となりました。昨年と同様に、過去の参加者から広く寄稿文等で思い出を募集し、記録集を作成しました。
エ 地域・まちづくり活動支援事業	地域課題解決に取り組む各種団体を支援するとともに、団体同士の連携や個別の活動 の地域との連携を目指しました。
○ 保土ケ谷区市民活動はぐくみ 補助金	誰もが安心して心豊かに暮らせる住みよい地域づくりを行う市民活動団体の「事業」 (公共の福祉向上や、市民の利益増進につながり、公益上の必要性が認められる事業)、 4団体4事業に対し、事業費を補助しました。
○ ほどガヤ会議	自粛によるコミュニティの分断や、先が読めないストレス等を受けている中で、これ から地域が元気を取り戻すために必要な論点に焦点を充てた講義及びディスカッショ ンの様子を映した動画を作成しました。
才一青少年健全育成事業	青少年の健全育成を図るため、青少年を対象にした事業を実施しました。
○ 青少年指導員事業	青少年の健全育成を図るため青少年指導員の活動を支援しました。
○ 青少年健全育成促進事業	例年、参加者の交流や子どもの創造性を育てることを目的とした事業を実施しますが、昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため行事を中止しました。毎年発行している青少年指導員だよりでは、各地区の魅力を再発見する特集記事を作成しました。
○ ほどがやバンドバトル事業	青少年指導員と青少年のスタッフが協力したバンド演奏会を無観客で開催しました。
○ がやっこ育成事業	「がやっこ(元気な保土ケ谷の子どもたち)」の健全育成に向け、横浜国立大学と連携し、子ども向け体験学習・講座などを実施しました。
カスポーツの街ほどがや推進事業	区内のスポーツ振興や普及、健康増進のためのスポーツ大会を実施しました。
○ 少年少女球技大会	スポーツを通じた身体の発育発達を促進するとともに、友情や協調性、責任感を身に付けることで少年少女の健全な育成を図ることを目指しました。 (中止)
○ グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフを通して、参加者の健康維持や増進、世代や障害をこえた参加者相 互の交流を図ることを目的に開催を目指しました。 (中止)
○ かるがもファミリーマラソン 大会	地域におけるスポーツの普及・振興と青少年の健全育成、参加者の健康増進や相互交 流を図ることを目指しました。 (中止)
○ スポーツ推進委員事業	地域に根差したスポーツ振興・普及活動が適切に行えるよう、スポーツ推進委員の力量向上や人的ネットワークの形成を図ることを目的に開催しました。
○ スポーツ協会事業	区内のスポーツ団体により組織された区スポーツ協会が行う区民体育の普及や発展、 区民相互の交流事業を支援しました。
○ 区内スポーツ団体連携強化 事業	スポーツ協会事務局の自主運営体制強化のための支援を行いました。
○ プロスポーツ推進事業	区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携体制を強化し、横浜FCへの区 民の愛着を一層育み、区の魅力をさらに高めました。
キ 保土ケ谷区芸術の街事業	保土ケ谷区内の文化活動による地域振興をめざして事業を展開しました。
〇 保土ケ谷区民文化祭	区民に身近な場での芸術鑑賞の機会を提供し、また日ごろの活動の成果を発表する場として「芸能祭」「写真展」「演奏会」「華道会・茶会」「作品展」等を例年開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「作品展」「芸能祭」「華道会」「合唱祭」「ほどがやDancePerformance」のみ実施しました。
○ 区民ギャラリー	公募による区内在住・在勤・在学のアマチュア作品を年間を通じて展示しました。
○ 区民オーケストラ	地域で活躍している区民オーケストラと協働でコンサート開催を目指しました。 (中止)
○ 区の歌普及事業	区の歌を普及するため、区内イベントに向けて練習に取り組みました。 (保土ケ谷合 唱祭等)
ク国際文化理解事業	国際文化や多文化共生の理解を深めるための文化紹介事業を実施しました。
○ 小学校における国際文化理解 授業	ア理解授業を一部の学校で実施しました。
○ ブルガリア関連イベント	区内主要イベントでブルガリア民俗音楽の出演やブルガリアブース出展を行いました。

《令和3年度 事業紹介》

ほどがや☆元気村事業

区内の貴重な水田を活用し、地域のボランティアの方々を中心に小学生向け農業体験を 実施しました。事業を通じて実行委員・保護者・児童の交流が生まれました。 6月田植え、9月稲刈り、12月餅つき ほか、野菜作りなど(年間 11 回)



青少年健全育成事業

地域における青少年健全育成を目的として、青少年指導員事業などを実施しました。

- ・ほどがやバンドバトル(11月)
- ・ 青少年指導員だより「ほどがやの風」発行(3月)



スポーツの街ほどがや推進事業

区内におけるスポーツの振興や普及、青少年の健全育成、参加者の健康増進と相互交流を目的に、スポーツ大会の実施を目指しました。

また、地域におけるスポーツ活動の担い手である スポーツ推進委員の研修会を実施しました。

- 少年少女球技大会(中止)
- ・グラウンドゴルフ決勝大会(中止)
- かるがもファミリーマラソン大会(中止) など

Jリーグに加盟している横浜 FC の練習場が区内にあることから、保土ケ谷区と横浜 FC はホームタウン活動及び地域活性化に資する様々な事業を連携して実施しています。

- ・保土ケ谷区民 DAY (中止)
- ほどがやクイズラリー(商店街連携事業)
- ランドセルカバー作成、配付(横浜 FC 仕様)

国際文化理解事業

保土ケ谷区とブルガリア共和国ソフィア市が締結しているパートナー都市協定に対する認知度向上と、多文化共生についての興味・関心・意識を高めることを目的とし、区民向けのイベントや小学校での国際文化理解授業を実施しました。

- 区内イベントでのブルガリア音楽団体出演(12月、3月)
- ブルガリア小学校理解授業(2~3月)





はぐくみプロジェクト事業

年間を通じた体系的な人材育成プログラムを実施し、「協働の担い手」となる主体性のある区民を育みました。

- ・はぐくみ塾(全5回) 講座を企画・運営する力を養成し、主体性を持って継続的に活動できる区民を育みました。
- ・区民企画型講座(全4講座) はぐくみ塾修了生が区民対象の連続講座を企画・ 運営しました。
- ・パワーアップ講座チームビルディングや、ファシリテーショングラフィックの技法を学びました。
- ・生涯学習講座(全3回) 地域で活躍するため、仲間同士での学びを行いま した。
- ・地域コーディネート研修 施設職員を対象に、地域の課題を解決するために コーディネートの理解を深める研修を開催しまし た。

がやっこ育成事業

「がやっこ(元気な保土ケ谷の子どもたち)」の健全育成を目的に、横浜国立大学と連携して3つの事業を実施しました。

- ・がやっこ先生(教員志望の学生を区内小中学校に派遣):4名延べ54回派遣
- ・がやっこ科学教室(子ども向け科学教室):4講座10回(一部オンライン実施)
- ・がやっこ探検隊(子ども向け体験学習):6回(一部オンライン実施)

ほどガヤ会議(動画撮影)

コロナ禍により停滞していた地域活動について、再開のきざしが見えてきたいま地域が再び元気になれるように、また、みなさんと一緒に地域のこれからのことを考えていけるように「これから地域が元気を取り戻すために必要な論点」に 焦点を充てたパネルディスカッションの様子を録画、公開しました。





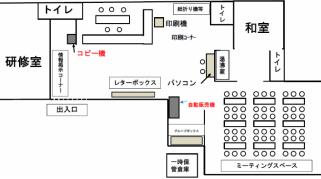
■ほどがや市民活動センター(愛称:アワーズ)

ほどがや市民活動センター(アワーズ)は、市民活動・生涯学習が地域に根付き、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現するための施設です。学習相談や情報の受発信、場の提供、各種講座や研修など活動拠点としての機能を通し市民活動・生涯学習を支援します。また、活動団体相互や区民、行政、企業、教育機関など各セクター間をつなぎ、交流、協働、活動の自立化を促進します。

住 所	保土ケ谷区星川1-2-1
1± 1/1	(保土ケ谷図書館並び)
交 通	相鉄線星川駅 徒歩4分
電話	334 – 6306
FAX	339 — 5120
H P	http://hodogaya-ours.jp/
利用吐服	9:00~21:00
利用時間	(日・祝は17:00まで)
休館日	12/29~1/3・第3月曜日
	(祝日の場合は翌平日)







地域で何かを始めようとする個人・団体がその一歩をふみ出せるように、活動の土壌を耕し、 種をまき、水をやり、やがて自立していくよう風を送ります。

【土を耕す】

安心して来られる場づくり、ニーズにあう鮮度の高い情報収集と発信、相談対応・必要な場所や 設備の貸出し、活動や団体運営に役立つ情報提供

→広報、場の提供・登録業務、オンライン化支援事業、街の学習応援隊事業、相談業務、ネットワークづくり

【種をまく】

気軽に参加できる活動や講座を通して、地域の魅力や仲間と出会い、興味関心をはぐくむ場づくり・講座等の参加を通じた交流、団体PRの機会提供

→みんなのひろば、地域デビュー講座、学生チーム (インターンシップ)、地域デザインセミナー

【水をやる】

自ら目的意識をもって企画から運営に関わることで、主体性、自立性をはぐくむ機会づくり・各メンバーが団体や活動を自分事に考え展開していけるような場づくりや伴走支援

→ほどがやサンタプロジェクト、ほどガヤ会議、ほどガヤ防災塾

【風を送る】

必要に合わせた相談対応や活動者、団体の紹介等・団体の成長に合わせた相談対応や、マネジメント系講座の展開、団体間の交流の機会づくり

→はぐくみ塾・区民企画型講座、地域コーディネート研修



■令和3年度事業目標

これからの地域を担う若者が地域に愛着と自信をもち、活動参画して成長できるように、彼らを受入れ見守りながら育て、地域の活動を循環させていくための地域の大人たちとの関係づくりを始める。

■実施事業く令和3年度事業 抜粋>

① 広報

ホームページ及び SNS の管理、運用

デザインをリニューアルし、スマホにも対応した新しいホームページを4月より運用。 7月より Facebook を開設し、若い世代のリーチが増えるよう試みた。

メルマガ配信

管理配信画面のリニューアルを行った。(月1回・配信先640件)





情報誌「OURS」

情報誌「OURS」の定期発行

カジュアルな紙面作りで、活動や講座への参加のハードルが低くなるように工夫した。 (配架先 78 か所、発行部数 2,700 部)

② オンライン化支援事業

今後も広がると考えられるオンライン上での活動に、あらゆる人が参加できるよう、設備環境を整えると共に、技術面や活用術等を伝える機会をつくることで、地域のオンライン活動を支援する体制を整えることに貢献した。







オンライン活動はじめ隊!

③ 施設間の連携を進める

コロナ禍でも活動連携の輪が広がるように、「ほどがやサンタプロジェクト」では、近隣 施設や大学生、若手社会人が企画を行いクリスマス会等のイベントを実施した。

他にも「地域コーディネート研修」や「ほどガヤ会議(動画作成)」等の事業でも、市内や区内の施設等と連携した事業展開を試みた。



ほどがやサンタプロジェクト



地域コーディネート研修



ほどガヤ会議 (オンラインディスカッション)

● 旭区

(地域振興課 生涯学習支援係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

近年の少子・高齢化や余暇時間の増加、価値観の多様化など、様々な社会環境の変化により、人々は心の豊かさを求めるようになり、多くの区民が学習や活動の機会を求めるようになりました。

そこで、区民の生涯学習等に対するニーズに応えるため、学習機会や情報の提供、学習グループ相互の交流などの事業を推進するとともに、区民の自主的な学習や活動を支援します。

【生涯学習支援係の主な事業】

	事業名	事業説明
ア	市民活動支援センター活動事業	
	○ 市民活動支援センター事業	市民活動・生涯学習に係る相談や機材の貸出し、ミーティングコーナー の提供、新しい生活様式に対応するための技術支援を行いました。
	○ 生涯学習支援バンク事業	生涯学習支援バンク登録者(生涯学習アドバイザー)に対して、講師としての活動の場を提供し、区民の生涯学習を支援しました。
イ	青少年健全育成事業	
	○ こども写生大会	自然とのふれあいと、文化的実践活動を通じて創造性を養います。(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)
	〇 親子野外自然体験活動	自然の中で様々な体験や人々との交流を通じて、思いやり、協調性、自然を 大切にする心を育みました。 (参加人数を減らし、感染対策の上実施)
	○ 青少年を考えるつどい	青少年の健全育成に関わるテーマで、講演会・座談会等を通じて地域ぐるみで青少年問題を考えます。
	○ 大なわとび大会	異年齢の子どもたちや親が一緒になって一つのことに集中し、我慢したり、 励ましあったりすることで、チームワークの大事さや、思いやりの心を育み ます。 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)
	○ 青少年指導員事業	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員連絡協議会を事務局として支援し、指導員対象の研修を行いました。(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、資料を全員に配布しました。)
	○ こども未来発見事業	「サイエンス教室」「実験教室」を企画しました。 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)
	〇 旭区学校音楽祭	子どもたちに同世代の音楽活動を見て・聞いて・感じてもらうことで健 やかな成長を目指すとともに、地域の方々に小中学校の音楽活動を鑑賞 する場を提供することを目的とした音楽祭を開催しました。新型コロナ ウイルス感染症の拡大防止のため、事前撮影、事後放映としました。
ウ スポーツ振興事業		
	○ 旭区民スポーツ祭	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止としました。
	○ 旭ズーラシア駅伝	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止としました。
	○ 旭区体育協会支援事業	各種区民大会や、区内のスポーツ振興事業を実施する旭区スポーツ協会に 対して補助を行いました。
	○ スポーツ推進委員事業	地域及び横浜市のスポーツレクリエーション振興を図ることを目的とする スポーツ推進委員連絡協議会を事務局として支援しました。
エ	文化振興事業	
	〇 文化芸術活動支援事業	公募、審査会を経たイベント(旭区書道展、旭区俳句会作品展、Dance street Festival.vol2、遊音祭等)に対して補助・広報支援等を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止によりやむなく中止となったイベントに対しても、相談対応等を行い、文化活動への支援を継続しました。
	○ 横浜旭ジャズまつり事業	横浜旭ジャズまつり実行委員会への補助、企画・運営支援等を行いました。 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントは1年間延期)
	○ 旭区文化振興会事業	旭区民文化祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止と しました。
オ	旭区の「農」の魅力PR事業	旭区の豊かな「農」及び地産地消をPRするため、農業体験、農産物直売 イベント等を実施しました。
カ	・「あさひくん」でつながる旭区 の元気推進事業	旭区制40周年を記念して誕生した、旭区のマスコットキャラクター「あさひくん」を活用して旭区と区民のつながりを深める予定でしたが、着ぐるみ貸出制限など感染対策を講じた上で旭区への愛着度向上を図りました。

ことも写生大会

こども写生大会は、5歳から12歳までの子どもたちを対象に、毎年よこはま動物園ズーラシアで開催しています。自然や動物とのふれあいを通して、創造性を養います。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。



旭区民スポーツ祭の開会

毎年6月には、旭区民スポーツ祭の開会式が行われます。

6月から11月にかけ、19連合地区対抗で10種目の競技を競います。

子どもから高齢者まで参加し、日頃の練習成果を発表する場として、熱気あふれるイベントとなっています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

あさひの朝市

毎月第4木曜日(変則あり)の9時30分~12時30分に旭区役所1階で、新鮮な地場野菜を 販売しています。令和3年度は、区民利用施設での出張販売を2回行いました。

横浜旭ジャズまつり



こども自然公園の野球場を会場とした野外コンサート「横浜旭ジャズまつり」は、自然豊かな屋外ステージで、個性豊かなアマチュアステージからジャズ界の巨匠が登場するプロステージまで、本物のジャズの音とジャズの原点に触れられる、誰もが楽しめるイベントです。

令和 3 年度で 31 回目の開催となる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、1 年間延期となりました。

旭ふれあい収穫祭~収穫体験~・夏

旭区の農について広くPRするとともに、地産地消について理解を深める機会として、小さなお子様でも収穫を楽しむことができるイベントです。「夏」と「冬」と2回、実施予定でしたが、荒天と新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

親子野外自然体験活動



親子野外自然体験活動は、こども自然公園で親子を対象にウォークラリー、野外炊事、ゲームを行います。自然の中で、様々な体験や人々との交流を通じて、思いやり、協調性、自然を大切にする心を育みます。令和3年度は195組662名の応募がありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため例年より縮小し、12組36名の方にご参加いただきました。

旭区学校音楽祭

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、旭公会堂で事前撮影を行い、後日テレビや YouTubeで放映・配信しました。活動発表の場が失われる中、舞台で発表する喜びを感じな がら、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

旭スーラシア駅伝(旭区駅伝競走大会)



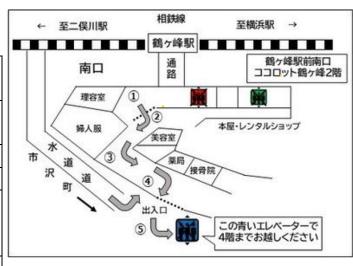
駅伝競走大会は年に1回、 $1\sim2$ 月の土曜日に開催しています。ズーラシア内部の一般園路と管理用道路を使用した特設コースを周回、5区間でタスキをつなぎ、競います。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止で中止となりました。

大なわとび大会

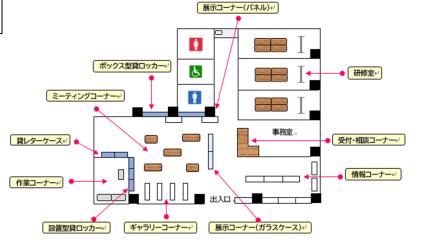
区内19連合地区での地区大会を経て、3部門の各代表チームによる区大会を開催します。 親子や地域のふれあいの場を提供し、異年齢の人々が一緒になってひとつのことに集中 することで、チームワークの大切さ、思いやりの心を育みます。令和3年度は新型コロナウ イルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

■旭区市民活動支援センター 「みなくる」

所 在 地	旭区鶴ケ峰2-82-1	
BI II IB	ココロット鶴ヶ峰4階	
交 通	相鉄線鶴ヶ峰駅	
文 迪	徒歩約2分	
電話	382-1000	
FAX	382-1005	
	月水金 9:00~17:00	
利用時間	火木土 9:00~20:30	
	日・祭日10:00~16:30	
休館日	毎月第3水曜日・年末年	
	始•施設点検日	







■情報の提供、相談・コーディネート

「何かを始めたい」「活動を広げたい」という皆さんに、情報の提供・相談・アドバイス等の支援を行っています。

活動団体を紹介する『利用登録団体名簿』(毎年発行)のほか、会員を募集しているサークルを掲載した『旭区サークルガイド』(隔年発行)を発行しています。また、『みなくるだより』(年4回発行)で「みなくる」の情報をお知らせしています。

■活動場所の提供

団体の打合せ・会議に利用できます。(★は団体登録が必要)

★研修室 ★貸ロッカー ★貸レターケース ミーティングコーナー 情報コーナー 作業コーナー (印刷機・紙折機・裁断機があります。)

■生涯学習支援バンク登録者(生涯学習アドバイザー)の登録・紹介

講師を探しているサークルや団体に生涯学習支援バンク登録者(生涯学習アドバイザー)をご紹介し、地域の学びにその知識や技術を活かしていただいています。(紹介対象は、グループ・団体のみ)

■機材の貸出し

活動に必要な機材を貸し出します。(無料・事前に登録が必要です。) プロジェクター・スクリーン・CD ラジカセ・16mm映写機・アンプ (ワイヤレスマイク付)・ ピンマイク・有線マイク・一時保育用道具 (マット・おもちゃ)・着ぐるみ等

旭区市民活動支援センター みなくる









夏に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したため、予定した事業が延期になりましたが、後半に は感染防止対策を行いつつ、3 講座を開催しました。

◆シニア向けインターネット活用講座

7.8月

新型コロナウイルス感染症の拡大により市民生活のデジタル化が大きく進展する中、IT インフラ、インターネッ トなどの基本知識の習得から活用ができる講座を企画しました。

- 第1回基礎から学ぼうインターネット~インターネット、Webって何?~
- 第2回インターネットでコミュニケーション~離れていてもつながれる~
- 第3回 Zoom を使いこなそう~いろいろな集まりを主催できるようになろう~

各回ともたくさんの応募があり、第1回では座学で基本を学び、

第2回、第3回ではZoomの実践を行いました。

参加者は積極的に質問をしながら熱心に取り組まれていました。 「今まで Zoom と聞いただけで私にはむりと思ってしまっていましたが これから参加できそうです。参加して本当に良かったです。」といった 感想をいただきました。



◆区民利用施設職員研修会(3回講座)

7・11月

旭区内の区民利用施設を対象に職員のスキルアップ向上と交流・連携を深める一歩を踏み出すきっかけづく りとして研修会を開催しました。第1回目は(株)アトリエデコ代表の星野真美氏から広報紙づくりのコツを学 び、第2回目は(一社)日本アンガーマネジメント協会ファシリテーターの石亀美夜子氏から来館者対応に大 切なアンガーマネジメントと対人コミュニケーションスキルについて学びました。第3回は市民協働推進セン ターチーフ協働コーディネーター吉原明香氏を招き、オンライン(Zoom)で施設連携についてのメリットとは何か を学び、施設間での今後の展望などの意見交換を行いました。

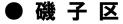
◆旭区生涯学習講座 「40 歳からのゆとりあるクオリティライフ」(4回講座) 2・3月

40 代~50 代の女性の興味を持つ課題をテーマにした連続講座で、ゆとりや優雅さを感じるライフスタイルを 目指し、今後の魅力アップを意識しました。参加者の応募もたくさんありました。新型コロナウイルス感染症の 拡大防止のため、開催方法を変更しての開催となりました。1回目の「アンガーマネジメント講座」は中止し、 2回目の「漢方・薬膳講座」は動画配信(YouTube)し、各自で受講いただき 120 回を超える視聴があ りました。後半の2回は Zoom 開催となり、オンラインに慣れていない参加者が多かったため、一方的な講義 にならないよう意識しながら行いました。3回目の「パーソナルカラー講座」では講師から参加者に質問を投げ

かけて身振り手振りを入れての意思疎通を図ったり、セルフチェックシート を使って自分の色素をチェックしました。4回目の「これからのライフスタ イルを考える」では、テーマの体力・筋力づくりに合わせ、簡単なストレッ チを行い、皆さんに一言ずつ感想を話していただきました。「久しぶりに 体を動かした。今日をきっかけに、今後も続けていきたい。」といった内容 が多くありました。



「みなくる」では、大人の生涯学習講座や、地域の活性化につながる講座、人材育成のための講座を 今後も開催していきます。



(地域振興課)

【地域を活性化する生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自主的な学習活動等を通じ、地域活動等がより活性化するための環境づくりを進めます。また、区民に対し多様な学びを通じた地域活動の機会を提供して、学んだ知識・技能・経験を発表する場や、個人・地域活動団体が交流できる場をつくっていきます。

【活動支援係の主な事業】

事業名	事業説明
ア「区民のちから」発揮・活用事業	
	●地域デビュー講座 活動参加のきっかけづくりとして、親しみやすいテーマを設け、事後グルー プ育成を図る講座を開催しました。
○運営支援事業 (区民活動支援センター実施事 業)	●スキルアップ講座 すでに活動している団体を対象に、広報・人材育成など、団体運営に役立つ テーマの講座を開催しました。 ●スペース・機材の提供 活動団体が打合せ等に利用できるスペースや、チラシ・資料の作成等の作業 を支援する機材を提供しました。
○交流促進事業 (区民活動支援センター実施事 業)	●交流会 さまざまな分野のボランティア講師や活動団体、区民利用施設が会し、情報 交換・交流を行う「交流会」を開催しました。
	●区民利用施設との連携促進 団体が活動の場として利用する地区センター・コミュニティハウス等の区民 利用施設との連携促進のため、連絡会を実施しました。
〇ボランティア応援隊事業 (区民活動支援センター実施事 業)	区民から公募した「ボランティア応援隊」が、地域活動活性化のため、支援センターと協力し、次の活動を行いました。 ●団体訪問・ヒアリング 団体の活動現場を訪問し、活動上の課題や悩みについてヒアリングを行いました。その結果は、情報紙「いそつな」や支援センターホームページで団体紹介記事として掲載しました。 ●地域デビュー講座の企画・運営と、参加者の事後フォロー団体訪問・ヒアリングでの体験も活かし、地域デビュー講座を企画・運営しました。また、講座参加者を実際の活動参加につなげるため、事後フォローを行いました。
イ 国際交流推進事業	●庁舎内各窓口における環境整備 テレビ電話通訳タブレットを1階の広報相談係、5階のこども家庭支援課・ 生活支援課、6階の地域振興課の窓口に設置。他にも対話型翻訳機(ワールドスピーク)を2階戸籍課窓口、6階地域振興課窓口に導入したほか、区役所各課の窓口にAI通訳機(ポケトーク)を導入。 ●日本語教室支援事業 外国人へ日本語学習ボランティアを行っている日本語教室支援の為「ブラッシュアップ講座」「新規ボランティア養成講座(全2回を予定していましたが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため2回目を中止にしました)」を実施しました。

ウ	ウ 地域文化活性化事業		
	○区民文化活動への支援	●磯子区民ホールギャラリーの運営 区庁舎1階「磯子区民ホールギャラリー」において、区内グループによる作品 展示を行いました。	
	○地域文化振興事業への補助	磯子区文化協会の各部が、いそご芸術文化祭として幅広く区民対象に実施する事業に対し、補助を行いました。	
	○青少年等文化事業	文化にあふれたまちを目指し、青少年を対象とした文化イベント「ISOGOダンスまつり」を開催しました。	
エ	区民スポーツ振興		
	〇スポーツ推進委員支援事業	市から委嘱されたスポーツ推進委員で組織する磯子区スポーツ推進委員連絡協議会の活動を支援しました。	
	○区民スポーツ振興事業	区内スポーツ振興団体が開催する大会や初心者向け教室等の事業に対し、補助を行いました。	
才	青少年育成推進		
	○青少年育成活動助成事業	青少年の健全育成を目的とし、体験活動の場又は学習活動の場を提供する事業に対して、支援を行いました。	
	○学校・家庭・地域連携支援事業	区内で青少年育成協議会が行うパトロールなどの青少年の問題行動防止活動 に対して、補助を行いました。 また、青少年の健全育成のための取組(学習会、講演会)に対して、補助を 行いました。	
	○青少年指導員協議会事業	青少年の自主的活動とその育成組織活動等、青少年の健全育成のために青少 年指導員協議会が区内で行う活動に対して、補助を行いました。	
	○青少年の地域活動拠点づくり事 業	中高生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営ができる場の運営を支援しました。	
カ	協働の「地域づくり大学校」事 業	先進的な事例の現地見学やワークショップでの学び合いを通して、次代の地域活動を担う区民と区職員、区社会福祉協議会職員などが「協働による地域づくり」を学び、地域の課題解決や魅力づくりを進める力を養うことを目的として「いそご地域づくり塾」を実施しました。	

『磯子読書ノート』の作成

◇目的

磯子区は「磯子区読書活動推進目標」に 基づき、読書に親しみやすい環境づくりや、 子どもから大人まで幅広い層に合わせた読 書活動を推進しています。

この取り組みの一環として区民が読書の 感動を残し、読書をもっと楽しめるように と「磯子読書ノート」を作成しました。

◇磯子読書ノートについて

ノートは持ち運びやすさを考えB6サイズにし、本を読んだ月日やタイトル・作者名・感想などを12冊分記録することができます。

また、後半には広報よこはま磯子区版に掲載した司書の選んだおすすめの本も掲載し、令和3年1月から12月まで、時季に合わせて選んだ幅広いジャンルの12冊を紹介しています。

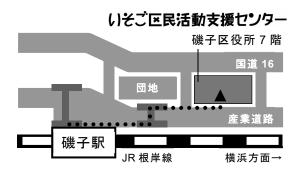
現在、地域振興課窓口・図書館窓口で配布をしています。



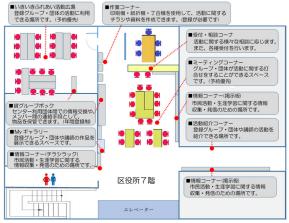


■いそご区民活動支援センター

住	所	磯子区磯子3-5-1
壮	ולז	(磯子区役所7階)
交	通	JR 磯子駅 徒歩5分
電	話	754-2390
FΑ	X	759-4116
利用	時間	10:00~17:00
休 館	日	祝日・年末年始







いそご区民活動支援センターの令和3年度

支援センターの主な業務内容

支援センターでは、区内で活動している方&これから活動を始める方を支援しています。

- 市民活動・生涯学習等に関する相談
- 地域ボランティア講師、グループ・団体登録、情報提供
- 機材の貸出し(印刷機、プロジェクター、マイクなど)
- スペースの貸出し
- 講座、交流会の開催 等 詳細はこちら→

URL :https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/

kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kuminkatsudo/

情報誌「いそつな」

支援センターの活動内容や、 グループ・団体の活動情報、区 内各施設のイベント情報など を掲載した情報紙『いそつな』

を毎月 発行して います。





交流会

交流会~YouTube 配信での活動紹介を考える~

今回の交流会は、厳しい状況の中でしたが2年ぶりにお集まりいただき開催することが出来ました。お1人ずつの自己紹介の後、いそご地域活動フォーラム 2021 の動画を皆さんでご覧いただきました。体験コーナー・ミニステージの動画6作品の感想やご自分の活動だったらどんな動画になるかを意見交換しました。

「チラシよりもはるかに説得力がある」「活動紹介としては とても良い」とご意見いただきました。また、著作権の問題や 編集についての課題もみつかりました。これからさらにご意見を 伺いながら動画配信による活動紹介をしていきたいと思っています。

顔が見える! つながる! 広がる!!

()そご区民活動支援センタ-

担い手育成講座

地域での活動の担い手を発掘・育成するため、地域デビュー講座、スキルアップ講座、 地域づくり塾を実施しました。

<u>地域デビュー講座</u>「みんなで作って歩こう 磯子さんぽコース」 磯子区ボランティア応援隊と共に企画する講座です。

磯子の街の魅力を調べ、散歩コースを作りグループごとに歩きま した。5回講座の中では、磯子の今昔を知る磯子クイズやおいしい

ものマップづくりなど参加者が楽しめるものも工夫しました。また散歩に役立つ写真の撮り方講座や良い散歩のための健康・運動講座を行い、地域ボランティア講師や磯子スポーツセンター長に講師をお願いしました。第4回で散歩に出かけたあと最終第5回で散歩の報告会を行い、交流を深めました。

その後お楽しみ散歩会を経て、現在14人の方がグループとして活動を続けています。

スキルアップ講座

「スマホで出来る動画配信講座」

~お手持ちのスマホやタブレットで出来る!手軽に動画編集!!~

コロナ禍の制限がある中、発表の場や PR に活用していただくためのツールとして馴染みのあるスマートフォンなど携帯電話や iPad などのタブレット端末を使って動画編集を学びました。アプリのインストールやデータの読み込みなど事前の確認や操作を行い、準備した共通の素材で画像をつなげ、文字を書き込み、音楽をつけて 12 秒動画を作成しました。文字の装飾や曲などを選び、オリジナル動画が仕上がりました。繰り返しの操作から素敵な動画が出来上がるのでしょうね。ご自分の活動動画作成にチャレンジしてほしいと思います。





「活動を広めよう!集客ポスター・パネルの作り方講座」~たくさんの人を引き寄せる! コツをお伝えします~

株式会社Y-プロデュース常務執行役員 一本木えみこ氏をお迎えし 集客のためのポスター作りの方法を教えていただきました。前半で はパワーポイントの資料を基に効果的な作り方について事例を用い ながら講義をしていただき、後半はポスター作りのワークを行いま した。講師が、丁寧に要望やアイデアを引き出し、今後の活動につ ながるよう的確なアドバイスをしてくださいました。



いそご地域づくり塾「さあ、はじめよう!自分らしく!」

令和3年度は、特技や経験を生かして地域活動に取り組みたい方を対象に、NP0法人夢・コミュニティ・ネットワーク、磯子区社会福祉協議会と三者協働で実施しました。全5回の講座は、地域で活動するうえで必要な知識やノウハウについての講義、実践者からの学び、イベントの企画・実施体験、チャレンジ実践編のボランティア体験や見学を通して「地域活動の楽しさ」を実感するなど、多彩な内容となっています。

講座を通して受講生同士のつながりが深まるとともに、地域活動の身近な相談窓口である地域ケアプラザの職員と関係を築くことができ、 各受講生の今後の地域活動の進展に大きな期待ができそうです。





● 金沢区 〒236-0021 金沢区泥亀2丁目9-1 TL(788)7804~7807 (地域振興課 区民活動支援担当)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

金沢区民活動センターを核として、区民のニーズに応じた多様な活動支援を行うとともに、区民の自発的な活動を応援し、地域が育つ土壌づくりを行います。

【区民活動支援担当の主な事業】

	事 業 名	事 業 説 明
ア	区民活動支援事業	
	○区民活動センター運営	生涯学習・市民活動情報の提供・相談等を通じて、区民の方の自主的な活動の支援を行いました。 また、地域で活動するためのきっかけづくりや活動者相互の交流促進、 活動者の支援を目的としたイベントを行いました。
	○金沢区つながりステーション 事業	コミュニティサロンの相互交流及び情報交換、運営に係る知識及び 経験の伝播などにより、区内の地域交流拠点の普及及び活性化を目 的として8団体9拠点のコミュニティサロンと協働で活動しました。
	○金沢区市民活動サポート補助 金	区民活動(生涯学習・青少年活動・文化芸術活動・国際交流・子育て・ 環境)の事業費を補助することで、区民活動団体の成長及び自立の支援 を行いました。
イ	多文化共生事業	外国につながる区民への支援や様々な交流事業を通じて、外国につながる区民との共生を図るとともに、外国につながる区民が地域の人と助け合うことのできるきっかけづくりを行いました。
ウ	青少年健全育成事業	
	○青少年指導員協議会	青少年指導員の活動を支援し、コロナ禍でも指導員が安全に活動できるように、また、子どもたちが安心・安全にイベントに参加できるように、活動内容を検討しました。また、主にスクールゾーンでの見守り活動を実施しました。
工	地域文化振興事業	
	○区民文化祭	区民の方へ文化活動発表の場・芸術鑑賞の場を提供することにより、文 化活動の活性化を図りました。
	○文化振興事業	金沢区にゆかりのある能楽に触れる機会として、能の公演及び小学生を 対象に能講座を実施しました。また、身近に音楽に親しむことや、素晴 らしい音楽に触れることを目的に、コンサートを開催しました。
オ	金沢歴史ふれあい事業	
	○『むかし体験』訪問歴史授業	区内の小学生を対象に「大道ふれあいむかし資料館」で所蔵する、主に 昭和期まで使われてきた生活道具などを活用したワークショップを実施 し、地域の歴史や文化についての学習を支援しました。
	○文化伝承	小学生向けの歴史ツアーを実施しました。区内に古くから残されている 貴重な歴史的・文化的遺産に触れる機会となりました。
力	スポーツ推進委員事業	
	○スポーツ推進委員連絡協議会	トライアスロンシリーズ世界大会へのボランティア活動など、本市にて開催された大型スポーツイベントの安全な実施に大きく寄与しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツ活動の実施が困難な中で、区内各地区での地域活動への協力や感染症対策に配慮したスポーツ活動支援を実施しました。

●若林 顕/鈴木 理恵子 ピアノ・ヴァイオリンコンサート 12月18日

区役所隣接の金沢公会堂には、金沢区制 70 周 年を記念して区民から寄贈されたグランドピア ノがあります。このピアノを活用し、区民が身 近に音楽に親しむことや、素晴らしい音楽に触 れることを目的として区民のためのコンサート を実施しました。

演奏者によるわかりやすい曲の解説もあり、 音楽ファンだけでなく、日頃、音楽に触れる機 会の少ない方からも大好評でした。







ピアノとヴァイオリン の美しい音色が公会堂 に響き渡りました

●いざ金沢!鎌倉時代をめぐる小学生親子ウォーキングツアー 3月27日

金沢区の小学生に金沢区の歴史に興味を持っ てもらい、地域に対する愛着を深めることを目 的として、鎌倉時代にゆかりのある歴史スポッ トを保護者と巡るウォーキングツアーを実施し ました。

当日は、満開の桜の下、区内の史跡を巡りな がら、シティガイド協会のガイドを熱心に聞き 入る姿が見られました。

ガイドの説明を熱心に聞き、 金沢区の歴史に触れるきっかけ

となる一日となりました

●つながりステーション(金沢区コミュニティサロン連絡会)

金沢区の地域交流拠点の普及及び活性化による 豊かな地域社会の実現を図ることを目的として、 区内8か所の地域交流拠点「コミュニティサロン」 と区役所が協定を結び、金沢区コミュニティサロ ン連絡会"つながりステーション"を定期的に開催 しています。コロナ禍における厳しい運営状況の なか、各コミュニティサロンの課題や工夫を共有 し、励まし合いながらサロン運営の参考とするこ とができました。

また、区民の皆様にコミュニティサロンを知っ ていただくために、冊子『かな・サロ』を発行して います。これからも"つながりステーション"の可 能性を模索していきます。

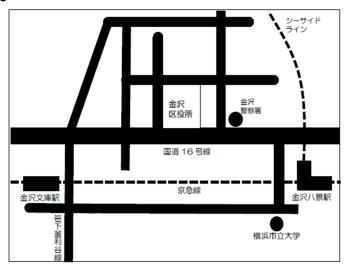


連絡会では、和気 あいあいとした 雰囲気のなか、金 沢区を元気にす るために情報交 換を行っていま

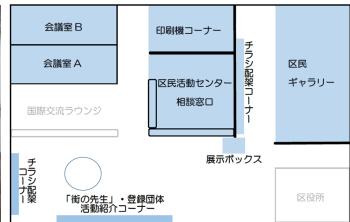


■金沢区民活動センター"ゆめかもん"

住 所	金沢区泥亀2丁目9番1号
	(金沢区役所2階)
交 通	京急 金沢文庫駅 徒歩11 分 京急・シーサイドライン 金沢八景駅 徒歩13 分
電話	788-7803
FAX	789-2147
利用時間	8:45~17:00
休館日	毎月第1日曜日・年末年始・国民の祝日(祝日が土、日曜日と重なる場合は除く)







■金沢区の特徴と区民活動センター

金沢区は、歴史的遺産、近代的施設などに恵まれた多様性に富む地域です。また、海と山、それを結ぶ川と自然環境にも恵まれています。

歴史ある古い土地柄、区民活動センターには歴史や自然に関する活動団体の登録が多くあり、利用者は比較的中高年齢者が多くみられます。センターとしてはその活動支援とともに、若い世代に向けたイベントや講座も実施し、広い世代の利用と支援を目指して事業を行っています。

■相談・コーディネート

生涯学習・市民活動に関する情報提供や、地域で活動する団体及び様々な特技や技能を持つ個人の登録制度(登録団体・金沢区「街の先生」)を活用したコーディネートを行っています。

■施設・設備

登録者・登録団体への会議室や印刷機・プロジェクター等の施設・機材の貸出を行っています。

区民ギャラリー・展示コーナーでは、作品等を展示することができます。

■情報誌の発行

情報誌「かな・インフォメーション」を毎月発行し、区民ギャラリーの展示予定や自主事業の案内、登録団体の事業紹介や会員募集、また登録団体や「街の先生」の紹介記事、金沢区のコミュニティサロンの事業紹介等を掲載しています。

金沢区民活動センター"ゆめかもん" 令和3年度の取組



『ゆめかもん』とは?

"ゆめかもん"は「夢」をかなえると、「Come on」を 合わせており、区民からの公募で選ばれた金沢 、区民活動センターの愛称です。

≪利用実績≫

○団体登録件数:192件

(令和4年3月末日現在)

○「街の先生」登録件数:190件

(令和4年3月末日現在)

○相談件数:3,408件

○設備・機材等利用件数:659件

令和3年度事業

●「街の先生」コラボ展示 6月27日~7月10日 金沢区民活動センター内区民ギャラリーほか

日頃は個々に活動している異ジャンル(華道・絵画・つまみ細工・着物着付け・パッチワーク等)の5人の「街の先生」が、"大正ロマン"をテーマにコラボレーション展示を行いました。展示者からは、異ジャンルとコラボレーションすることで、新たな可能性を発見し、活動の幅が広がったとの声も。

展示は大好評のまま終了し、地域のコミュニティサロンや、地域ケアプラザ等でのアンコール巡回展示も行われ、施設間連携にもつながりました。









● 地域デビュー講座

「誰でもできる!!大道芸ボランティア入門講座」 11月7日~12月11日(全5回) 金沢区役所ほか

市民活動や地域活動へ参加するきっかけづくり、人材の発掘育成を目的として例年地域デビュー講座を実施しています。

令和3年度は、区民活動センターが人材の紹介依頼を多く受ける「大道芸ボランティア」の育成講座を開催しました。参加者は講師からパントマイム、皿回し、バルーンアートの基礎を学び、講師が出演するイベントの見学や練習の成果発表会を行いました。

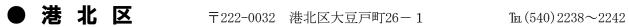
受講中、参加者は和気あいあいと楽しく技術習得や演出構成に 取り組んでいました。

講座終了後、一部の参加者で活動グループを結成し、区内の地域 イベントに出演する等、現在も活発に活動しています。

また、参加者が新たに地域で大道芸ボランティア講座を企画する等、地域活動を始めるきっかけや、活動の幅を広げることができました。







(地域振興課)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の幅広い学習ニーズに応じた生涯学習や青少年育成、スポーツや文化・芸術等の事業を、区民と協働して実施 することにより、区民が楽しみながら学び、地域に親しむ機会や交流する場を提供し、区民の自立的・自発的な学習 活動を支援します。

【主な事業】

	事業名	事業説明
ア	区民活動支援事業	
	○区民活動支援センター事業	区民活動相談・学習相談・情報提供・機材の貸出などを実施することにより、区民 の自主的な学習活動を支援しました。 地域での学びあいの活動を推進するため、特技や知識を生かして指導するボラン
	○まちの先生	地域での学びあいの活動を推進するだめ、特技や知識を生かして指導するホワンティア「まちの先生」、グループ・施設とのコーディネートを行い、「つながるカフェ」「居場所交流会」「施設間連携会議」を開催しました。地域の歴史等を学ぶ「港北地域学」を開催しました。
	○区民活動支援センター情報誌 「楽遊学」の発行	区民の自主的な活動も含め、身近なところで参加できる講座・スポーツ・サークル 活動等を掲載した情報誌を年6回発行しました。 (区ホームページに掲載)
イ	読書活動推進事業	
	○みんなで遊ぼう本とであおう事業	ブックガイド「おひざにだっこで楽しむ絵本」を戸籍課窓口や乳幼児健診時に配布 しました。また、横浜アリーナ「ヨコアリくんまつりオンライン」特設ウェブサイ ト上で読書関連コンテンツ(図書館司書のブックトーク動画等)を配信しました。
	○読書情報発信事業	区内図書貸出施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」を改訂・発行しました。また、区内図書貸出施設や、施設ごとの蔵書等の情報を集約し、区ウェブサイトで発信しました。さらに、日吉図書取次所「日吉の本だな」において、図書企画展示や読書関連情報の発信、図書館カード出張登録会や、区民活動支援センター出張相談会を開催しました。
	○読書団体連携事業	区内図書関連施設(小・中学校、保育園、図書館、地区センター等)で構成する読書活動推進関係機関連絡会を開催し各施設の取組の共有等を行いました。また、読書活動推進月間中に区内施設等で開催される読書関連イベントをまとめ、イベントカレンダーとして区ウェブサイトに掲載しました。
ウ	青少年活動支援事業	
	〇ペットボトルロケット大会	新型コロナウイルス感染症の拡大防止により開催方法を変更し、作成したペットボトルロケットを自由にデザインするデザイン部門のみ開催しました。作成を通じて友達や家族のふれあいを深める場を提供するとともに、子どもたちの豊かな情操と優れた創造力を育みました。
	○青少年指導員事業	
	自然体験教室	自然あふれる新横浜公園で、子どもたちが生き物や自然に触れ合うきっかけづく りのウォーキングイベントを企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防 止により中止しました。
	社会環境健全化活動	夜間パトロールや啓発キャンペーン等を通して社会環境の健全化を図りました。
エ	地域スポーツ推進事業	
	○港北駅伝大会	幅広い年齢層や地区代表のチームが参加する地域に根ざした大会の開催を検討しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、開催を中止しました。
	○スポーツ推進委員事業	
	ペタンク大会・グラウンドゴルフ大会	健康・体力づくりと地域交流の機会として、ペタンク大会やグラウンドゴルフ大会を 企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により開催を中止しました。
	地域でのスポーツ活動	感染症の対策を行いながら、地域でのグラウンドゴルフ交流会やウォーキング大会等、 開催できた地域でのスポーツ活動を支援しました。
	○スポーツ活動団体への補助事業	区内のスポーツ活動団体を支援し、地域スポーツの振興を図りました。
オ	芸術文化振興事業(港北芸術祭)	
	○鑑賞型事業	区民に身近な場所で良質な芸術文化に接する機会を提供するため、演劇の有料公演を実施しました。
	○参加型事業	区民が日頃の活動の成果を披露する場として、港北三曲会演奏会やオンラインでの美術展を、また区民の体験の場として書道体験教室を開催しました。
	○文化団体の支援	文化団体に共催・後援・広報協力等の支援をしましたが、新型コロナウイルス感染症 の拡大防止により、多くの事業が中止となりました。
力	港北国際交流ラウンジ運営委託	コロナ禍においても外国人からの相談対応を継続するとともに、外国人と日本人の交流の場の提供、ワクワクまつりのオンライン配信、広報紙の発行などを通じて、区民の国際理解促進に取り組みました。
キ		市民団体との協働により、区の歴史等に関する映像の制作や、区の見どころ等の映像 の配信を行うウェブサイト「港北映像ライブラリ」の運営を行いました。
ク	港北区元気な地域づくり推進事業	
	○地域ガイド活動支援事業	区が養成したガイドをメンバーとする、港北ボランティアガイドにより、企画講座・ガイドツアーを実施しました。

≪令和3年度 港北区 事業の紹介≫

◎横浜市港北区ミズキー

〇文化芸術振興事業 (港北芸術祭)

- 鑑賞型事業
- ・「狂言」

(11月28日 横浜ラポール ラポールシアター 来場者:125人)

- 参加型事業
- ・第17回港北美術展 (ホームページ上でオンライン開催) (3月14日~27日 閲覧者数:1,486人)
- ・書道体験教室 筆文字で遊ぼう!(12月4日 港北区役所 参加者:5人)







〇わがまち港北映像ライブラリ事業

港北区の歴史や見どころの映像を、 「港北映像ライブラリ」のホームページにて配信 観光、自然、文化・芸術、スポーツなど 11 ジャンル 約 300 作品



〇読書活動推進事業

「ヨコアリくんまつりオンライン」ウェブサイトでブックトーク動画等のコンテンツを配信



「港北区本との出会いマップ」 を改訂・発行



〇青少年活動支援事業

第24回 ペットボトルロケット大会

デザイン部門

会場での打上げを中止し、デザイン部門のみ開催 (作品を区のホームページにて紹介)

参加者数:52人

ホームページ閲覧数:960件(4年3月末時点)

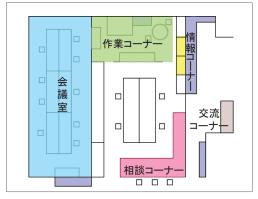


■港北区区民活動支援センター

住 所	港北区大豆戸町26-1 (港北区役所4階)
交 通	東横線大倉山駅 徒歩7分
電話	540-2246
FAX	540-2246
利用時間	8:45~17:00
休館日	土・日・祝休日・年末年始







何かを始めたい、団体活動を活性化させたい等のご相談

市民活動、生涯学習、ボランティア、グループ・団体活動に必要な情報の提供や相談、人と人、地域とのつながりづくりのコーディネートをします。

活動PRや講座イベント等のチラシを配架

活動団体に関すること、地域施設のイベントやまちの情報など様々なチラシをご自由にご覧いただけます。また、市民活動・生涯学習グループを紹介する「グループ・団体ガイド」も発行しています。

イベントの広報や会員募集のお手伝い

港北区の「活動」をつなぐ情報誌『楽遊学』を隔月で発行しています。 地域の活動団体の紹介や、わがまち港北スポット、区内・周辺のイベ ント情報、グループ団体からの会員募集など、役立つ情報満載です。

活動場所や印刷機、紙折り機のご提供

グループの打合せや会議にご利用いただける会議室や交流コーナーを

活動の場として提供しています。活動に必要な物品の保管に利用できる情報交換ボックス、印刷機、紙折り機のある作業コーナーも設置しています。

「まちの先生」の登録と紹介

専門知識や特技を活かすボランティアを「港北区まちの先生」として登録していただき、地域活動やサークル活動の講師としてご紹介。共に学び合う環境づくりをサポートしています。

機材・布おもちゃ・港北昔ばなし紙芝居の無料貸出

【令和3年度の主な事業紹介】

- 港北区の「活動」をつなぐ情報誌「楽遊学」を隔月発行しました。
- 『港北区まちの先生ガイド』 【登録者一覧リスト】を発行しました。 135人が登録しており、ジャンルは子育て、スポーツ、文芸・歴史、語学、音楽、パソコン美術など多岐にわたっています。

「グループでまちの先生に教えて欲しい。」など、ご希望に合った先生につないでいます。 大倉山記念館事業で「オープンデー まちの先生PRパネル展」開催 先生紹介128人、参加11人。

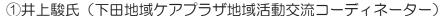
- 市民活動グループ・団体支援のための「つながるカフェ」を開催しました。
- ①「オンラインはこわくない」6月19日(土)午前 出席:9団体12名 アドバイザー 金田友美氏(NPO法人ポケット事務局)
- ②「動画のいろは」7月3日(土)午前 出席12団体14名 アドバイザー 伊藤幸晴氏(港北ふるさとテレビ局) ※アンケートでは、「それぞれ活動をしている方々との出会いが思った以上に参考になりました。団体のつながりができました」など

■ 区内市民利用施設の連携会議

地域支援のため、地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザ、地域子育て支援支点など36の施設を対象に情報共有と相互補完をめざし毎年開催令和3年12月9日(木)午後オンライン開催出席21団体

テーマ「地域施設に期待されるコーディネート力は」

講師:五井渕利明氏(NPO法人CRファクトリー副理事長) 事例紹介



②河村太喜氏(菊名コミュニティハウス館長)

※アンケートでは、「施設の共通の課題であるコロナ禍に焦点を当てて話してもらい、どの施設にも参考になった」とあり、施設間での情報共有ができました。

■「港北地域学」開催

「港北区」の成り立ちや歴史・文化・特性など様々に学ぶ講座を開催し地域への愛着や課題 の発見などを目指し開催

① 11月8日「東急東横線の変遷」

講師:辻村功氏(鉄道車両専門家)参加者29名

② 1月7日「名城のまち小机!その歴史と魅力」

講師:林宏美氏((公財)大倉山精神文化研究所研究員)参加者32名

③ 2月5日「慶応義塾と日吉」

講師:都倉武之氏(慶應義塾福澤研究センター准教授)応募110名

④ 3月11日「東京大空襲と綱島温泉」

講師:吉田律人氏(横浜都市発展記念館調査研究員)応募50名

※コロナ禍のため③、4は動画のみ後日配信となりました。

⑤ 特別講演会2月27日「建築家 隈研吾氏 大倉山を語る」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、延期となりました。273名の応募がありました。

■「居場所交流会」開催

コーディネート力強化のために、地域の居場所運営団体を結び付け、情報交換などを行う ために交流会を開催しました。

令和4年3月14日(月)16:30~18:30

「菊名みんなの広場」オンライン開催 10団体17人参加

※「居場所のあり方など情報共有ができ、今後の参考になった」とありました。



● 緑区

(地域振興課 生涯学習支援係)

【生涯学習事業推進の考え方】

区民が主役となって行う、スポーツ振興、青少年健全育成、芸術・文化分野の活動を支援しま

また、市民活動パワーアップ支援事業では、生涯学習や市民活動団体の代表者からなる「緑区 市民活動支援センター運営委員会」の専門部会とみどり一むネクストが中心となり、生涯学習や 地域活動への参加のきっかけとなる講座などを企画・実施しています。

【生涯学習支援係の主な事業】

事業名	事業説明
ア 市民活動パワーアップ支援 事業	公益的な活動をしている市民の応援とこれから地域活動に参加 しようとする市民のきっかけ作りのため、交流や情報交換をする 場の提供や各種講座などを実施しました。
○ 生涯学級事業	市民が5回程度の連続講座を企画・運営することにより、グループ活動のノウハウを学んだり地域で仲間づくりを進める事業です。4講座の募集を行いましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。
○ 生涯学習人材バンク事業	まちのボランティア講師「ちょっと先生」の登録・紹介、地域イ ベントでの人的コーディネート等の支援を行いました。
○ 市民活動交流事業	地域で行われている公益的活動を周知し、地域活動の担い手を増 やすために、活動発表や意見交換の場として「サロンふらっと」 などで交流を促進しました。コロナ禍でもオンラインを活用して 「みどり市民活動交流会」、「Open!みどりーむ」を開催しました。
○ 多文化共生事業	多様な文化が共生するまちを目指して、「みどり国際交流ラウン ジ」で日本語教室や交流イベント等を開催しました。
○ 区民との協働による I T 普及事業	ボランティア団体との協働によりIT講習会の実施及びパソコン 常設相談コーナーの運営を行いました。
イ 青少年地域サポート事業	青少年が健やかに育つ環境づくりを目的に、青少年に対するボランティア活動の支援や社会環境健全化活動を実施しました。
〇 緑区青少年活動事業	緑区の青少年健全育成にかかわる活動を支援し、効果的に推進す ることを目的として対象団体に補助金を交付しました。
〇 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を支援しました。
○ 社会環境浄化活動事業	区内店舗において有害図書の取組状況の立入調査を行い、店舗側へ 啓発を行いました。
ウ スポーツ振興事業	区民の健康づくりとスポーツの盛んなまちづくりのため、区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やイベントの支援を行い、区 民が気軽にスポーツを楽しめる機会を提供しました。
○ スポーツ教室等のイベント 開催事業	東京2020オリンピック・パラリンピック開催の機を捉え、1964年東京パラリンピック大会の記録映画上映イベントを実施しました。 また、横断幕等で緑区出身のスポーツ選手や力士を応援しました。
○ スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を支援しました。
○ スポーツ協会への補助事業	加盟している種目別15競技団体等の支援を通して、スポーツ振興を 図りました。
○ みどりスポーツフェステ ィバル2021	世代を問わず気軽に参加できるスポーツの体験イベントを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中 止しました。

ユ	- 緑・芸術文化事業	区民の文化活動の成果発表・交流の場を提供することにより、緑 区の文化芸術の振興を図りました。
	〇 地域文化振興事業	緑・芸術文化活動支援事業の対象となるイベントを募集し、事業のPRや経費の一部助成等の支援を行いました。また、区庁舎を活用した文化振興として、文化サークルによる展覧会「サークルミニギャラリー」を実施するとともに、オンラインを活用した「お昼のロビーコンサート」を開催しました。
	○ 交流と人材育成事業	文化活動をする団体に対し発表と交流の機会を提供するため、 「提案型ロビーイベント」を募集し、区庁舎でイベントを実施し ました。
	○ アートによるオリパラ機運 醸成事業	区内芸術文化の振興とオリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るため、県立白山高校美術科の生徒による「東京2020オリンピック・パラリンピック」をテーマにしたポスターを地下鉄グリーンライン(車内貸切広告)に掲出しました。
ス	・ 「横浜市民の読書活動の推 進に関する条例」に基づく事 業	中高生が読書に親しむきっかけ作りとして、青少年向け読書啓発 事業「中高生選抜!私の推し本」を実施し、協力校の生徒から図 書を推薦してもらい、推薦用紙を区役所や図書館で展示したり、 人気上位作品をパネル看板で掲出しました。

緑区の生涯学習、イベント紹介



サロンふらっと(終戦記念特集)「知られざる引揚"留用"とは」



みどり市民活動交流会 「人生 100 年時代に向けた地域活動」



Open!みどりーむ オンラインで緑区音頭を踊ろう!



1964 年東京パラリンピック大会 記録映画上映イベント



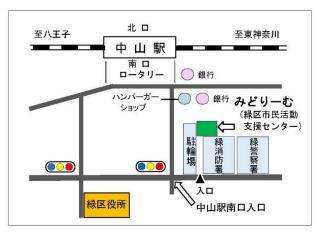
提案型ロビーイベント ワークショップ



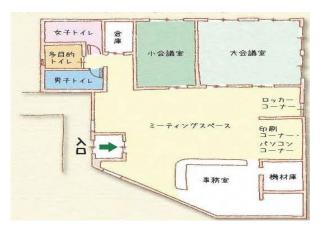
中高生選抜!私の推し本 関連展示

■緑区市民活動支援センター(愛称みどりーむ)

住	所	緑区中山4-36-20
交	通	JR・市営地下鉄グリーンライン 中山駅南口 徒歩7分
電	話	938-0631
FAX		939-5401
利用時間		平日·土 9:00~21:00 祝日·日 9:00~17:00
休館日		毎月第2月曜(祝日の場合は翌日)・ 年末年始

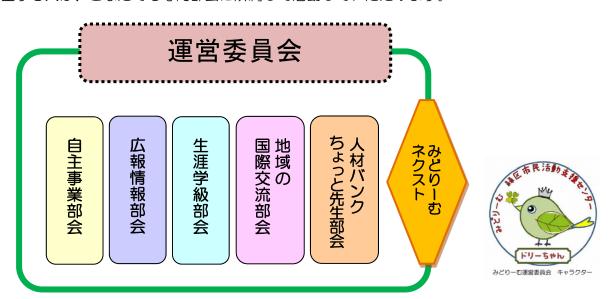






「みどり一む」は、皆様の文化・芸術、生活・健康、スポーツ、子育て、多文化 共生、歴史、自然観察など様々な学びの推進と地域の課題解決を目指す活動を 応援するための施設です。

緑区市民活動支援センターの運営は、運営委員会と緑区役所との協働で行っています。 運営委員会には、5つの専門部会とみどり一むネクストがあり、生涯学習や市民活動のきっかけ づくりや楽しさを伝えるための講座やイベント、交流事業等を企画運営しています。 希望する人は、どなたでも専門部会に所属して活動していただけます。



みどり一むの広報事業

・広報誌「みどりのなかま」 隔月発行。講座やイベント案内、「ちょっと先生」や地域で活躍

隔月光行。講座やイベント条内、「ちょつと光生」や地域で活躍 している方の紹介などを掲載

- ・みどり一む運営委員会 ブログ 講座のお知らせや実施状況について、きめ細かい 情報を発信
- ・みどり一む運営委員会 YouTube 公式チャンネル 講座やイベントの様子などを動画で配信中





みどり一むの登録団体・人材バンク事業



- ・みどり一むに登録している団体&ちょっと先生のリストの発行 皆様の"やってみたい"探し、子ども会で披露してほしい等々 にお役立てください。みどり一む職員がコーディネートします。
- ・ちょっと先生とは 豊富な知識・優れた技能を生かし、ボランティアとして地域の 人々の生涯学習や地域活動をサポートしていく街の名人、達人。

みどり一むの利用について

相談・コーディネート窓口

何かを始めたい、既存の活動を活性化 したい等々ご相談ください。

情報コーナー

講座やイベントのチラシがあります。 みどり一むに登録している団体やちょっと先生を紹介するアピールカードも ご覧いただけます。

作業コーナー

印刷機(有料)や紙折り機などをご用意 しています。予約利用もできます。

ミーティングスペース

グループの打合せや個人でも資料閲覧などをする場所として利用できます。 2か月前から予約して使用するスペースとフリースペースがあります。

貸ロッカー

登録団体の資料保管等にご利用ください。

館外貸出機材

登録団体、登録者にプロジェクターや スクリーン等を貸し出します。

多文化共生事業 (みどり国際交流ラウンジ)

国籍などの違いにかかわらず多様な文化が共生するまち、 誰もが活躍できるまち、誰もが幸せを感じて暮らせる まちを目指し、事業を展開しています。

- ○多言語による情報発信・相談業務
- ○多文化共生事業
- 〜外国人市民と地域住民がお互いの文化を理解するための事業〜
- ○外国人向け日本語学習支援、児童生徒の学習支援
- ○ボランティア等人材育成
- ○地域との連携強化
- ~外国人市民の現状と課題、地域ニーズの把握~



令和3年3月にオープン



日本語教室の様子

●青 葉 区

(地域振興課 文化・コミュニティ係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

青葉区では、ボランティア、市民活動、文化・芸術活動などに自発的に取り組む区民が多く、生涯学習へのニーズ も多種多様です。これに応えるため、企画運営に区民が関わり、区民同士が交流しながら、主体的に学習活動に取り 組めるように支援し、自主活動へ発展することを目標として事業を実施しています。

【文化・コミュニティ係の主な事業】

	事業名	事業説明
ア	生涯学習・区民活動支援事業	
	○まちの担い手デビュー講座	地域課題について意見交換しながら、仲間づくり及び地域活動を行うための企画やノウハウを学ぶ講座を開催しました。
	○区民企画運営講座	まちの担い手デビュー講座受講生が団体を構成し、補助金を受けて事業の 企画・運営を行いました。2団体が立ちあがり、2講座が開催されました。
	○区民活動支援センター事業	市民活動や生涯学習を総合的に支援するため、相談・コーディネートや情報発信のほか、講座や交流イベント等を通じて、地域のつながりづくりを推進する事業を実施しました。オンラインと会場を使い分けるなど、コロナ禍における事業開催の手法を工夫しました。
イ	国際交流・多文化共生事業	
	○国際交流ラウンジ運営委託	青葉国際交流ラウンジを運営し、外国人市民に対して、生活情報の提供や、 日本語教室の実施等を行いました。
ウ	スポーツ振興事業	
	○スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員連絡協議会の事務局としてスポーツ推進委員の活動を支援し、協力しました。
	○スポーツ振興イベント事業	区民の誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントとして、オンライン形式に よるマラソン大会を開催しました。
	○スポーツ協会事業	スポーツ協会の事務局と協力して、地域スポーツの振興や、加盟スポーツ団 体との連絡・調整を行いました。
エ	文化・芸術関係事業	
	○青葉区民芸術祭事業	区民の企画・運営による各芸術分野の展示や発表について、感染予防対策を講じた開催や中止になった事業は代替え事業としてパネル展やウェブ上で活動紹介を行うなど工夫して実施しました。 ① 絵画 ②書道 ③文芸 ④華道 ⑤写真 ⑥美術工芸 ⑦茶道【パネル展示】⑧コーラス【動画放映】 ⑨器楽 ⑩芸能【ウェブ】
	○あおば音楽ひろば事業	緊急事態宣言期間を除き、区役所1階でお昼のコンサートを開催しました。 (6回)
	○青葉区シニアコンサート事業	NPO法人との共催により、感染予防対策をとり高齢者の生きがいづくりを目的にした本格的なコンサートを開催しました。
	○あおば美術公募展事業	区民の芸術文化の振興を図るため、区民からなる実行委員会や運営サポータ ー、大学などと協働して、絵画作品の公募展を開催しました。
	○郷土の歴史を未来に生かす事業	ふるさとである青葉区に理解と愛着を深めていただくため、歴史講座や歴史 探訪講座等を行いました。



青葉区 地域振興課 文化・コミュニティ係 事業紹介



~ 令和3年度 主な生涯学習事業の一例 ~

まちの担い手デビュー講座

「区民企画運営講座」を実施することをゴールに、お互いの意見を聴き合い、まちの声に耳を傾けながら、 仲間と活動していくために必要な知識と技術を習得することを目的に講座を開催しました。

☆ 参加人数:延べ48人

☆ 開催時期:5月~7月(全6回)

☆ 講師: 長浜洋二氏

(モジョコンサルティング合同会社代表)





区民企画運営講座

「まちの担い手デビュー講座」の参加者が、自ら企画・運営する区民企画講座を実施しています。 令和3年度は2団体・2講座を実施しました。

<広げよう!音楽でつながる仲間の輪>

☆ 講座内容: 音楽を通じた仲間づくりを目的に、 音楽イベントの企画の裏側を学びました。

☆ 参加人数: 延べ98人

☆ 開催時期: 11月~1月(全5回)



<障がい者とつながる、はじめの一歩>

☆ 講座内容:自分にできることを考え一歩踏み出す きっかけとするため、障がい児や福祉について 学びを深めました。

☆ 参加者数: 延べ59人

☆ 開催時期: 12月~3月(全5回)

(うち1回中止)

<生涯学習成果発表会>

区民自ら企画・運営した区民企画講座について、 2講座の運営委員による発表を通じて、地域活動 に興味のある区民との交流会を開催しました。









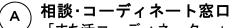
■青葉区区民活動支援センター

住	所	青葉区市ケ尾町 31 番地 4
交	通	東急田園都市線市が尾駅
電	話	978 — 3327
FΑ	X	972-6311
利用時間		月曜~金曜 午前8:45~午後5:00 第2.4土曜 午前9:00~正午
休 彦	f 日	日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3) 第2.4以外の土曜









「まち活コーディネーター」が、青葉のまちで活き活きと活動するあなたを応援します。何かを始めたい、活動を活性化したいなどお気軽にご相談ください。

- B ミーティングコーナー 市民活動・生涯学習活動の
 - 市民活動・生涯学習活動の打合せなどに 利用できます。(一部テーブルは予約も 可能です。)
- (C) 情報コーナー 団体活動やイベントのチラシ等の配架 や、月刊情報誌「Info まち活」の発行を しています。 まちの情報等、いろいろな資料が閲覧で
- D 作業コーナー

きます。

印刷機(有料)、紙折り機、裁断機等が利用できます。活動資料の印刷等にご活用ください。印刷は、予約が必要です。

- (E) **貸しロッカー・連絡ボックス** 活動団体の資料の保管等にご活用くだ
 - 活動団体の資料の保管等にご活用ください。(利用には団体登録が必要です。)
- F まち活ギャラリー 登録団体、まち活パートナーズ等の創造 的、公益的な活動の発表ができます。
- G 貸出機材

活動に必要な貸出機材をご用意しています。《マイクセット、プロジェクター、スクリーン、CD ラジカセ、紙芝居舞台、パラバルーン、ハンズフリー拡声器、クリップボード、照明機器、ポップスタンド》



≪令和3年度に実施した主な事業≫

■まち活カフェ Zoom

第19回「ようこそ!青葉で子育て(乳幼児編)」(6月17日) 8人

第20回「地域企業との連携」(9月30日) 19人

第 21 回「第 2 ステージを青葉で〜地域デビュー〜」(1月 27日) 13 人

「**まち活**カフェ」は、区内で活動しているゲストスピーカーを招き、テーマ に沿った活動事例の話をもとに交流します。地域活動への興味関心を高め、学び合うきっかけ作りの場です。感染拡大防止の観点からオンラインで開催し、後日ゲストスピーカーのお話を動画配信しました。



AOBA-KU



まち活カフェ Zoom 開催の様子

■まち活おしゃべりタイム

第1回「ようこそ!青葉区へ」(4月22日) 12人

第2回「ニットが好きな人集まれ!」(12月2日) 14人

「**まち活**おしゃべりタイム」は、誰もが集い、おしゃべりを通して新たな出会いとつながりを 作る交流の場です。

■市民活動支援講座

「はじめてみよう! Zoom 会議」

全2回(5月27日·6月3日)16人

講師:認定 NPO 法人市民セクターよこはま 薄井 智洋氏 コロナ禍での活動の一助として Zoom 会議を開催できるようになるための講座を開催しました。初心者も1回目で Zoom に参加できるようになり、2回目は Zoom 会議の主催者 (ホスト) になるための知識と技術を学びました。





第1回の様子

第2回の様子

「スマホ・タブレットで30秒の活動紹介動画を作ってYouTubeにアップしよう!」

全2回 (10月6日・10月20日) 10人

講師:「あおば未来プロジェクト」の大学生サポーター

動画はコロナ禍でも情報発信できる有効な手段のひとつです。スマートフォンを片手に動画を撮影するところから始まり、最後には音楽やテロップを入れた動画を作成しました。世代間交流も図りながら、楽しく動画作成のスキルを学ぶことができました。



■第4回**まち活**フォーラム

「コロナ禍でのチャレンジ ~試行錯誤の ICT~」(2月9日) 19人

ファシリテーター: NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク 時任 和子氏 ICT を活用して、コロナ禍でも様々なチャレンジを続けている団体の事例発表や参加者交流会を Zoom で開催しました。 団体同士で事例を共有し、今後のチャレンジや交流のきっか

けになりました。



時任 和子氏

■ウェブで楽しむ「まち活フェス」(12 月 27 日~3 月 31 日) 参加団体 18 件

オンラインの活用など工夫を凝らし活動を続けている登録団体や**まち活**パートナーズの皆さんが、自ら活動紹介動画を制作しました。思わず活動に参加したくなるような多彩な動画の数々には、2,400回を超える視聴があり、活動を広くご紹介する機会となりました。

●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため「青葉区民まつり」「区民交流センターまつり」は 中止になりました

● **都 筑 区** 〒224-0032 **都筑区茅ケ崎中央**32-1 ℡(948) 2236 (**地域振興課 区民活動係**) 【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自主的な学習活動や市民活動の振興を図るため、情報提供や活動の場を提供、活動に関する相談・コーディネートを行うとともに、活動成果の発表・交流の場を提供します。

【区民活動係の主な事業】

	事業名	事業説明		
ア	市民活動・生涯学習支援(つづき"縁	k"ジン事業)		
	○ 区民活動センター事業	市民活動や生涯学習の相談窓口、情報提供、機材貸出し、ブースの提供、 人材バンク制度などにより、市民活動・生涯学習全般の支援を行いました。		
	○ 大人の学級	個人の学びを地域へつなげるための講座を開催しました。		
	○ 区民活動補助事業	自主的かつ主体的に行う公益性のある事業に補助を行い、区民活動の推進 を図りました。		
	○縁ジンミーティング	登録団体に向けて、活動する上で必要な知識やノウハウについて学ぶ講座 を実施し、団体同士での交流を図りました。		
	○ つづき人交流フェスタ	区内の市民活動団体・グループが活動内容を紹介して区民活動の楽しさを 広め、ネットワークを広げるイベントを開催しました。		
1	輝く女性応援プロジェクト			
	○ 輝く女性応援プロジェクト	経験やスキルのある女性が地域で力を発揮できるよう、女性のニーズや アイディアをもとに講座、講演会、ワークショップを実施しました。		
ウ	青少年健全育成事業			
	○ 青少年指導員事業	青少年指導員による各地区での青少年健全育成活動を実施しました。		
	○ はぁとdeボランティア	青少年の自主性や社会性を育むため、夏休み期間中に小・中高生がボラン ティア体験をする場を提供しました。		
	○ つづきウォーク&フェスタ	ウォーク&フェスタ自体は中止になりましたが、代わりに部活動の発表映像放映や緑道マップの展示など、バーチャルでイベントを実施しました。		
	○ 青少年支援者講座	青少年を支援する地域づくりにつながる講座を実施しました。		
エ	スポーツ振興事業			
	○ スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員による各地区でのスポーツ振興活動を実施しました。		
	○ 都筑ふれあい健康マラソン大会	都筑ふれあい健康マラソン大会をオンライン形式により開催し、区民の皆 様がスポーツに参加する機会を創出しました。		
	○ 体育協会支援事業	区民スポーツの振興のため、都筑区体育協会の活動を支援しました。		
	○ 都筑スポーツ・文化賞	顕著な功績を収めた方を表彰し、区民の皆様に紹介しました。		
	○プロスポーツ支援事業	区内に拠点を置くプロバスケットボールチーム、横浜ビー・コルセアーズのPR活動の支援を行うとともに、地域が一体となってチームを支える体制づくりに取り組みました。		
才	文化活動支援事業			
	○ 区民文化祭	日ごろから文化活動を行っている人々が今年度のキャッチフレーズを決 定し、文化祭のポスター画を募集・展示しました。		
	○ 読書事業	読書活動の推進を図るために、おでかけ図書館やブックフェスタ、関係機 関による懇談会を実施しました。		
力	国際交流・多文化共生事業	都筑多文化・青少年交流プラザを拠点として、外国人市民への多言語による情報提供や日本語教室の開催などを行いました。		
キ	都筑多文化・青少年交流プラザ事業			
	○ 国際交流・外国人支援事業	外国人市民のための生活情報の提供、外国人支援ボランティアの養成や講座の開催等を行いました。また、ボランティアグループと協力して、交流イベントなどを実施し、国際理解と外国人が暮らしやすい環境づくりを推進しました。		
	○ 青少年の地域活動拠点事業	中高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営ができる場を提供しました。		
	○ 市民活動支援	市民活動団体・グループに活動の場の提供を行いました。		
ク	区民利用施設管理・運営	地区センター、スポーツ会館、公会堂、老人福祉施設の指定管理に伴う総合調整を行いました。		

【大人の学級講座】

個人がやりたいことを見つけ、地域で実現するための講座を開催しました。

場づくりのノウハウを学び、仮イベントで実践し、最後はやりたいことプランを発表しました。

連続講座(全7回)、8月~12月 講師:れんげ舎 長田氏

【縁ジンミーティング】

市民団体向けのスキルアップ講座を実施しました。

• 1回目:8月、動画作成講座 講師:NPO法人SIDE BEACH CITY 志田氏

・2回目:12月、助成金講座 講師:シーズ市民活動を支える制度をつくる会元代表 松原氏

・3回目:2月、NPO法人入門講座 講師:NPO法人 H&K ほか

【輝く女性応援プロジェクト】

自分の好きなことや特技を活かして仕事や市民活動をしたいと思っている女性たちが明確な 目的をもって始めの一歩を踏み出し、活動が継続できるよう応援する講座を実施しました。

・連続講座(全7回)、10月~11月 講師:コピーライター 阿部 広太郎氏 ほか

【広報紙縁ジンの発行、市民ライター養成講座】

都筑区民活動センターの広報紙記事を執筆するライターを募集し、養成講座を実施しました。年3回の広報紙のうち、2回の特集記事を執筆していただき、6,000部を発行しました。

・連続講座(全7回)、9月~3月 講師: 森ノオト 北原氏

【サロンの開催】

ボランティアを探している人と求めている人を結ぶサロンや、夫の転勤によって都筑に引っ越してきた方に向けたサロンを開催しました。

· 毎月1回

【つづき人交流フェスタ】

区民活動センター登録団体の活動紹介のためのパネル展やワークショップを開催しました。

· 3月

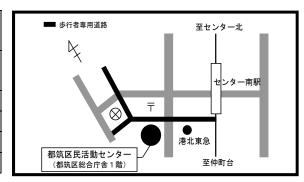
【区民活動補助金】

地域課題解決を目的とした、自主的かつ主体的に行う公益性の高い事業に補助しました。

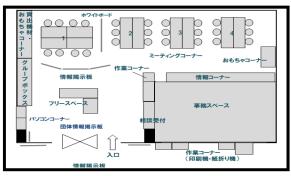
・5団体 テーマ: SDGs 推進、日本語学習支援など

■都筑区民活動センター

住 所	都筑区茅ケ崎中央 32-1		
	(都筑区役所1階)		
交 通	市営地下鉄センター南駅		
	徒歩5分		
電話	948-2237		
FAX	943-1349		
利用時間	9:00~17:00		
休館日	毎月第3月曜日・祝日・年末年始		







各種イベント・研修・講座・子育て情報やボランティア活動などの情報があります!!どなたでも気軽にお立ち寄りいただけます。ぜひ一度お越しください。

相談

何か始めたいという思いのある個人の方や、運営の悩みを抱える団体の皆様の相談を受け、アドバイスをします。

情報収集・提供

区内で行われるイベントや、団体のメンバー募集情報などをたくさんそろえています。

機材の貸出し

活動に便利な着ぐるみ・プロジェクター等を貸出します(要登録)。

活動拠点

活動の打ち合わせのためのミーティングスペースや印刷機、貸グループボックスがあります。

人材バンク制度

特技や技能を地域に活かしたい方が登録しています。利用したい団体の依頼に基 づき紹介します。

縁ジンミーティング

市民団体向けのスキルアップ講座を実施しました。

· 1回目:8月、動画作成講座 講師:NPO 法人 SIDE BEACH CITY 志田氏

・2回目:12月、助成金講座 講師:シーズ市民活動を支える制度をつくる会元代表 松原氏

・3回目:2月、NPO法人入門講座 講師:NPO法人 H&K ほか

サロン「転勤妻のおしゃべりサロン」・「ボランティアベースつづき」

転勤してきた女性が不安や孤独を解消し、地域と関わるきっかけづくりを目的として毎月 開催しています。また、ボランティアを求める人と探している人の交流会を開催しました。

区内の区民利用施設情報交換会

区民利用施設が集まりコロナ禍の課題、事業計画について意見交換しました。

つづき人交流フェスタ

区内の市民活動団体等の活動内容をパネル展やワークショップによりPRし、より多くの 区民の方が活動を始めるように働きかけました。

広報紙 きっかけマガジンつづき "縁" ジン

地域活動を紹介する広報紙を年3回発行しました。(各6,000部)。市民ライター養成講座 を開講し、市民ライターと共に紙面を作成しました。(講師:森ノオト 北原 まどか氏)

大人の学級講座

地域活動を始めるきっかけとするために、場づくりのノウハウを学び、実践する連続講座を 開催しました。(講師:れんげ舎 長田 英史氏)

区民活動センター利用促進事業

利用の予約システムの導入や、オンライン相談窓口を開設しました。

輝く女性応援プロジェクト

自分の好きなことや特技を活かして仕事や市民活動をしたいと思っている女性たちが明確な目的をもって始めの一歩を踏み出し、活動が継続できるよう応援する講座を実施しました。

・連続講座(全7回)、10月~11月 講師:コピーライター 阿部 広太郎氏 ほか

区民活動補助金

申請のあった5団体に補助金を交付しました。

(地域振興課 地域活動係)

【生涯学習事業推進の考え方】

地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組 んでいけるような社会の実現を目指します。

【生涯学習支援担当の主な事業】

事業名	事業説明	
区民活動支援事業		
○とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	地域の課題解決や魅力向上に繋がる区民の方々の活動に対して補助金を交付しました。	
○読書活動推進事業	区民が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、感染防止対策として規模の縮小・分散等をしながら、区役所・図書館・学校等が連携して読書活動の推進に取り組みました。また、昨年度に引き続き「0歳からの読書活動推進ネットワークプロジェクト」を区内全域に展開しました。	
○とつか区民活動センター運営事業	市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動支援の拠点である「とつか区民活動センター」を委託運営団体と協働で運営しました。また、平成 24 年 3 月から区役所 3 階情報コーナーの運営も行っています。	
地域文化振興事業		
○戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	区内小学校、中学校、高等学校の児童・生徒による日頃の文化活動の成果を発表する場として、ステージ発表を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催方法を変更し、各学校の演奏動画の上映会を実施しました。その他、児童・生徒の作品展、ポスターの区内巡回展を開催しました。	
とつか音楽の街づくり事業		
○区民広間コンサート	区内を中心に活動する文化団体のコンサートを、感染症対策を講じながら、 観客数を 36 席に制限して実施しました。 〈緊急事態宣言等による一部中止〉8/21、9/18、2/19、3/19	
○とつかストリートライブ	毎月第3土曜日の「とつか音楽の日」に、戸塚駅前ペデストリアンデッキ上 広場を中心に、ストリートミュージシャンによるライブを実施しました(一 部新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)。その他、春フェス、 商店街のイベント等に派遣する出張ストリートライブを行いました。	
戸塚区民まつり事業		
○戸塚ふれあい区民まつり	地域関係者、企業、福祉団体、学校関係者などによって、模擬店やステージアトラクションなどを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立っていない状況で不特定多数の来場者の安全を確保しきれないため、令和3年度は開催を中止しました。	
○戸塚ふれあい文化祭	区民の方々が日ごろの文化活動の成果を発表し、交流する場として、舞台発表、作品展示などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立っていない状況で不特定多数の来場者の安全を確保しきれないため、令和3年度は開催を中止しました。	
とつか魅力再発見事業		
○ウナシー普及事業	「ウナシー」を多くの区民の方々に周知することにより、区に愛着を持ってもらい、郷土心の醸成を図るため、着ぐるみの貸出しを実施しました。子どもたちの郷土愛の醸成等を目的に「ウナシーなぞとき広場」を実施しました。	

令和3年度 主な事業紹介

●区民活動支援事業

○とつか区民の夢プロジェクト補助金事業

地域の課題解決、魅力向上に繋がる区民の方々の自主的な活動に対し、補助金を交付しました。(5団体に交付)

【令和3年度実績】

- ★シネマトトツカ (映画上映を通じて、地域コミュニティ活性を促すプロジェクト)
- ★ふるさと舞岡花さかクラブ(花できれいな街づくり)
- ★広場きわめ隊(つなごう地域のバトン 宿場街道魅力再発見)
- ★とつかエココーデイネーター協議会(地球温暖化対策行動を地域に広げるエコ活動)
- ★NPO 法人戸塚てらこや(大学生と小学生の地域交流プロジェクト)

○読書活動推進事業

戸塚区読書活動推進目標(①情報提供の充実②担い手づくりの推進③活動拠点の連携促進)に基づき、あらゆる世代の皆様が身近な場所でもっと読書活動を楽しむことができるよう、イベント等を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、規模の縮小・分散等をしながら次のような活動等を実施しました。

【令和3年度実績】

- ★読書講演会「夢をあきらめない」 棋士瀬川晶司氏がプロになるまでの道のり (11/12(金)参加者:65人)
- ★「とつか読書チャンネル」動画公開 図書館の本の並べ方の工夫や、読みたい本・調べたい本をどのように探せばいいか分か る動画の作成、公開
- ★読書活動推進連絡会 区内の読書活動を推進するため、区役所、図書館、校長代表による会議を開催
- ★読書活動推進懇談会 読書活動拠点の連携促進のため、図書を有する様々な施設等による情報共有と意見交換を 実施(書面開催)

○とつか区民活動センター運営事業

市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動の支援のため、とつか区民活動センターを区民の方々で構成されている「NPO 法人くみんネットワークとつか」と協働で運営しています。

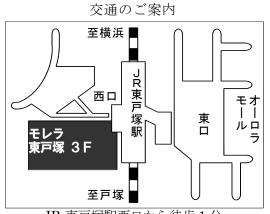
【令和3年度実績】(区との共催事業)

- ★とつカレッジ〜戸塚のいいとこ学び隊〜 地域に関心を持つきっかけづくりを目的とした全5回の講座(受講者25名) 戸塚区の概要・歴史講座・俣野別邸庭園散策・農園収穫体験・おいしいもの戸塚ブランド 横浜アイス工房・防災・減災講座・名瀬の里山散策・グループワーク
- ★第 12 回とつかお結び広場 地域活動の紹介や出展者同士のつながりの創出を目的としたイベント。令和 3 年度は 4 つの プログラムを企画・開催 (「見て」つながる!パネル展示、「参加して」つながる!イベント企 画、「聞いて」つながる!トークイベント、いつでもつながる!オンライン(動画配信))
- ★地域施設間連携促進研修会 地域における施設間の連携促進を図るためのオンライン研修会を開催(23 施設延べ53 名)

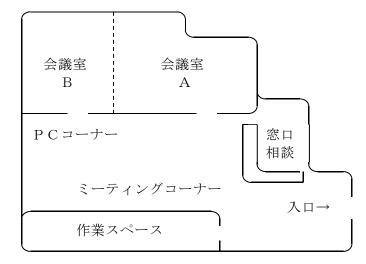
■とつか区民活動センター

住	所	戸塚区川上町 91-1
III.	ולז	モレラ東戸塚3F
交	通	JR東戸塚駅 徒歩1分
電	話	825-6773
F A	X /	825-6774
£II EE	0 土 月 月	平 日 9:00~21:00
利用時間		土日祝 9:00~17:00
休館日 毎週月曜日・年末年始		



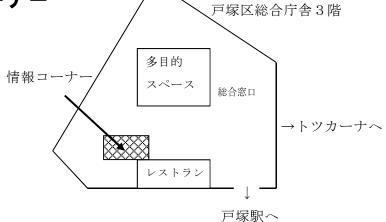


JR 東戸塚駅西口から徒歩1分



■戸塚区総合庁舎3階情報コーナー

住	所	戸塚区戸塚町 16-17
工	PH	戸塚区総合庁舎3階
交	通	JR戸塚駅 市営地下鉄
	乪	戸塚駅 徒歩2分
利用時間		8:45~17:00
1+ 4		土日・祝日及びその振替休日・
	館日	年末年始











インキュベーション (活動入門)、エンパワーメント (活動力アップ)、ネットワーキング (連携構築) の3 事業を柱に運営しています

≪インキュベーション≫

- ボランティアのいろは
- とつカレッジ(区と共催)
- ・リモートインタビュー

≪エンパワーメント≫

- スキルアップ講座
- · IT 応援事業
- ・地域づくり大学校

≪ネットワーキング≫

- とつかお結び広場
- 地域施設間連携促進事業 (区と共催)
- •活動者•活動団体連携応援 事業
- 地域や他施設との連携事業



第12回とつかお結び広場開催 (区と共催)

とつか区民活動センター VouTube 公式チャンネル



地域とみんなをつないで結ぶ

おむすび~っちゃんねる



今年度は、「見て」つながる!パネル展示、「参加して」つながる!イベント企画、「聞いて」つながる!トークイベント、いつでもつながる!オンライン(動画配信)の4つのつながるプログラムを開催しました。69 団体・個人が出展を行い、出展者同士の交流も行い、動画視聴者の方々には、戸塚の多様な活動を知っていただく良い機会となりました。人と人、地域と人がつながり、"わ"が広がりました。



(地域振興課 生涯学習支援係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

少子高齢化の急速な進展や、ライフスタイルの多様化、人間関係の希薄化など、生涯学習を取り巻く 社会的背景は変化し続けており、多様な個性やニーズに応じた学びの場の提供が求められています。

特に栄区は幅広い年代の区民が地域において熱心に区民活動を行っている地域であり、区民一人ひと りが学びを通じて、自己実現や地域での仲間・絆づくり、まちの活性化につなげることができるよう、 区民を主体とした生涯学習事業を推進します。

【生涯学習支援係の主な事業】

	事業名	事業説明		
ア	地域の人材育成支援事業(区民活動	支援事業等)		
	○パワーアップ講座	地域で活動する個人・団体を支援する目的で、「Zoomを学ぼう!〜オンラインで地域活動を盛り上げよう〜」「はじめてのスマホ使い方講座」を実施しました。		
	○パソコン講座	6回のパソコン活用講座を実施しました。ワード、エクセルやメールの 基本、インターネットを活用した資料作成等の内容で講座を行いました。		
	○ぷらっとカフェ	仲間作りの場として、「ぷらっとカフェ」を6回実施しました。		
	○まちの名人・達人	仕事や趣味で培ってきた知識や経験・特技など、ボランティアで提供できる内容を具体的に用紙に記載してもらい、その内容をパネルにして 作品と共に、「まちの名人・達人」コーナーに展示紹介しました。		
	○ぷらっとギャラリー	登録団体や「まちの名人・達人」の作品を展示しました。		
	○グループボックス	登録団体向けに、資料の保管やメンバー同士の情報交換の場所として グループボックスを提供しました。		
	○情報紙「ぷらっと通信」	年7回、地域活動情報や地域の旬な話題を取り上げた情報紙を発行しました(発行部数4,500部/回)。		
	○団体連携サロン	登録団体などと連携して、「ウォーキング体験」「終活講座」を開催しました。		
	○多文化共生事業	世界の文化・習慣等に触れ、国際理解を推進するため、「心が旅する多文化共生」として世界の絵本・書籍等や各国の子どもが書いた絵の展示等を行いました。		
	○栄区青少年指導員事業・SAKAEヤングフェスティバル	青少年の健全育成のため、各地区の地域活動、区協議会活動、社会環境 健全化活動、研修等を実施しました。また、青少年の地域参加を図るた め、SAKAEヤングフェスティバルを実施予定でした。【中止】		
イ	スポーツ振興事業			
	○栄区スポーツ推進委員事業	地区単位での運動会やレクリエーションイベントを支援しました。また、資質向上のための全員研修会を実施予定でした。 【中止】		
	○栄区体育協会への活動支援	区民大会や区民教室等の実施に対する補助を行いました。		
	○栄区民ロードレース大会	栄区在住、在勤、在学、在スポーツクラブの方等を対象とした、ロードレース大会(オンライン)を実施しました。		
	○セーフコミュニティスポーツ安全 対策分科会	区民のスポーツ中の事故やけがを防ぐための講習会開催や情報共有・ 発信を行ったほか、啓発用動画3本作成しYouTubeで配信しました。		
	○栄区民スポーツフェスティバル	子どもから高齢者まで幅広い世代層の区民が、気軽に各種スポーツを 体験することができるスポーツイベントを実施予定でした。【中止】		
ウ	文化・芸術振興事業			
	○栄区民芸術祭	区民の文化意識の高揚と文化活動の活性化及び地域コミュニティの醸 成を図ることを目的に、区民芸術祭を実施しました。		
	○夏休みコンサート	夏休みに親子や家族など幅広い世代の区民が気軽に音楽を楽しめる機 会として、コンサートを実施予定でした。【中止】		
	○昼休みコンサート	区民が気軽に音楽に触れる機会として、月に1回庁舎内で、区内で活躍 している音楽家によるコンサートを実施予定でした。 【中止】		
	○栄区の歴史・文化事業	「郷土史ハンドブック」、「歴史散策マップ」及び「栄の歴史」を販売しました。また、歴史パネルの一斉点検、内容確認、修繕を実施しました。		
	○友好交流都市事業	友好交流都市の魅力を伝えるための連続講座「五感で楽しむ友好交流 都市」(全4回)を実施したほか、情報紙を作成しました。		
	○読書活動推進事業	横浜市立図書館100周年関連事業として「栄の遺跡」講演会を実施しました。 読書講演会「ピーターラビットの世界」を実施予定でした。【中止】		

≪令和3年度 実施事業≫

栄区多文化共生事業

栄区では、多様な文化背景や価値観を互いに尊重し、誰もが地域社会に参画できるように 多文化共生地域を目指しています。世界の文化・習慣等に触れ国際理解を推進するため「心 が旅する多文化共生」として、世界の絵本・書籍等や各国の子どもが書いた絵の展示等の啓 発イベントを開催しました。

【開催概要】

日時:令和3年11月3日(水・祝)10時~15時30分

会場:本郷台駅前広場

内容:世界で親しまれている民話などの絵本

各国の子どもたちが書いた絵の展示

~テーマ「想像力」~





展示をみる子どもたちの様子

第32回栄区民ロードレース大会(オンライン)

栄区では、例年1月に栄区民ロードレース

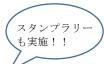
大会を開催しています(令和2年度は中止)。令和3年度は、区民 に安心して参加いただくために、各参加者がスマートフォン内のラ ンニングアプリを使用して走行するオンライン大会を開催しまし た。同時に、参加者対象の区内施設を巡るスタンプラリーやゴール

イベントを実施しました。



大会チラシ







ゴールイベント



大会ホームページ

友好交流都市事業

栄区は長野県栄村、青森県南部町、山形県高畠町と友好 交流関係を結んでいます。令和3年度は、各町村と交流

を続けてきた区民に委託し、友好交流都市の魅力を栄区民に伝える連続講座 「五感で楽しむ友好交流都市」(全4回)を実施しました。講座では、オンライ

ンを活用して友好交流都市の住民と交流も行いました。



連続講座では Zoom で交流

> 交流の魅力満 載の情報紙





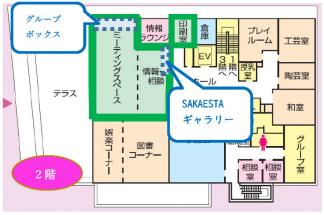
また、連続講座の様子や友好交流都市PR事業の様子 を記録した情報紙を2回発行しました。

■栄区 さかえ区民活動センター

住 所	栄区小菅ケ谷1-5-4		
	SAKAESTA 内		
交 通	JR本郷台駅 徒歩3分		
電話	894-9900		
FAX	894-9903		
利用時間	9:00~21:00		
	(日・祝は 17:00 まで)		
休館日	第3月曜(祝日の場合は翌日)		
	年末年始		







■さかえ区民活動センターの特徴

さかえ区民活動センターは、令和3年12月に本郷台駅前に新しくオープンした複合施設SAKAESTA (さかえすた)で、新たにスタートしました。

さかえ区民活動センター、本郷地区センター、本郷台駅前地域ケアプラザ3施設が一体となった 多くの情報・人が集まる環境をメリットと捉え、各施設が連携し地域の皆様の活動がより広がる よう運営しています。

■相談・コーディネート

- ○生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供を行っています。
- ○仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する人達「人財バンク」の登録、紹介(コーディネート)を行っています

■施設・設備

- 〇会議室(定員 25 名) 1 室、ミーティングスペース(10 人以下)で会議や打合せができます。
- ○印刷・作業コーナーでは、活動に必要な資料やチラシの印刷、コピー、裁断等ができます。
- ○団体の PR や団体間の情報交換交流のツールとして、グループボックス (92 個) を貸し出しています。
- ○登録団体の活動の成果を発表する場として、SAKAESTA ギャラリーや駅前駐輪場展示スポット を貸し出しています。

■広報

- ○行政情報、地域の情報、団体情報、各種イベント、講座案内等を配架コーナーで情報提供しています。
- ○各種登録団体の活動内容やメンバー募集等の情報提供、情報誌の発行等を行っています。

さかえ区民活動センター 令和3年度事業紹介

パソコン講座

団体活動に有効なパソコンスキルを学ぶ講座を、全6回開催しました。

○日時:6月12日(土)~10月23日(土) ○講師:さかえ区民活動センター登録団体

○講座内容:ワード・エクセル・メール入門、インターネットを活用した資料作成

基礎的な技術に加えて、実用性を意識した内容としました。

受講生からは、実際に使えそうであると好評でした。また、常に複数の講師が待機しており、操作

にてこずる受講者には、講師が個別に説明を行う等、きめ細かな対応を行いました。

ぷらっとカフェ

日頃の活動発表を行い、新たに市民活動や生涯学習を始めるきっかけ となるようなイベントを開催しました。

また、事業の振り返り映像を来館者にご覧いただきました。

・5/22 風の音カフェ (ケーナ演奏)

・6/26 マジカルカフェ (手品披露)

・7/24 響きのカフェ (ライアー演奏)

・10/16 さえずりのカフェ (オカリナ演奏)

・12/2、3 ぷらっとフェア (楽器演奏、腹話術、手品、カフェ映像発表、パネル展示)







団体支援講座

「Zoom (ズーム) を学ぼう!」

~オンラインで地域活動を盛り上げよう~

使用方法を学び、参加・主催できる技術を習得する講座を開催しました。

【開催概要】

日時:11/8 13 時~16 時

参加者数:16人

仕組みを説明したのち、実際に全員が Zoom でつながり、参加者、主催者の立場を経験していただきました。Zoom 会議を開催する上でのポイントや注意点及び、運営者としての活用方法を説明しました。

施設交流会

区内施設間の交流を図るため、施設交流会を開催しました。コロナ禍での各施設の現状や課題について情報を共有し、感染対策をとりながら利用者の活動を応援するための情報共有を行いました。

【開催概要】

日時: 10/27 14 時~15 時 30 分

参加者:20 人

施設の設置目的は異なりますが、市民が集い交流する目的は同じだということを再認識し、施設間で助けあい、地域と連携し、互いに協力するつながりの大切さについて学びました。



(地域振興課)

【地域活動及び生涯学習支援事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりが、自分らしいライフスタイルを楽しみながら安心して心豊かに暮らせるまち「泉区」の実現を目指しています。区内における多様な人材と団体のいきいきとした活動を活発にするため、団体間の交流促進やテーマ別コミュニティへの参加のきっかけづくりを、相談・支援を通して行います。

【主な事業(地域活動・生涯学習関係)】

事 業 名	事業説明
ア 市民活動・生涯学習支援	
○区民活動支援センター事業	区民の地域活動及び生涯学習の情報・活動支援拠点である区民活動支援センター(泉区役所内)を運営し、活動情報の提供や相談、学習機材の貸出し、ミーティングスペースの提供、講座の開催などを通じて、地域活動や生涯学習の支援を行いました。https://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kuminkatsudo/04siencenter.html
泉区人財バンク事業	区内で活動しているサークル、ボランティア団体及び知識や経験を活か したい個人を登録して、ホームページで公開し、情報提供を行いました。
区民活動支援事業	区内で活動している団体の情報発信力を高めるための講座や、区民の方 が地域活動に参加するきっかけとなるような講座を開催しました。
参画のきっかけづくり事業	【訪問記】支援センター職員が団体の活動場所を訪問・取材して、紹介記事を作成し、ホームページで公開しました。 【体験会】区民が関心を持った団体の活動を体験し、活動のきっかけとなるための、体験会を開催しました。 【活動PR展】団体の活動を紹介するポスター・チラシの掲示や動画でのPRを行う「活動PR展」を行いました。
○多文化共生推進事業	多様な文化を持つ人々が互いの文化を尊重し協力し合うまちづくりの 支援策として、「使ってみよう、やさしい日本語」講座を開催しました。 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため一部事業を中止)
○泉区魅力発見・発信事業	泉区の魅力(自然・歴史・文化など)の再発見・活用などを目指し、つる し飾り展等を開催しました。
○読書推進事業	区民の方が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校が連携して読書活動の推進に取り組み、読書マップを作成しました。また、お勧めの本の紹介やパネル展示等の読書イベントを開催しました。
イ 青少年育成	
○青少年育成団体支援事業	青少年指導員が実施している様々な活動を支援しました(統一パトロール・青少年フェスティバル等、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため一部事業中止)。
○青少年を育むまちづくり事業	【地域の子ども交流支援事業】青少年指導員・スポーツ推進委員等、地域の大人と子どもが顔の見える関係を築くため、「みんなの遊び場」を実施しました。
ウ スポーツ振興	
○スポーツ推進委員支援事業	スポーツ推進委員の活動の支援を行いました。
○区民スポーツ振興事業	地域に密着したスポーツ活動を展開するための支援を行いました。
エ 文化振興	
○区民文化祭、区民ホール事業	文化団体の活動成果の発表の場として、区民文化祭を縮小開催するとともに、区役所1階区民ホールで、展示・発表会を開催しました。
○伝統文化保存事業	凧揚げ会(相模凧)や衣裳・小道具展(歌舞伎)を通じ、伝統文化を保存・普及・継承する団体の活動の支援を行いました。(横浜いずみ歌舞伎、太鼓・お囃子、相模凧)

■地域振興課 事業紹介のページ

泉区の活動紹介



訪問記 市民活動の取材記

ACCOUNT OF THE PROPERTY OF THE



【訪問記の例】

泉区人財バンク登録者(団体・個人)の活動場所に、支援センター職員が訪問し、活動の様子をまとめたものが「訪問記」です。

区役所内での掲示 及び区役所ホーム ページで公開して います。

「使ってみよう、 やさしい日本語」講座

多文化共生



泉区の多文化共生について、過去から現在に 至るまでの状況をお聞 きしました。その後、 外国人にとって理解し

やすい「やさしい日本語」のコツを学び、ゲストの外国籍の方々と日本語で楽しく会話を しました。

(2月28日、3月7日 全2回)

体験会・体験講座・活動 PR 展 生涯学習のきっかけづくり



体験会

9月~10 月実施 (35 団体): 泉区人財バンクに登録 しているそれぞれの団体が日頃活動している会場で 実施しました。

体験講座

マッチング支援事業とコラボして、自主事業を考える 区内施設担当者を対象者に、泉区人財バンクに登録し ている講師・パフォーマーの活動を紹介する『いずみ ☆ショウタイム』を企画しました。

(令和4年7月実施予定)

活動 PR 展

3 月実施(ポスター&チラシ展 24 件、動画コーナー 9 件、体験コーナー10 件): 泉区人財バンク登録者の 日頃の活動を PR しました。



【PR 展の様子】

いずみ文化振興事業

区民の手による文化振興のため、文化活動の展示・発表の場を提供する区民文化祭や、地域に伝わる伝統文化(横浜いずみ歌舞伎、太鼓・お囃子、相模凧)の保存、継承を図っています。

<相模凧いずみ保存会>

1月 新春いずみ相模凧揚げ会 (太鼓・お囃子の友情出演あり)

<横浜いずみ歌舞伎保存会> 10月 衣装・小道具展

<泉区民文化祭>

11月 工芸・書作展 3月 華道展







【新春凧揚げ会】





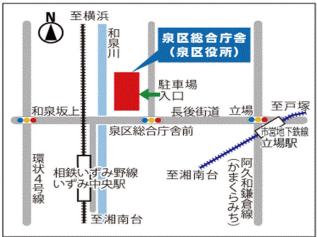




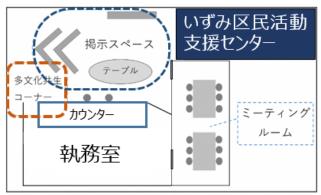
【横浜いずみ歌舞伎衣装・小道具展】

■いずみ区民活動支援センター

住	所	泉区和泉中央北5-1-1 (泉区役所1階)
交	通	相鉄いずみ野線 いずみ中央駅 徒歩5分
電	話	800 – 2393
F	A X	800 – 2518
利用時間		(平 日)8:45~17:00
休』	館 日	土曜日・日曜日・祝祭日・ 年末年始
H P https://www.city.yokohama.lg.jp/izumi /kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/k uminkatsudo/04siencenter.html		







いずみ区民活動支援センターの紹介

市民活動や生涯学習に関する相談と情報の提供・コーディネート、サークル、ボランティア、自治会町内会、生涯学習等、様々な市民活動について、活動が活発になるように応援をしています。

■ 泉区人財バンクの運営

泉区人財バンクは、指導や披露の依頼を受けられるスキルのある個人や団体、仲間を募集している趣味のサークルやボランティアなどの団体が登録しており、泉区社会福祉協議会と協働で運営しています。登録情報は、泉区ホームページで公開しています。

■ 交流・活動の場の提供

ミーティングルーム:勉強会、会議、打合せ、作業等に利用できます。6人用机が2台あり、

利用したい日の3か月前から予約することができます。

レ タ ー ケ ー ス:団体の活動資料や書類の保管、情報交換に利用できます。

■ 学習機材の貸し出し

プロジェクターやスクリーン、緋毛氈等地域のイベントや学習に役立つ機材や、『いずみいまむかし』(泉区小史)、『泉区民音頭』の CD の貸し出しを行っています。ラミネーター、裁断機等は、センター内で利用することも可能です。

■ 区民利用施設間のネットワークづくり

泉区内の区民利用施設の自主事業担当職員が年1回集まり、情報交換等を 行っています。

また、日頃から一斉メールを利用した情報交換も行っています。

■ いずみ区民活動支援センター情報誌「センターだより」の発行(年3回) 当センター主催のイベントのお知らせや募集等、情報発信を積極的に行っています。ホーム ページで閲覧できるほか、区民利用施設等でも配布しています。



区民活動支援センターで開催した事業

■ 生涯学習講座

区民の皆さんの生涯学習へのきっかけづくりとして、泉区や横浜の魅力発見につながり、学ぶ気持ちを応援する講座を企画・実践しています。

ハッピーコミュニケーション講座 (6月)



人間関係のストレスは、自分でコントール出来ることと出来ないことがある。自分の常識と他の人の常識は常に違っている。など、自分の思い込みやこだわり

を、ユーモアと笑いを交えながら、セルフコント ロール術について学びました。

食と、健康と、ボランティアと。講座 (12月)



バランスのよい食事、食でできる老化対策、泉区の地場野菜、非常時の調理など身近な話題から自分たちの日々の食について改めて見直しました。ヘルスメイト

のみなさんからレシピも紹介され、参加者からは 「ぜひ家で試してみたい」など前向きな感想が多 くありました。

■ 地域活動実践講座

3つの講座を開催しました。

コロナの時代に自由に活動するためのお助け講座(9月)

「コロナ禍で思うように活動ができない」とお悩みの皆様に、新型コロナウイルス感染症をよく知ることで、不安を少しでも解決できるような糸口を紹介するための講座を開催しました。

はじめて挑戦!動画配信やってみよう!(11月)

各 SNS の特性の説明や動画投稿とライブ配信の違い、ショートムービー(ストーリー)配信について学びました。著作権などの諸注意も学び、手軽に配信ができることも学びました。

自分たちの活動をみんなに知ってもらおう! 全2回(2月)

「自分たちの活動をみんなに知ってもらうには、まず自分たちを知ることが大切」をテーマに開催しました。2回目は書面開催となり、ワークシートに講師が講評を記載してお渡ししました。



コロナの時代に自由に活動 するためのお助け講座



はじめて挑戦!動画配信 やってみよう!



自分たちの活動をみんなに 知ってもらおう!

■ マッチング支援事業

おうちで☆わくわく世界探検☆親子で感じよう多文化共生(3月)

オンラインで親子向けに多文化共生のイベントを行いました。

交流プログラムでは、外国にルーツのあるゲストとクイズをしながら各国の 食べ物や言葉など日本とは違う文化を学習しました。

トークイベントでは、「世界に興味を持ってほしい。」「英語を好きになって ほしい!」という多くの保護者が興味を持つ内容を含め、多文化って面白い! もっと知りたい!を促すための方法を学びました。



● 瀬谷区

(地域振興課 区民協働推進係)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民と協働して、生涯学習、文化・芸術振興、スポーツ振興、青少年健全育成、読書活動推進など の活動を推進します。また、地域における自主的な活動を様々な面から効果的に支援し、いきいきと した快適なまちづくりを進めます。

【区民協働推進係の主な事業】

事業名		事業説明		
ア	区民活動支援事業			
	○いきいき区民活動支援事業	区内で自主的に活動している団体が実施する地域の課題解決や活性化 につながる事業及び活動に対し、補助金を交付しました。		
	○生涯学習支援事業	区民活動や仲間づくりのきっかけとして、区民の方々の学びの場を提供する生涯学習講座を実施しました。また、講座のテーマに区民に身近なテーマを取り入れることで、どなたでも参加しやすい場づくりを行いました。		
イ	人材スキルアップ事業	区民活動を行っている方や興味・関心のある区民の方向けに、活動の幅を広げ、学んだことをすぐに実践でき役立つスキルの習得の支援をするために講座を開催しました。また、活動者、活動団体同士の交流の場づくりを行いました。		
ウ	青少年育成支援事業			
	○せやっこ体験事業	自然での体験や職業体験などを、次世代を担う子どもたちに経験してもらうことで、社会を生き抜く力を育むため、農業・工業・商業についての体験 講座を実施しました。この他、小・中学生向けにイベント情報を取りまと めた広報紙を年4回インターネット上に掲載しました。		
	○ボランティア促進事業	瀬谷区ボランティアセンターと連携し、ボランティア情報誌やボランティアカードの作成・配付をするとともに、ボランティア活動証明書の発行、さらにボランティア報告会の実施など、中・高校生のボランティア活動を促進しました。		
工	青少年関連団体支援事業	瀬谷区青少年指導員連絡協議会へ補助金を交付し、また、会議や研修会の 開催支援、広報紙の作成支援を行い、地域における青少年育成活動を支援 しました。		
オ	スポーツ振興事業			
	○スポーツ推進委員事業	地域スポーツ・レクリエーションの推進役として市から委嘱されたスポーツ推進委員の活動を支援しました。		
	○スポーツ協会への補助事業	加盟種目協会で構成される区スポーツ協会が実施・開催する区民スポーツ 大会・教室及び青少年の健全育成、高齢者の健康維持等のための地域スポーツ活動を支援しました。		
カ	読書との出会い応援事業	第二次瀬谷区読書活動推進目標達成に向け、読書スタンプラリー、瀬谷図書館の本を小学校・保育園に貸出す学校図書館等連携事業の実施、朗読コンサートの開催など幅広い層を対象に読書活動を推進しました。		
丰	国際交流支援事業	区内で増加する日本語支援ニーズに応えるため、日本語ボランティアを発掘・養成する講座を2回開催し、新たなボランティア団体設立に繋げました。		
ク		瀬谷の史跡めぐりガイドブックを販売し、瀬谷の歴史の伝承と魅力を発信 しました。また、瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップ掲載コースを歩 く区民へ記念品の交付を行い、生涯学習の推進及びウォーキングの促進を 図りました。		

瀬谷区の事業紹介



いきいき区民活動支援事業

地域で活動する団体が実施する事業(催し・ 講座など)や、団体が地域で活動するための支 援として、補助金の交付を行いました。

《令和3年度実績》

事業支援 19 件

生涯学習支援事業

区民活動や仲間づくりのきっかけとして、区 民の方々の学びの場を提供する生涯学習講座 を実施しました。また、講座のテーマに区民に 身近なテーマを取り入れることで、どなたでも 参加しやすい場づくりを行いました。

- ○(1)「電話とメールだけ使ってる人必見!暮らし に役立つスマホアプリの使い方」(全2回)
- ○(2)「コミュニケーションの幅を広げよう!初めての LINE 講座」

(計3回実施、延べ56人参加)



講座の様子

青少年育成支援事業

○せやっこ体験事業

地域の農業・工業・商業の各産業への理解 を深めてもらうとともに、社会を生き抜く力 を育むため、区内の農業・商業・工業につい ての体験講座を実施しました。

工業コース





農業コース

○ボランティア促進事業

瀬谷区ボランティアセンターと連携し、 情報誌やカードの作成、証明書の発行や報 告会の実施により学生ボランティア活動を 促進しました。

瀬谷の魅力発信・名所づくり事業

○瀬谷の史跡めぐりガイドブック



地図や写真でわかりやすく瀬谷の歴史や 魅力を知ることができるガイドブックを 販売し、区の歴史の伝承と魅力を発信しま した。(区内地区センター、区役所売店等 で販売)

○ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップ

鎌倉古道、和泉川の水辺コースなど5つの コースを紹介し、瀬谷の魅力を発信するガイ ドマップを配布しました。

ガイドマップ掲載コースを歩く区民グループに記念品を交付し、ウォーキングの促進を図りました。



読書との出会い応援事業

- ○瀬谷区読書スタンプラリーを実施し、区内小中学生 の読書活動を促進しました。(3,400名参加)
- ○学校図書館等連携事業

瀬谷図書館の本を区内市立保育園および小学校に貸出し、学級文庫や保育の充実を図りました。

○小学校図書館巡回読書リレー

小学校に学年別セット本を貸出し、 児童が書いた紹介・推薦文を小学校に 巡回しました。

○森の朗読とピアノコンサート コンサートの様子 新たな読書の楽しみ方を知る機会として 開催し、動画の配信も行いました。(191 名参加)

青少年関連団体支援事業

瀬谷区青少年指導員連絡協議会 へ補助金を交付し、また、会議や 研修会の開催支援、広報紙の作成 支援を行い、地域における青少年 育成活動を支援しました。



瀬谷青指だより

研修会(AED講習)の実施

スポーツ振興事業

瀬谷区スポーツ推進委員を中心に、ウォーキングの推進を目的とした「第30回瀬谷ふるさとウォーク大会」や、横浜F・マリノスと連携し、小学生を対象としたサッカー教室を開催しました。

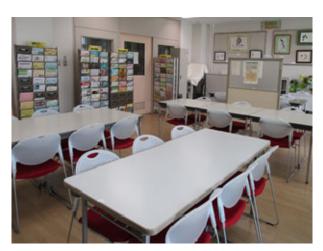
その他、各地区でレクリエーション大会やスポーツ大会を実施し、地域スポーツの推進を図りました。また、瀬谷区スポーツ協会の各種目協会が実施する区民大会や体力向上イベントの開催など、スポーツ振興の推進を図りました。



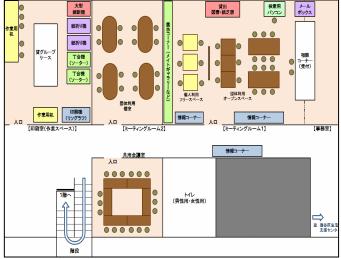
サッカー教室の様子

■瀬谷区民活動センター

住	所	瀬谷区二ツ橋町 469 せやまる・ふれあい館 2 階	
交	通	相鉄線三ツ境駅 徒歩 12 分	
電	話	369-7081	
F A	X	366-4670	
利用時間		全日 10:00~17:00 ※令和2年4月1日から	
休 館 日		施設点検日(第3日曜日) 年末年始(12/29~1/3)	







瀬谷区民活動センターのご案内

瀬谷区民活動センターは、せやまる・ふれあい館の2階にあります。

せやまる・ふれあい館は、小さなお子さんから高齢者まで幅広い世代の人が集う複合施設。その中で、「何か学習をしてみたい」「地域活動を始めたい」など、皆様の「○○をしてみたい」に応じて、さまざまなメニューを用意してサポートに努めています。

■ 相談コーナー

「地域で何かしたい!」「得意なものを教えてみたい!」などの相談を受けます。

- ○生涯学習や区民活動、地域活動、ボランティア活動に関する相談
- ○生涯学習や各種活動に必要な情報の収集・発信・提供
- ○せや区人材バンク「メイト」の登録・紹介、活動の場のコーディネート

■ 貸し出し

打合わせ場所の提供、メールボックス、資料作成に便利な機材及びその他活動に必要な機材(道具)の貸し出しを行います。

- ○ミーティングコーナー1、2
- ○印刷室
- ○機材の貸し出し(登録制)

■ その他

- ・情報検索専用パソコンで、生涯学習に関する情報などが検索できます。
- ・市内にある国際交流ラウンジが発行している情報誌などを揃えています。

瀬谷区民活動センター

令和3年度事業紹介

せや区人材バンク

知識・経験・技術等を地域に役立てたい、活動をサポートしたいという個人・グループが、地域で活躍す



るための登録制度です。登録しているボランティアを「メイト」と呼び、地域や施設、自治会町内会、こども会、学校など、ニーズに応じて、メイトを紹介しています。「メイトガイド」を発行し、配布しています。

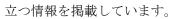
みんなのミニギャラリー

区民活動センターのみんなのミニギャラリーを 活用して、区民の方々の発表の場として瀬谷区内 で撮影した写真を公募、展示(ホームページにも掲載)して交流及び区民活動の活性化を図りました。 第1期「わたしの瀬谷のお気に入り」 第2期「瀬谷の風景」第3期「瀬谷の四季」



情報紙「せやまる通信」

地域で活躍する人・団体、サークルなどの紹介 や、おとなの楽校講座、昼ドキイベント・せや、 みんなのミニギャラリー情報など、区民活動に役





令和3年度は、年間3回発行(部数40号3,500部41、42号5,400部/回)各自治会町内会へ回覧し、瀬谷区民活動センター各地区センター及びコミュニティ・スクールなど区内公共施設等で配布しました。

瀬谷区内のサークル活動



区内の公共施設で活動している サークルの紹介や、会員募集のチラシの配架などサークルの活性化を お手伝いしています。また、区内の 活動サークルを紹介する「サークル ガイド」を配布しています。

せやまる・ふれあい祭り

「せやまる・ふれあい館」を構成する6施設と多機能型拠点こまちが合同して、12月4日(土)に開催予定でしたが、コロナ禍のため中止となり、「離れていてもふれあい祭り」をコンセプトにメッセージを地域に発信し、絵手紙を募集しました。来館者投票で賞を決めて賞品をプレゼントしました。

昼ドキイベント・せや

コロナ禍のため、 毎月第3金曜日に 瀬谷公会堂ホワイ エで開催していた イベントを講堂に 変更。感染予防対 策をして公募によ



る区内活動グループの季節感あふれるステージ イベントを開催しました。また昼ドキイベントの 後の講堂をグループの練習場所に提供しました。

講座・・・きっかけづくり・事後グループづくり

生涯学習の機会の提供及び仲間づくり、区民活動 グループ設立を目的に開催しました。興味・関心の ある区民を対象とした「おとなの楽校講座」を3期 に分けて実施しました。

1期と3期は事後グループが立ち上がり、活動を続けています。

第1期 フラワーアレンジメント

第2期 色鉛筆画

第3期 折り紙教室





パソコン相談会

ボランティア団体「パソコンふれあい館・せや」が、パソコンやスマートフォンの質問・疑問を解決するための交流サロンを開いています。コロナ禍のため、人数制限をして事前予約制で実施しています。

会場:ミーティングコーナー1

日時:火・金①13:00~14:30 ②14:45~16:15 (年末年始の休館日を除く)。

人数:各回4名

第8回 輝く!せや!ひと!フェスタ

「いきいきと**輝く、せや**で活動している**ひと**たち」の発表や交流の場づくりをコンセプトに、「コロナ禍においても工夫をしながら区民活動を継続しているグループ」の日頃の活動発表の場及び地域の方々との交流を図る場として、フェスタを企画。2月20日に瀬谷公会堂で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となったため、フェスタ参加予定だったグループの活動紹介ポスターを瀬谷区民活動センター及び区役所の区民ホールに展示して周知を図りました。



横浜市生涯学習 令和3年度事業概要

表紙・本文 紙ヘリサイクル可

<編集·発行> 横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課

<発 行> 令和4年7月

<問 合 せ>

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課

電 話:(045)671-3282

FAX: (045) 224-5863

※横浜市生涯学習令和3年度版事業概要の実績以外のデータは 令和4年3月31日現在のものです。(特記のあるものを除く)

